

武蔵国分寺跡発掘調査概報

34

—東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査—

2009年3月

国分寺市遺跡調査会
国分寺市教育委員会



1. 北側妻礎石据え方列(北東から)

第117次調査区



2. 北側妻より3列目から5列目礎石据え方(南から)

第414次調査区



2. 北側妻より6列目から9列目礎石据え方(東から)

第19次調査区



2. 礎石据え方5-3土層断面(東から)

第19次調査区



1. SX57 瓦列（北から）
伽藍地東辺区画溝に平行して検出

第 303 次調査区



1. SX58 瓦列（東から）
伽藍地東辺区画溝に崩れ込んだ状態で検出

第 303 次調査区



尼寺伽藍地南辺区画溝と土橋状遺構

第 346 次調査区



1. 東山道武蔵路西側溝土層断面 (北から)

第 217 次調査区



1. 東山道武蔵路東側溝土層断面 (南から)

第 427 次調査区



1. 東山道武蔵路東側溝とSD12溝の交点部分平面プラン(北から)
南北が東山道武蔵路東側溝・東西がSD12溝



2. 同 土層断面(東から)



1. SK840 土坑出土須恵器 (S=1/2) 第 213 次調査区



2. 墨書土器 (S=1/1) 第 303 次調査区



古寺院地東辺区画溝 (SD72) 出土鏡瓦 (S=1/2) 第 281 次調査区



1. 「多上」 第117次調査区



2. 「多下」 第303次調査区



3. 「刀良」 第303次調査区



4. 石製腰帯具（丸柄） 第303次調査区

序

武蔵国分寺跡の発掘調査が国分寺市教育委員会の主導によって恒常的かつ組織的に実施されるようになったのは、国分寺市の肝煎りによって国分寺市遺跡調査会が発足した昭和 49 年度以降のことである。それ以前の調査は、日本考古学協会（仏教遺跡調査特別委員会）、武蔵国分寺跡緊急発掘調査団によって実施され、寺域の確認、国分僧・尼寺の主要堂宇跡の部分的発掘による現状の確認が試みられてきた。

国分寺市遺跡調査会の発足と機を一にして国分寺市に埋蔵文化財の担当者が採用された結果、武蔵国分二寺跡とその関連遺跡の発掘が保存範囲の確定・伽藍構成堂宇の規模の把握を目標として進められ、寺域と伽藍地の事態解明の手掛かりが得られるようになってきた。特に、平成 15 年 4 月には、国分寺市立歴史公園武蔵国分尼寺跡（国史跡）が開園し、引き続き武蔵国分寺跡の保存整備に伴う発掘調査が継続的に実施されている。

この度、昭和 51 年度から平成 14 年度の間実施された僧・尼寺の寺域の確認・伽藍構成堂宇跡の実情認識および東山道武蔵路跡の発掘結果についての概報を公にすることになった。

かかる一連の発掘は、武蔵国分二寺の保存と活用に関する結果を得ることを目的として実施された国庫補助事業であり、現在、進められている武蔵国分僧寺跡の整備、尼寺跡の範囲確認、さらに東山道武蔵路の実態の把握を目的として行われたものである。

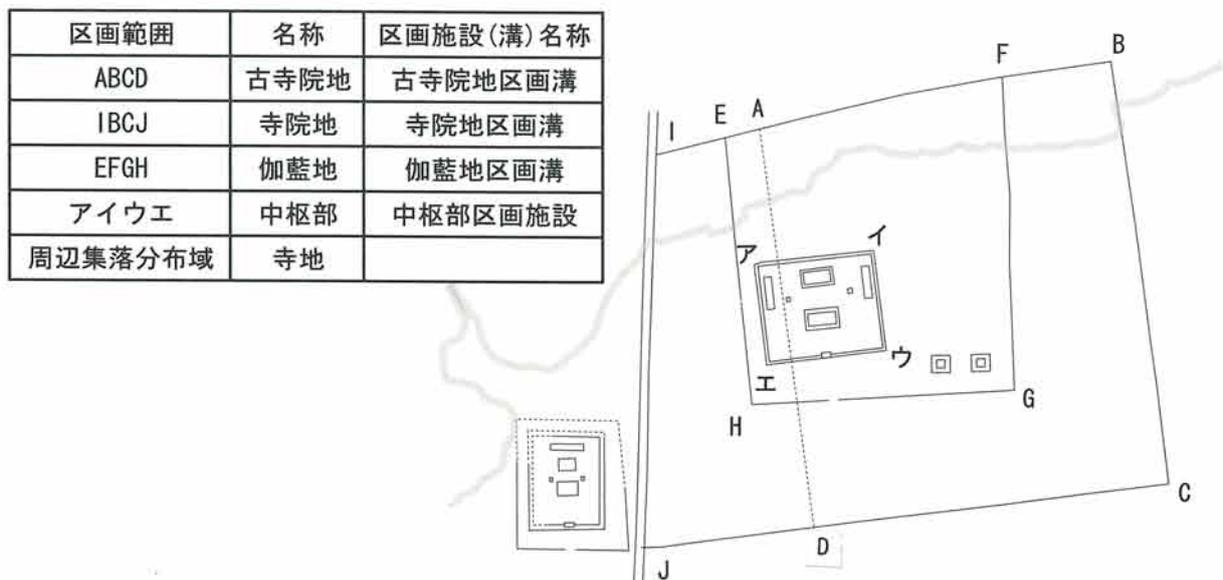
本書の刊行にあたり、ご高配とご指導をいただいた文化庁・東京都教育庁の関係各位、そしてご協力をいただいた地権者各位に対して感謝の意を表すとともに、今後の武蔵国分二寺跡の整備事業の資料として有効に活用されることを願う次第である。

平成 21 年 3 月

国分寺市遺跡調査会
会長 坂詰 秀一

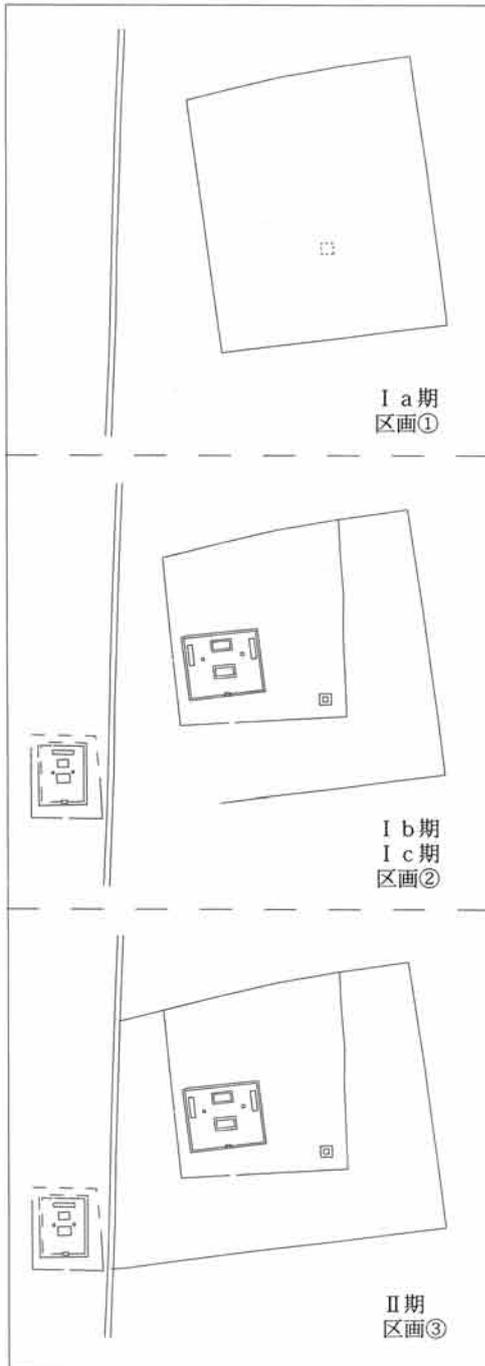
例 言

1. 本書は東京都国分寺市西元町・東元町に所在する武蔵国分寺跡において、昭和49年以来実施されている発掘調査の内、国庫補助事業として昭和51年～平成14年度に行った寺域確認調査および個人住宅建設等に伴う事前調査、開発工事に先立つ確認調査等の成果をまとめたものである。
2. 本書の作成作業は平成20年4月1日から国分寺市遺跡調査会で行い、平成21年3月31日の刊行とした。
3. 本書の執筆・編集は、各調査区の担当調査員の所見を基に小野本敦が行い、上敷領久・中道誠がこれを助けた。
4. 本書の挿図・表等の作成、全体の編集は小野本が行った。本書の作成にはマイクロソフト社「ワード」「エクセル」、アドビー社「イラストレーター」「フォトショップ」「インデザイン」の各ソフトを用いた。
5. 遺物観察表の作成は立川明子が行った。
6. 図版作成作業は小野本の指示の下、主に桂弘美・佐藤令・佐藤緋佐子・相馬しのぶが行った。
7. 本遺跡の出土遺物、調査記録、データは国分寺市教育委員会が保管している。
8. 武蔵国分寺の規模・構造にかかわる名称は、以下のように統一している。
9. 武蔵国分寺の盛衰については、昭和40年代からの調査事例の累積によって、次のような変



第1図 武蔵国分寺の構造と名称

遷を辿ることが判明しており、本書においても以下の時期区分を使用する。



【第Ⅰ期】8世紀中葉の創建期を中心とする時期。七重塔を中心とする区画①を取るⅠa期と、区画①の西辺を埋め戻して金堂・講堂を中心とする区画②に変更し、尼寺の造営も開始されるⅠb期、二寺の造営が完了するⅠc期に細分する。

【第Ⅱ期】僧寺寺院地を西へ拡張して東山道武蔵路と接続する区画③を取る時期。承和12年(845)の七重塔再建に伴う寺院の整備・拡充期と捉えられ、おおむね9世紀代に相当する。

【第Ⅲ期】区画変更は行われず、寺院地内に竪穴住居跡が増加する衰退期。10・11世紀代に相当する。

第2図 武蔵国分寺変遷図

凡 例

共通

1. 遺構は遺跡をとおしてほぼ発見順に連続番号を付し下記の遺構記号を冠して表示する。縄文時代の遺構については末尾に J を付けた。また、本文中においては「SI131 住居」のように記述した。

S B 掘立柱建物・礎石建物 S I 住居 S D 溝 S K 土坑 S A 掘立柱塀
S X 特殊遺構（硬質面・瓦列・道路状遺構等） P 小穴

2. 遺物は各調査において種別毎に連続番号を付し、下記の遺物記号を冠して表示する。

土器類	瓦・埴類	石製品類
PH 土師器	KA 鏡瓦	KG 鬼瓦
PK 須恵器	KB 宇瓦	KH 埴
PL 土師質土器	KC 男瓦	
PN 灰釉陶器	KD 女瓦	GN 石帯
PP 緑釉陶器	KE 熨斗瓦	

3. 遺物の記述については一覧表とした。

- (1) 表は遺物毎にまとめ、原則として調査次数順に列記してある。
- (2) 出土遺物一覧表の表記方法はvii項を参照のこと。
- (3) 遺物の分類については「武蔵国分寺跡発掘調査概報XIV」に拠った。
- (4) 今回報告する調査の出土遺物の総数は天箱にして282箱にのぼるため、紙幅の都合上、土器類については遺構出土で年代判定の材料となるもの、瓦についてはそれに加えて文字瓦等の掲載にとどめざるを得なかった。掲載方法についても同様の理由から、文字瓦は基本的に拓本のみを提示し、その他の属性は一覧表とした。

図面・図版

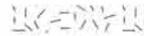
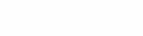
1. 遺構

- (1) 遺構配置図表示（グリット）の数字は発掘基準線中心点（僧寺金堂・講堂間の中心点、本書中では僧寺中心点と記述する）からの距離を表す。発掘基準中心点と僧寺金堂中心点の位置関係は、前者の南北基準線上中心点南26.276mに後者がある。また、僧寺中軸線の

方位は発掘南北基準線と一致し、真北から7° 7' 01"、磁北から0° 37' 01"それぞれ西偏する。

(2) 断面図表示の数字は水系レベルで海拔高を示す。

(3) 遺構のスクリーントーンの指示は次のとおりである。

 III b層  III c層  IV・V層
 柱穴跡  硬質面  攪乱

(4) 図面の縮尺は次のとおりに統一した。

遺構配置図 1/150 遺構個別図 1/60

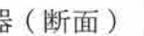
(5) 遺構配置図・遺構個別図（平面図）は特記のないものは図上が僧寺中軸線の北である。

(6) 調査区外へ続く遺構（礎石建物・掘立柱塀等）は、調査区内の南西端を基準に柱穴番号等を与え、今後調査区外で当該遺構の続きを検出した時点で柱穴番号等を変更するものとする。

(7) 土層注記については一部に表記の不統一や欠失があるが、調査時の表現のまま掲載した。

2. 遺物

(1) 遺物のスクリーントーンの指示は以下のとおりである。

 灰釉陶器（施釉部分）  灰釉陶器（断面）
 緑釉陶器（断面）  墨書  朱墨書

(2) 遺物図面中の数字は、図面番号・遺物番号・遺構名の順とした。

(3) 遺物図版中の数字は、図版番号・遺物番号の順とした。

(4) 遺物の縮尺は、特記のないものは次のとおりである。

土器類 1/3 墨書土器 1/1 瓦・埴類（全体） 1/4 石製品 1/1
瓦・埴類（押印・押型・ヘラ書き） 図面 1/4 図版 1/1

出土遺物一覧表の表記方法

(1)各遺物共通

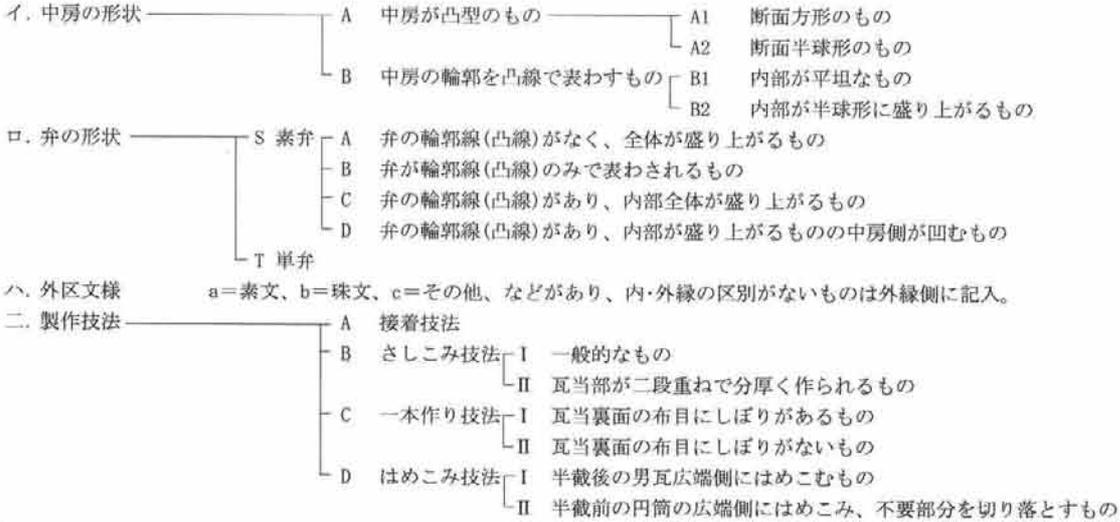
- イ. 出土位置の「カマド」はカマド構築土・崩壊土およびカマド覆土、「床直」は床面直情出土を示す。
- ロ. 計測値は、cmで表す。記号なしは完数值、()は復元数值、()は残存数值、-は計測不可を示す。

(2)土器類

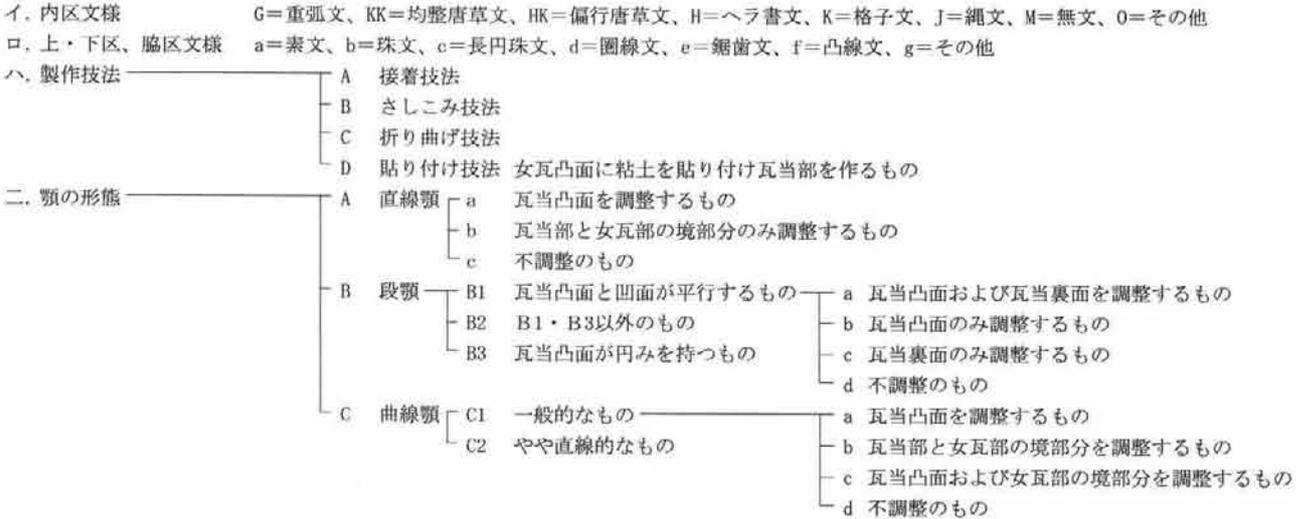
- イ. 種別 土：土師器 須A：還元焙焼成須恵器 須B：酸化焙焼成須恵器 土師質：土師質土器 灰：灰釉陶器 緑：緑釉陶器

(3)瓦

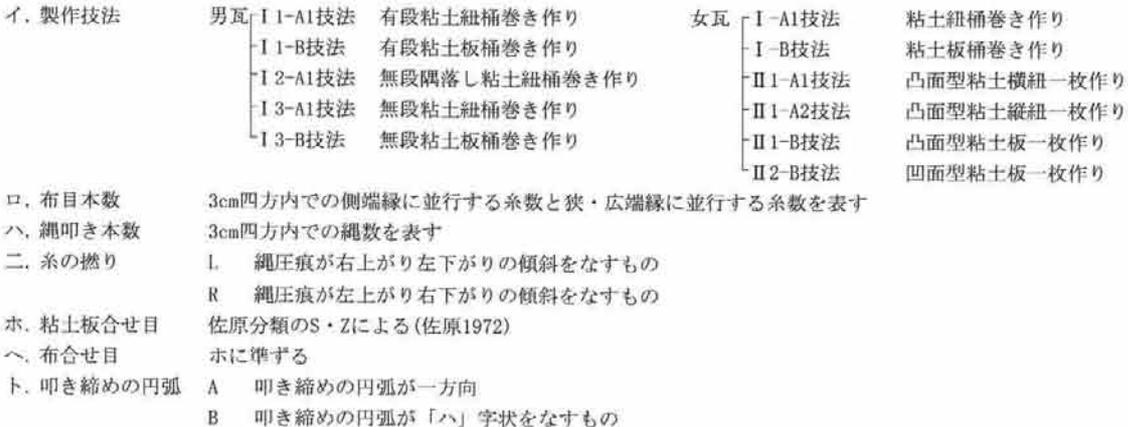
鏡瓦



宇瓦



男瓦・女瓦



目 次

本文目次

序	i
例言	iii
凡例	v
I 調査に至る経緯と発掘経過	1
II 調査地区の概観	
第1節 地理的・歴史的環境	5
第2節 基本層序	5
III 検出遺構と出土遺物	
第1節 僧寺地区の調査	7
第2節 尼寺地区の調査	9
第3節 東山道武蔵路の調査	10
IV 小結	
第1節 東僧坊と伽藍中枢部の構造	14
第2節 寺院地・伽藍地確認調査の成果	14
第3節 東山道武蔵路の再検討	15
V 総括	19
参考文献	20
遺物観察表	21

挿図・表目次

第1図 武蔵国分寺の構造と名称	iii
第2図 武蔵国分寺変遷図	iv
第3図 遺跡の位置	2
第4図 調査区の位置	3
第5図 基本層序	6
第6図 第317・605次調査区	18
第1表 調査次数一覧	1
第2表 道路A側溝検出調査区一覧	15

図面目次

図面 1 第 19・117・414 次調査 遺構配置図	図面 32 鍍瓦 (3)
図面 2 第 19・117・414 次調査 SB38、SA2、SD26・27、SK130・131・574、SX1	図面 33 鍍瓦 (4)、宇瓦 (1)
図面 3 第 303・418 次調査 遺構配置図	図面 34 宇瓦 (2)
図面 4 第 273・542 次調査 遺構配置図	図面 35 宇瓦 (3)
図面 5 第 303 次調査 SI391・392	図面 36 宇瓦 (4)
図面 6 第 273・303・418 次調査 SD17・23、SX57・58	図面 37 男瓦 (1)
図面 7 第 265・281・388・440・512 次調査 遺構配置図	図面 38 男瓦 (2)
図面 8 第 265・281・388・440・512 次調査 SB103、SD23・42・72・203、SK1375	図面 39 男瓦 (3)、女瓦 (1)
図面 9 第 346・356・379 次調査 遺構配置図	図面 40 女瓦 (2)
図面 10 第 187・390・552 次調査 遺構配置図	図面 41 女瓦 (3)
図面 11 第 187・346・356 次調査 SD34・44・180、SK773	図面 42 女瓦 (4)
図面 12 第 379・390・552 次調査 SD34・101・264・267、SK1378、SX199	図面 43 女瓦 (5)
図面 13 第 217・263・427 次調査 遺構配置図	図面 44 女瓦 (6)
図面 14 第 182・213・278・374 次調査 遺構配置図	図面 45 女瓦 (7)、熨斗瓦、鬼瓦
図面 15 第 182・213・217・263・278・427 次調査 SD178・179・187～189・201・202、SK840～842	図面 46 文字・記号集成 押印 (1)
図面 16 第 182・213・278 次調査 SI313・330・335・375、SK840・841	図面 47 文字・記号集成 押印 (2)
図面 17 第 213 次調査 SI330・335 カマド	図面 48 文字・記号集成 押印 (3)
図面 18 第 144・210・247・297 次調査 遺構配置図	図面 49 文字・記号集成 押印 (4)
図面 19 第 49・321 次調査 遺構配置図	図面 50 文字・記号集成 押印 (5)、押型 (1)
図面 20 第 144・210・321 次調査 SB109、SI402J、SD46、SK648・818	図面 51 文字・記号集成 押型 (2)、ヘラ書き (1)
図面 21 第 49・321 次調査 SB109・110、SI140、SD51・86、SX8	図面 52 文字・記号集成 ヘラ書き (2)
図面 22 第 321 次調査 SB108～110	図面 53 文字・記号集成 ヘラ書き (3)
図面 23 第 317・438 次調査 遺構配置図	図面 54 文字・記号集成 ヘラ書き (4)、模骨 (1)
図面 24 第 317・438 次調査 SD12・13・300・329・331、SK1771～1773、P-1～P-6	図面 55 文字・記号集成 模骨 (2)、石製品
図面 25 土師器	
図面 26 須恵器 (1)	
図面 27 須恵器 (2)	
図面 28 須恵器 (3)	
図面 29 須恵器 (4)、土師質土器、灰釉陶器、緑釉陶器	
図面 30 鍍瓦 (1)	
図面 31 鍍瓦 (2)	

図版目次

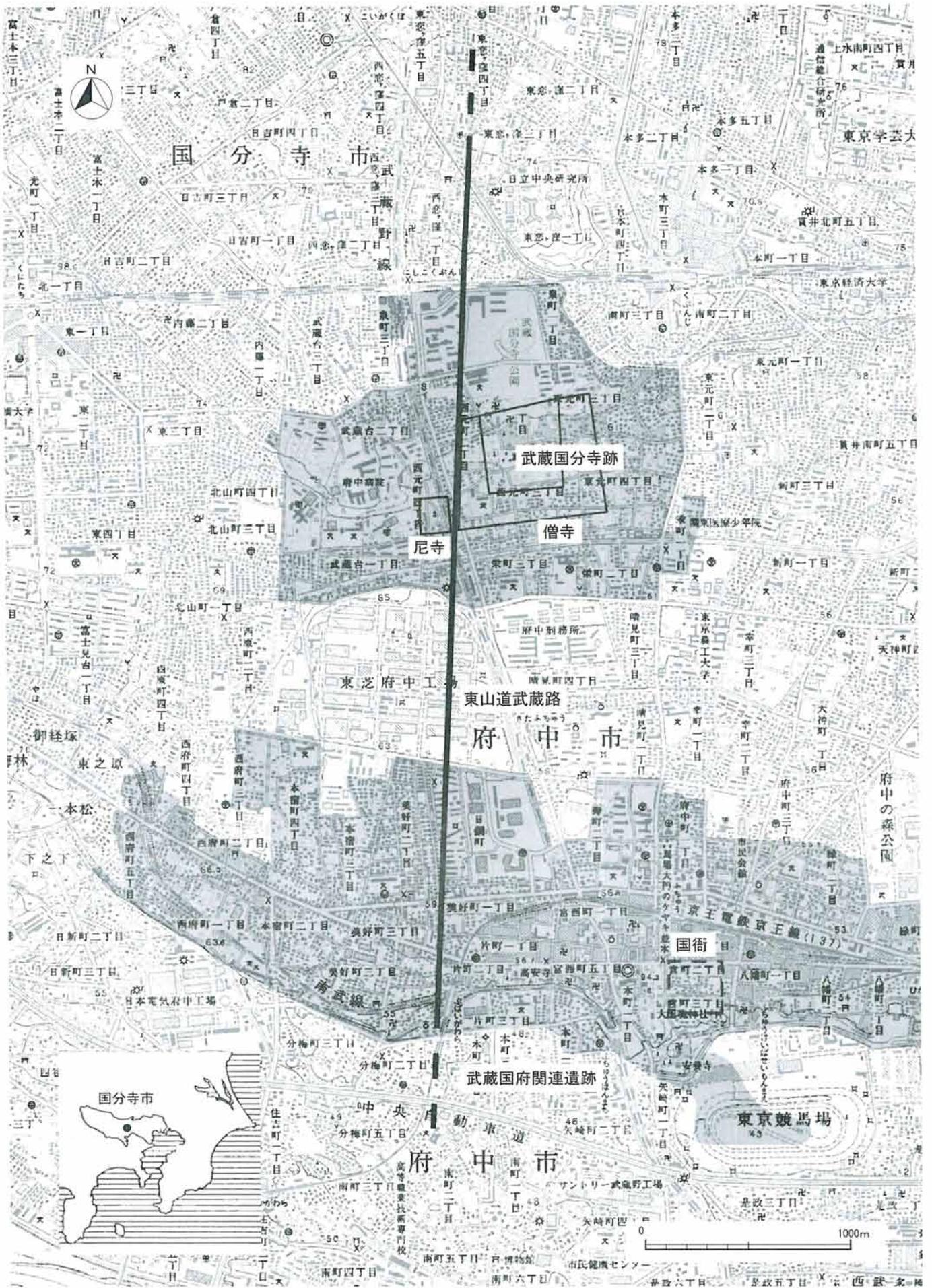
- 巻頭図版 1 東僧坊 (1)
- 巻頭図版 2 東僧坊 (2)
- 巻頭図版 3 僧寺伽藍地東辺
- 巻頭図版 4 尼寺伽藍地南辺
- 巻頭図版 5 東山道武蔵路 (1)
- 巻頭図版 6 東山道武蔵路 (2)
- 巻頭図版 7 須恵器
- 巻頭図版 8 鏡瓦
- 巻頭図版 9 文字瓦・石製品
- 図版 1 第 19・117・414 次調査 (1)
- 図版 2 第 19・117・414 次調査 (2)
- 図版 3 第 303 次調査
- 図版 4 第 281・346・512 次調査
- 図版 5 第 187・346・427・552 次調査
- 図版 6 第 217・263・427 次調査
- 図版 7 第 182・213・217・278 次調査
- 図版 8 第 210・213・321 次調査
- 図版 9 第 49・317・321 次調査
- 図版 10 第 317・438 次調査
- 図版 11 土師器, 須恵器 (1)
- 図版 12 須恵器 (2)
- 図版 13 須恵器 (3), 土師質土器 (1)
- 図版 14 土師質土器 (2), 灰釉陶器, 緑釉陶器, 墨書須恵器
- 図版 15 鏡瓦 (1)
- 図版 16 鏡瓦 (2), 宇瓦 (1)
- 図版 17 宇瓦 (2), 女瓦・鬼瓦
- 図版 18 押印瓦 (1)
- 図版 19 押印瓦 (2)
- 図版 20 押型瓦
- 図版 21 ヘラ書き瓦 (1)
- 図版 22 ヘラ書き瓦 (2), 石製品

I 調査にいたる経緯と発掘経過

本書で報告するのは、国分寺市遺跡調査会が昭和51年度以降に国庫補助によって行った発掘調査の内、武蔵国分僧寺・尼寺・東山道武蔵路の周辺における調査成果である。各調査区の調査年度・目的・地番・期間・面積・検出遺構・遺物箱数・担当調査員は第1表の通りである。なお本書では記述の便宜上、調査年度ごとではなく、「僧寺地区」「尼寺地区」「東山道武蔵路」の3地区に分けて報告する。

第4区 番号	調査 年度	調査 回数	目的	調査地番	調査期間	調査面積 (㎡)	検出遺構	遺物 箱数	担当 調査員	地区名
1	S51	19次	個人宅造	西元町3-1593-5	S51. 8. 9 ~S51. 8. 31	132.03	SA2、SB38、SD26・SD27、SK130・SK131、SX1	87	西脇	僧寺
2	S52	49次	個人宅造	西元町2-1671	S52. 6. 13 ~S52. 8. 27	106.27	SB2件(確認のみ)、SI132~SI134・SI140、SD51 SK197・SK215J、SX8(他1件確認のみ)、P多数	6	有吉	東山道 武蔵路
3	S55	117次	個人宅造	西元町3-31-12	S55. 7. 21 ~S55. 12. 18	107.70	SA2、SB38、SK574	17	有吉	僧寺
4	S57	144次	個人宅造	西元町2-2545-8	S57. 6. 17 ~S57. 6. 29	18.20	SK648	1	上村	東山道 武蔵路
5	S58	182次	個人宅造	西元町2-2545-18,20	S58. 9. 12 ~S58. 10. 22	23.60	SI313、SD178・SD179、P-1~P-3	1	上村	東山道 武蔵路
6		187次	個人宅造	西元町4-1380-4,6,8	S58. 11. 21 ~S58. 12. 7	21.60	SD180、SK773	1	上村	尼寺
7	S59	210次	個人宅造	西元町2-2546	S59. 9. 3 ~S59. 9. 28	39.63	SD46、SK817・SK818、P-1~P-5	1	上村	東山道 武蔵路
8		213次	個人宅造 共同住宅	西元町2-2545-2,14	S59. 10. 15 ~S60. 3. 22	52.05	SI330・SI335・SI336、SD187、SK840~SK842	15	上村	東山道 武蔵路
9		217次	個人宅造	西元町2-2544-37,43	S59. 11. 19 ~S59. 12. 4	26.50	SD188・SD189、SK857	1	上村	東山道 武蔵路
10	S60	247次	個人宅造	西元町2-2548-74	S61. 2. 27 ~S61. 3. 13	10.00	なし	0.5	上村	東山道 武蔵路
11	S61	263次	個人宅造	西元町2-2544-36,74	S61. 9. 8 ~S61. 10. 2	29.10	SD188・SD201・SD202・SX47	3	上村	東山道 武蔵路
12		265次	個人宅造	西元町3-2160-13	S61. 10. 3 ~S61. 10. 24	17.73	SB103・SD72・SD203・SD204	0.5	上村	僧寺
13	S62	273次	個人宅造	西元町3-1528	S61. 12. 18 ~S61. 12. 25	16.78	SD23、P-1~P-10	1	上村	僧寺
14		278次 [✓]	共同住宅	西元町2-2544-4	S62. 4. 1 ~S62. 4. 20	21.90	SI375、SD188・SD201・SD202、SK1014	1	上村	東山道 武蔵路
15		281次 [✓]	寺域確認	西元町1-1625-1外	S62. 4. 8 ~S62. 5. 13	36.00	SD23・SD72	5	有吉	僧寺
16	S63	297次 [✓]	個人宅造	西元町2-2548-5	S62. 9. 24 ~S62. 10. 8	15.50	なし	0.1	上村	東山道 武蔵路
17		303次	寺域確認	西元町2-1640, 1642	S63. 4. 1 ~S63. 11. 30	152.90	SI391・SI392、SK1106・SK1107・SK1111・ SK1114・SK1115・SK1119・SK1126~SK1128・ SK1130~SK1133・SK1143、SD23、SX57・SX58	109	福田	僧寺
18	H1	317次	個人宅造	西元町2-2571-1外	H1. 4. 4 ~H1. 4. 18	41.90	SD12・SD13・SD31	1	上敷領	東山道 武蔵路
19		321次	個人宅造	西元町2-2548-85、 2546-11	H1. 6. 7 ~H1. 7. 24	77.60	SB108~SB110、SI402J、SD46、P-1~P-17	1	上敷領	東山道 武蔵路
20	H2	346次	寺域確認	西元町4-2284-1、 2286-1	H2. 7. 2 ~H2. 11. 22	328.60	SD34、SX5、P-1~P-22	6	福田	尼寺
21	H3	356次	個人宅造	西元町4-2-24	H3. 4. 10 ~H3. 4. 18	4.00	SD44	0	滝島	尼寺
22	H4	374次	個人宅造	西元町2-2545-16	H4. 8. 20 ~H4. 8. 27	9.90	P-1	2	上敷領	東山道 武蔵路
23		379次	個人宅造	西元町4-5-19	H5. 2. 1 ~H5. 2. 5	15.50	SD101・SD264	1	上敷領	尼寺
24	H5	388次	共同住宅	西元町2-2545	H5. 7. 6 ~H5. 7. 8	7.00	SK1375、SD42、P-1	1	木下	僧寺
25		390次	個人宅造	西元町4-2297-10, 20	H5. 8. 17 ~H5. 8. 25	7.00	SD34、SK1378、P-1	1	木下	尼寺
26	H7	414次	個人宅造	西元町3-1593-1,31-9	H7. 7. 24 ~H7. 8. 18	79.30	SA2、SB38、SD26、SK1546、SX1、P-1・P-2	15	木下	僧寺
27		418次	個人宅造	東元町4-1883-19	H7. 11. 13 ~H7. 11. 15	2.36	SD17	0.1	木下	僧寺
28	H8	427次	共同住宅	西元町2-17-17	H8. 6. 19 ~H8. 7. 10	46.10	SD201・SD202	0.5	木下	東山道 武蔵路
29		438次	宅地造成	西元町3-2211-1~4 2212-1,3,4	H9. 1. 30 ~H9. 2. 10	461.67	SD329~SD331、SK1771~SK1773、SF1・SF10	1	上敷領	東山道 武蔵路
30	H9	440次	個人宅造	西元町2-2545-10	H9. 4. 7 ~H9. 4. 11	6.00	SD42、SK1810・SK1811、P-1	0.1	木下	僧寺
31	H12	512次	個人宅造	西元町2-14-18	H12. 8. 8 ~H12. 12. 6	65.73	SD42、SK2507J	1	上敷領	僧寺
32	H13	542次	個人宅造	東元町4-1500-2、 1501-2	H13. 9. 17 ~H13. 9. 26	20.24	SI728、SD62	1	木下	僧寺
33	H14	552次	個人宅造	西元町4-1-11	H14. 7. 2 ~H14. 7. 17	17.24	SA19、SD267、SX199・SX200、P-1~P-5	1	上敷領	尼寺

第1表 調査回数一覧



第3図 遺跡の位置



100m

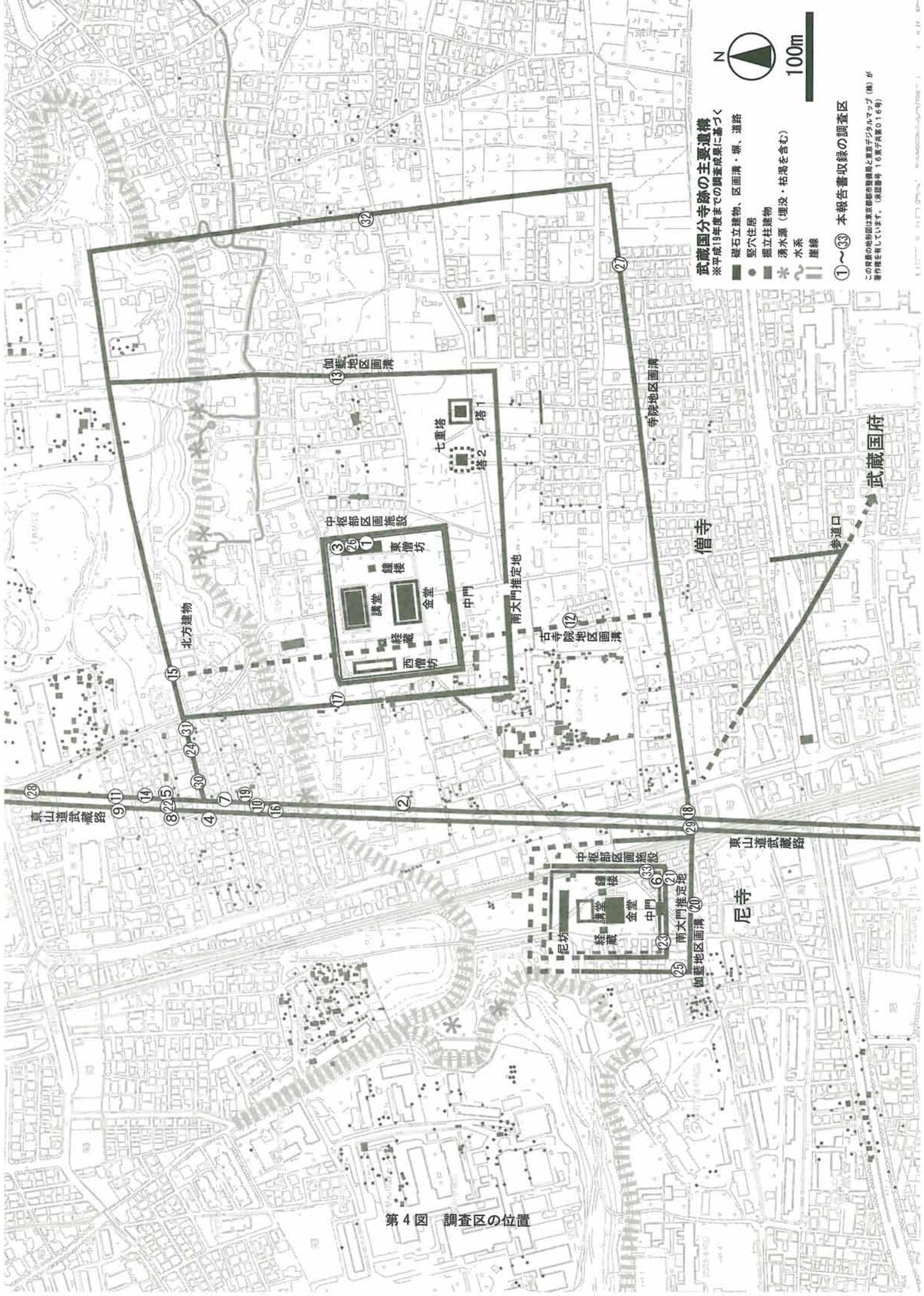
武蔵国分寺跡の主要遺構

※平成19年度までの調査成果に基づく

- 礎石立建物、区画溝・塀、道路
- 竪穴住居
- 掘立柱建物
- 湧水源 (埋没・枯渇を含む)
- 水 水系
- 崖線

①～③③ 本報告書収録の調査区

この背景の地形図は東京都都市計画局と東京デジタルマップ(株)が著作権を有しています。(承認番号 16東京第016号)



第4図 調査区の位置

I 調査にいたる経緯と発掘経過

国分寺市遺跡調査会構成員名簿(平成 21 年 3 月 31 日現在)

——役員および監事——

会 長	坂誥秀一	国分寺市文化財保護審議会委員長
副 会 長	関口雄基臣	国分寺市文化財保護審議会副委員長
理 事	星野信夫	国分寺市長
理 事	内田 修	国分寺市教育委員会委員長
理 事	松井敏夫	国分寺市教育委員会教育長
理 事	星野亮雅	元国分寺市社会教育委員
理 事	北原 進	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	坂本克治	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	小菅政治	東京都教育庁生涯学習部計画課長
専 務 理 事	竹内 悟	国分寺市教育委員会教育次長兼教育部長
監 事	榎戸 潔	元国分寺市社会教育委員
監 事	岡崎完樹	東京都教育庁地域教育支援部管理課埋蔵文化財係長

——武蔵国分寺跡調査・研究指導委員会——

委 員 長	坂誥秀一	(考古学)	立正大学名誉教授
委 員	藤井恵介	(建築史)	東京大学大学院工学系研究科准教授
委 員	佐藤 信	(古代史)	東京大学大学院人文社会系研究科教授
委 員	酒井清治	(考古学)	駒沢大学文学部教授

——事務局——

事 務 局 長	福田信夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課長
事 務 局 員	田中明仁	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財保護係長
事 務 局 員	太田和子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財普及担当係長
事 務 局 員	松田亜紀子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
事 務 局 員	中舎まり子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
事 務 局 員	佐々木徳明	国分寺市遺跡調査会

——調査団——

団 長	坂誥秀一	立正大学名誉教授
主任調査員	上敷領久	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡主任
調 査 員	小野本敦	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
調 査 員	中道 誠	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
調 査 員	立川明子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員

II 調査地区の概観

第1節 地理的・歴史的環境

国分寺市は、通称「ハケ」と呼ばれる国分寺崖線を境に南北に分けられる。国分寺崖線は武蔵野台地を古多摩川が浸食することで形成された崖で、崖上を武蔵野段丘、崖下を立川段丘と呼称する。崖線沿いには付近の湧水を集めた野川が東流しているが、段丘面形成期には武蔵野段丘側からこれに注ぐ流れがあり、いくつもの開削谷を残している。市域にはこうした豊かな自然環境のもと、旧石器・縄文時代の生活痕跡が多数残されている。

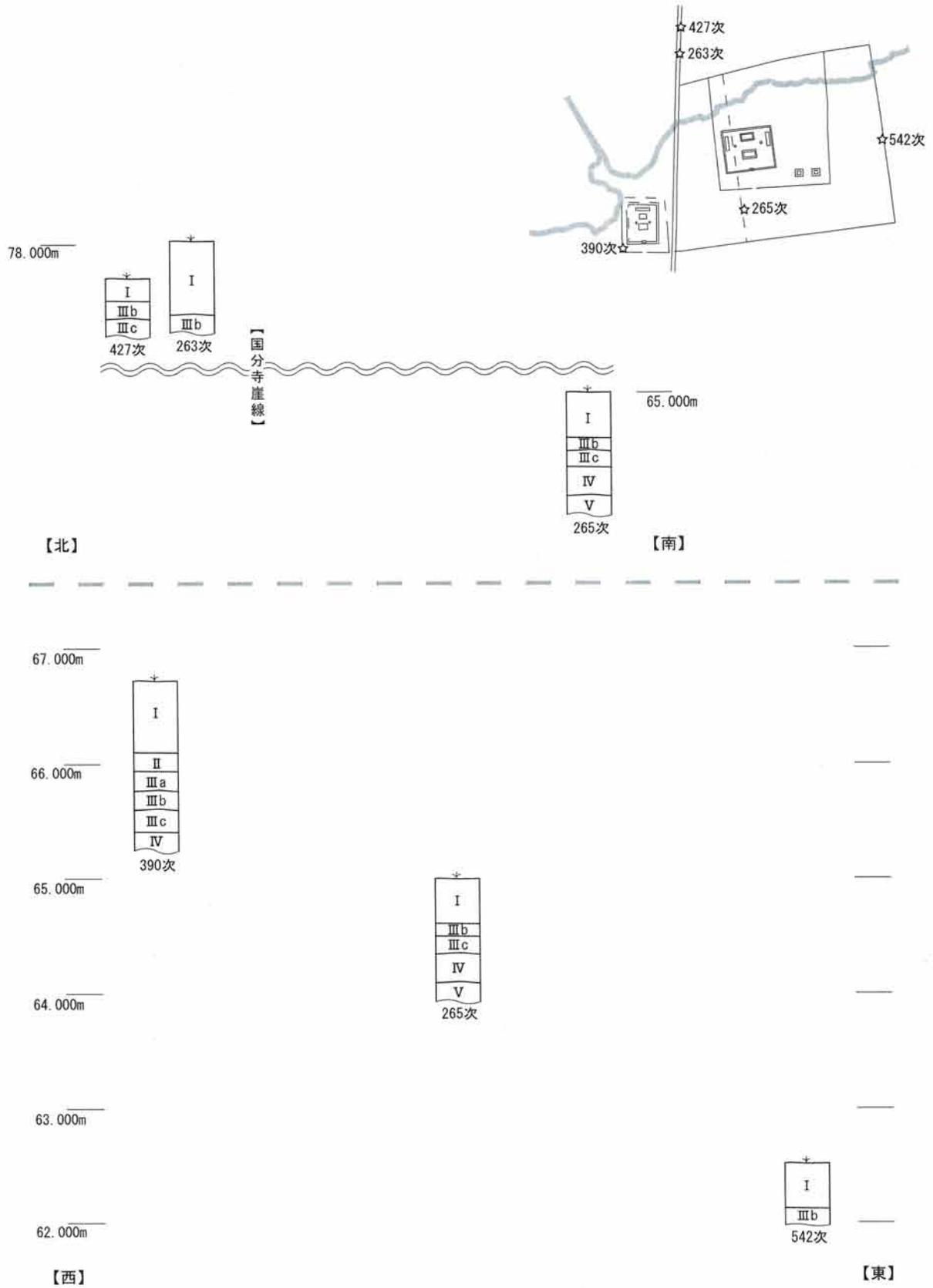
しかし縄文時代を最後に、市域での土地利用痕跡は希薄となる。そうした中、奈良時代に入って突如として出現するのが武蔵国分寺とそれに伴う集落である。武蔵国分二寺は北に国分寺崖線を背負い、東山道武蔵路を挟んで東に僧寺、西に尼寺の伽藍を構える。弥生時代以来ほとんど無住の地であった当地が国分寺の建設地に選ばれたのは、上記の地理的環境が、天平13年の国分寺造営の詔に云う「好处」と見なされたためであろう。

第2節 基本層序

国分寺市遺跡調査会で用いる層位区分は、表土（I層）下の黒色土が2枚に細分され、これをII層・III層と呼称している。従って下位のローム層の呼称については、一般的な立川ローム層の区分とはズレが生じている。今回報告する調査区は国分寺崖線の上下に跨る。第5図に示すように第263次調査区と第265次調査区の間約13mもの比高差は国分寺崖線によるものだが、第390次調査区と第542次調査区の間にも約3mの比高差があり、崖線下では西がやや高い地形となっている。堆積土は下記の通りほぼ共通した層序を示す。

- I層 表土および耕作土。
- II層 黒褐色土。粒子が粗い。しまりやや弱い。粘性弱い。歴史時代の遺構内の堆積土に似る。
- III a層 暗褐色土。粒子はやや粗い。粘性やや弱い。II層・III b層との境は漸移的。
- III b層 暗褐色土。III a層より明度高い。本層の上面で歴史時代の遺構が検出しやすくなる。縄文時代の遺物を包含する。
- III c層 茶褐色土。ローム漸移層。本層の上面で縄文時代の遺構が検出しやすくなる。上部に縄文時代の遺物を包含する。
- IV層 暗黄褐色ローム。ソフトローム。
- V層 黄褐色ローム。ハードローム。

II 調査地区の概観



第5図 基本層序

Ⅲ 検出遺構と出土遺物

第1節 僧寺地区の調査

(1) 東僧坊地区（第19・117・414次調査、図面1・2、図版1・2）

SB38 礎石建物 東僧坊である。僧寺中心点より北16.2m～40.1m、東61.7m～71.8mの範囲で確認した。礎石据え方は平面形が1辺約1.1m～1.5mの隅丸方形で、深さは約0.8mを測る。5-3の礎石がSK131土坑内に落ち込んで検出された以外は、すべて失われているが、確認面には根石が残存している。底面から黒色土とローム土および川原石を突き固めた地業を行っている。梁行4間の二面庇建物である。桁行3間毎に坊間を設ける。建物の主軸は、僧寺中軸線に並行する。柱間は、梁行きが身舎1間8尺（1尺≒30cm、以下同じ）・庇1間7尺、桁行が1間10尺である。

SA2 掘立柱塀 伽藍中枢部を囲う掘立柱塀である。僧寺中心点より北15.9m～54.7m、東77.0m～81.3mの範囲で確認した。東僧坊東側柱心からの距離は東へ約6.9mである。柱穴は平面形が1辺約1.0m～1.2mの隅丸方形で、深さは約0.8mを測る。柱間は8尺である。柱穴列の主軸は、僧寺中軸線に並行する。

SX1 硬質面 SA2掘立柱塀の上面で検出された硬質面である。SA2掘立柱塀の上面を約20cm～30cm掘り込んで整地し、黄褐色土と黒褐色土を積み上げている。最下層以外の堆積土は非常に緻密で硬質である。上面幅は約1.5m～2.5mを測る。

SD26 溝・SK130 土坑 僧寺中心点より北15.9m～31.6m、東72.4m～75.9mの範囲で確認した。同一遺構と考えられる。長方形の土坑が南北に連なったような形状を呈する。第414次調査区において1回の掘り直しが認められる。上面幅は最大で約3.2m、深さ約1.2mを測る。溝の主軸は、僧寺中軸線に並行する。覆土中からは須恵器・土師質土器および大量の瓦が出土している。

SD27 溝 僧寺中心点より北16.3m～24.0m、東79.4m～81.7mの範囲で確認した。上面幅約2.1m、深さ約1.6mを測る。溝の主軸は、僧寺中軸線に並行する。覆土中からは多量の瓦が出土している。

SK131 土坑 僧寺中心点より北20.4m～23.9m、東70.7m～73.5mの範囲で確認した。長軸約3.7m、短軸約3.0mを測り不正円形を呈する。深さは約0.8mを測る。SB38礎石建物の礎石据え方を切る。覆土中からは多量の瓦が出土している。

(2) 伽藍地区画溝（第 273・303 次調査、図面 3～6、図版 3）

SD23 溝 伽藍地区画溝である。第 303 次調査区において僧寺中心点より北 55.0m～77.1m、西 104.9m～108.8m で西辺を、第 273 次調査区において僧寺中心点より北 22.7m～24.1m、東 258.6m～260.9m で東辺を確認した。規模は西辺が上面幅約 3.1m、底面幅約 1.4m、深さ約 1.9m。東辺が上面幅約 2.8m、底面幅約 1.9m、深さ約 1.3m を測り、ともに断面は逆台形状を呈する。覆土の堆積状況から、それぞれ 2 回の掘り直しが認められる。溝底面のロームブロックによる埋め込み土層は、西辺では確認できたが東辺には認められなかった。覆土中からは瓦が出土している。

SI391 住居 第 303 次調査区において、僧寺中心点より北 58.0m～61.1m、西 104.5m～106.3m の範囲で確認した。住居の西側約 1/2 が検出され、東側は調査区外に及ぶ。南北約 3.0m、深さ約 20cm を測る。調査区内ではカマドは確認されていない。SD23 溝の埋没後に構築されている。覆土中からは瓦・緑釉陶器が出土している。

SI392 住居 第 303 次調査区において、僧寺中心点より北 62.7m～65.8m、西 107.4m～110.5m の範囲で確認した。住居の東側約 4/5 が検出され、西側は調査区外に及ぶ。南北約 3.0m、深さ約 30cm を測る。SD23 溝の埋没後に構築されている。床面直上からは完形の石製丸鞆が、覆土中からは瓦が出土している。

SX57 瓦列・SX58 瓦列 第 303 次調査区において、SX57 瓦列は僧寺中心点より北 66.6m～71.3m、西 109.5m、SX58 瓦列は僧寺中心点より北 66.7m～67.7m、西 104.7m の範囲で確認した。SD23 溝に並行して西に SX57 瓦列、東に SX58 瓦列が位置する。SX57 瓦列の主軸は、僧寺中軸線北に対して約 2° 40′ 東偏する。SX58 瓦列は一部 SD23 溝に崩れ落ちるように検出された。SX57 瓦列に使用された瓦はすべて完形の女瓦であり、凸面を上にし両端面を接して並べられている。SX58 瓦列には男瓦と女瓦が使用されている。

(3) 寺院地区画溝（第 265・281・388・418・440・512・542 次調査、図面 3～8、図版 4-1～4-5）

SD23 溝・SD42 溝 とともに寺院地北辺区画溝である。第 281・388・440・512 次調査区において、僧寺中心点より北 221.7m～243.0m、西 52.0m～183.4m の範囲で確認した。伽藍地区画溝を兼ねる SD23 溝と SD42 溝では前者の規模が大きい。SD23 溝は上面幅約 2.6m、底面幅約 1.4m、深さ約 1.1m を測り、断面は逆台形状を呈する。SD72 溝と重複しこれより新しい。SD42 溝は上面幅約 1.3m～2.2m、底面幅約 1.1m～90cm、深さ約 60cm～80cm を測り、断面は逆台形状を呈する。第 388 次調査区では底面にロームブロックの整地層が確認できる。SD23 溝の覆土中からは須恵器・瓦が出土している。

SD72 溝 僧寺の区画変更によって埋め戻された古寺院地西辺区画溝である。第 265・281 次調査区において、僧寺中心点より北 240.6m～南 210.2m、西 45.0m～54.0m の範囲で確認した。上面幅約 1.4m～2.0m、底面幅約 1.0～1.2m、深さ約 70cm～90m を測り、断面は逆台形状を呈する。覆土上面は人為的に埋め戻されている。溝底面にはロームブロックによる埋め込み土層が確認された。第 281 次調査区では鏡瓦 5 点・宇瓦 1 点・男瓦 9 点・女瓦 16 点・隅切り瓦 1 点が出土した。鏡瓦はいずれも素弁八葉蓮華文で、一本作り技法のものと差し込み技法のものがある。いずれも南比企窯跡群の製品である。女瓦には桶巻き作りのものと一枚作りのものがある。

SB103A・B 掘立柱建物 第 265 次調査区において、僧寺中心点より北 212.7m、西 48.5m で確認した 2 基の柱穴である。第 36 次調査区（国分寺市遺跡調査会 1989）で検出された SB103A・B 掘立柱建物の北東隅柱と考えられる。

第 2 節 尼寺地区の調査

（第 187・346・356・379・390・552 次調査、図面 9～12、図版 4-6～5-5）

SD34 溝 尼寺の伽藍地区画溝である。第 346 次調査区において南辺を、第 390 次調査区において西辺を確認した。南辺は上面幅約 2.7m、底面幅約 75cm、深さ約 1.2m で断面は逆台形状を呈する。堆積土は 3 層に大別でき、2 度掘り直されている。下層はロームブロックと黒色土の混合層で出土遺物はない。下層上部を整地・転圧して SX5 通路状遺構を構築している。中層は粘性の高い黒褐色土で SX5 通路状遺構を被覆する。武蔵国分寺Ⅱ期の瓦片が出土する。上層は黒褐色土で平安時代後期の土器が出土する。西辺は上面幅約 2.0m、深さ約 45cm で断面は V 字状を呈する。覆土上層には焼土炭化物を含む。

SD180 溝 尼寺中門推定地の東側に延びる東西溝である。第 187 次調査区において確認した。上面幅は SK773 土坑に切られており不明である。底面幅・深さは約 1.0m を測り、断面は逆台形状を呈する。底面から約 10cm にはロームブロックによる埋め込み土層が確認できる。出土遺物はない。

SD264 溝 尼寺中門推定地の西側に延びる東西溝である。第 379 次調査区において確認した。上面幅約 1.0m、深さ約 20 cm を測る。出土遺物はない。

SD267 溝 尼寺中枢部の内側を巡る溝（東辺）である。第 552 次調査区において確認した。A・B の 2 時期が確認され、A が古い。平面確認のみにとどめたため深さは不明であるが、上面幅は A 期が約 1.3m、B 期が約 2.0m を測る。A 期は調査区北側で途切れる。土器片・瓦片が少量出土している。

SD447 溝 尼寺中枢部の外側を巡る溝（南辺）である。第 356 次調査区において確認した。上面幅約 1.2m、底面幅約 70cm、深さ約 1.0m で断面は逆台形状を呈する。土器片がわずかに出土しているが時期を特定できるものはない。

SA19-19 柱穴 尼寺中枢部を区画する掘立柱塀（東辺）の柱穴である。第 552 次調査区において確認した。中枢部南東端より 5 つ目の柱穴と推定される。一部を検出したのみで規模・形態は不明であるが、平面形は隅丸方形を呈し一辺 90cm 程度と考えられる。

SX5 通路状遺構 SD34 溝（南辺）を跨ぐ硬質面である。第 346 次調査区において確認した。長軸は約 4.6m を測る。中央部は溝上面より約 40cm 下がり、幅も約 40cm と最も狭くなる。構築土はローム粒を多く含む黒褐色土である。構築土中からは武蔵国分寺Ⅱ期の瓦片が出土する。なお、当遺構に繋がるような道路状遺構は調査区内では確認できなかった。

SX199・SX200 特殊遺構 SD267 溝の東側を平行に走る土坑状の落ち込みである。第 552 次調査区において確認した。上面幅約 80 cm、深さ約 20 cm を測る。

第 3 節 東山道武蔵路の調査

国分寺市内では、昭和 50 年代から僧寺・尼寺の中間を南北に貫く道路跡の存在が注目されていた。道路跡は東西に側溝を有し、道幅 12m を測る大道であり、国分寺市遺跡調査会ではこれを SF1 道路として調査を継続してきた。その後、府中市内でも検出例が増加し、さらに所沢市東の上遺跡（飯田 1991）において SF1 道路の延長線上で同様の特徴をもつ道路跡が検出されたことにより、この道路が『続日本紀』に記された東山道の支路である「東山道武蔵路」である可能性が指摘されることとなった。国分寺市の旧鉄道学園跡地の調査では（西国分寺地区遺跡調査会 1999・東京都埋蔵文化財センター 2003）、東山道武蔵路が約 400m にわたって検出され、4 時期の変遷が確認されている。

本節では東山道武蔵路周辺の調査成果を報告するが、調査回数ごとに道路側溝の遺構番号が異なる場合がある。これは個々の溝跡が一連の道路側溝であるという認識にいたるまでに如上の調査事例の蓄積を必要としたためである。本報告では遺構番号は調査時のままとし統一は行っていないが、記述上の便宜を図るために道路遺構の名称については以下の通り統一した。

道路 A 東西に側溝を有し、道幅約 12m を測る SF1 道路。旧鉄道学園跡地の東山道武蔵路第 1 期に相当する。

道路 B 道路 A に並行して走る側溝によって認識される道路跡。旧鉄道学園跡地の東山道武蔵路第 3 期に相当する。

道路 C 第 438 次調査区で検出された、僧寺中軸線に対して約 33° 51′ 西偏する SF10 道路。

Ⅲ 検出遺構と出土遺物

(1) 武蔵国分寺以北（第 182・213・217・263・278・374・427 次調査、図面 13～17、図版 5-6～8-2）

道路 A SD202 溝・SD178 溝を東側溝、SD188 溝を西側溝とする。第 182・217・263・278・427 次調査区において確認した。

側溝の形状は、深さが一定でなく、所々途切れる箇所があり、長楕円形の土坑が連結した形状となる。連結部分は階段状を呈する。SD178 溝は長軸約 3.7m の独立した長楕円形土坑となる。

側溝の規模は、上面幅約 1.5m～80cm、底面幅約 30cm～50cm を測り、深さは深い部分では約 1.0m、浅い部分では約 40cm である。断面形状は逆台形または「Y」字状を呈する。覆土は基本的に溝の最低面にロームブロックを主体とする層があり、中位に黒褐色土層が入る。さらに上層には暗黄褐色の硬くしまった層が堆積する。上層は旧鉄道学園跡地の東山道武蔵路第 2 期に相当するものと考えられる。底の浅い部分ではロームブロックの整地層は見られない。

路面は、第 263 次調査区において SX47 硬質面を検出した。道路 B に伴う路面である可能性も否定できないが、道路 A の外側まで硬質面が広がらず、道路 A に伴う路面の可能性が高い。その他の調査区では路面にあたる硬質部は面的には検出されず、ブロック状に残存していた。

いずれの調査区においても遺物は僅少であるが、第 278 次調査区の西側溝（SD188 溝）より鏡瓦・熨斗瓦が出土している。

道路 B SD201 溝を東側溝、SD189 溝を西側溝とする。第 217・263・278 次調査区において確認した。

側溝の断面形は逆台形または「U」字状を呈し、上面幅約 80cm～90cm、深さ約 40cm を測る。底面は平坦で、道路 A のように長楕円形土坑を連ねたような形状とはならない。いずれの調査区からも遺物は検出されていない。

SD187 溝 第 213 次調査区において、道路 B 西側溝推定通過ラインのわずかに外側で確認した。上面幅約 60cm、底面幅約 40cm、深さ約 20cm を測る。覆土の最下層は非常に硬質であることから、道路面と考えられる。覆土中から須恵器底部周縁ヘラ削りの坏 2 点が出土している。

SK840 土坑 第 213 次調査区において、SD187 溝の南で確認した。東西約 4.0～5.0m、南北 8.0m 以上、深さ約 1.6m を測る。図示していないが須恵器底部周縁ヘラ削りの坏が出土しており、SD187 溝と同時期と考えられる。

SI313 住居 第 182 次調査区において確認した。南北約 3.0m、深さ約 30cm を測る。調査区内でカマドは検出されていない。遺物は覆土より須恵器坏が出土している。

SI330 住居 第 213 次調査区において確認した。南北約 3.0m、深さ約 30cm を測る。東壁にカマドを 2 基有し、建て替えまたはカマドの造り替えがあったと考えられる。遺物は床面直上から土師器坏・須恵器坏・土師質土器坏が出土している。

Ⅲ 検出遺構と出土遺物

SI335 住居 第213次調査区において確認した。住居の南東部分約1/4が検出され、残りは調査区外に及ぶ。東壁にカマドを有する。遺物はカマド内から土師器甕・須恵器皿などが出土している。

SI375 住居 第278次調査区において確認した。住居の東側約1/4が検出され、残りは調査区外に及ぶ。道路Aの東側溝(SD202溝)の西側立ち上がり部分に東壁を接している。調査区内でカマドは検出されていない。遺物は酸化焰焼成の須恵器坏・壺が出土している。

(2) 寺院地内(第49・144・210・247・297・321次調査、図面18～22、図版8-3～9-5)

道路A 第210次調査区において確認したSK818土坑を東側溝とする。調査区内においては単独の土坑であるが、両調査区の北側で行った第48次調査(国分寺市遺跡調査会1982)で検出された道路Aとの関係によって、その東側溝であることが判明する。東西約0.8m、南北約1.0m、深さ約0.6mを測る。

第144次調査区・第247次調査区・第297次調査区は道路跡A側溝の推定通過ライン上に位置するものの、遺構は検出されなかった。

第49次調査区において確認したSD86溝は、第291次調査区(整理中)で検出したSD191溝(道路跡A西側溝の推定通過ライン上に存在する)から東へ11.4mの距離にあることから、道路Aの東側溝と判明する。SX8地業遺構によって上面が削平される。溝底面幅は約40cmを測る。出土遺物はない。

SX8 地業遺構 第49次調査区において確認した。確認面から約60cmを掘り込み、暗褐色土・黄褐色土を用いて4cm～16cmほどの厚さで突き固めている。周辺遺構との新旧関係は、(旧)SD86溝→SX8地業遺構→SI140住居(新)である。

SD51 溝 第49次調査区において確認した。上面幅約2.2m、底面幅約1.4m、深さ約40cmを測る。SX8地業遺構と重複しないことから、SX8地業遺構を道路面・SD51溝を東側溝とする道路遺構の可能性はある。SX8地業遺構・SD51溝のいずれからも遺物は出土していない。

SD46 溝 第210・321次調査区において、計4箇所を確認した。第48次調査区(国分寺市遺跡調査会1982)で確認された溝跡の南側延長部分にあたる。上面幅約1.8m、深さ約30cmを測る。北側は道路Aの範囲に含まれるが、南へ行くほど蛇行しながら東へ逸れていく。覆土は非常に硬質であることから、時期は確定できないものの東山道武蔵路に伴う路面と考えられる。出土遺物はない。

SB108 掘立柱建物 第321次調査区において5基の柱穴を確認した。柱穴の深さは約40cmを測る。隅柱の柱穴掘り方の平面形は「L」字状を呈し、その他は隅丸長方形を呈する。梁行き2間・桁行き2間以上で南側は調査区外へ続く。柱間は、梁行き・桁行とも1間8尺である。

III 検出遺構と出土遺物

建物の主軸は、僧寺中軸線にほぼ並行する。出土遺物はない。

SB109 掘立柱建物 第 321 次調査区において 7 基の柱穴を確認した。建物の主軸は、僧寺中軸線にほぼ並行する。柱穴掘り方の平面形は隅丸長方形で深さは約 45cm を測る。梁行き 2 間・桁行き 3 間以上で南西側は調査区外へ続く。出土遺物はない。

SI140 住居 第 49 次調査区において確認した。SX8 地業遺構を切って構築されている。住居の北側約 1/2 が検出され、残りは調査区外に及ぶ。南北約 3.3m、深さ約 60cm を測る。北壁にカマドを有する。遺物は土師器甕・須恵器坏などが出土している。

(3) 寺院地南辺区画溝との交点部分（第 317・438 次調査、図面 23・24、図版 9-6～10-5）

道路 A 第 317・438 次調査区において確認した。SD76 溝・SD330 溝・SD331 溝を東側溝とする。SD331 溝は SD330 溝より約 1.3m 道路面側に寄る。僧寺中心点より南 310m、西 278m の地点で SD12 溝と重複し、これに切られている。出土遺物はない。

道路 C 第 438 次調査区において確認した。SD329 溝を西側溝とする。西側溝の規模は上面幅約 40cm、深さ約 10cm を測る。検出された道路長は約 4.5m である。路面中央には、進行方向に直交して長軸 90cm～1.4m・短軸 40cm～60cm、深さ 10cm 前後の掘り込みが 15cm 前後の間隔で並び（P-1～P-7）、「波板状」を呈する。掘り込みの覆土は小砂利や瓦片を含み、非常に硬質である。また P-4 と P-5 からは同一個体の須恵器壺片が出土している。

SD12 溝 第 317 次調査区において確認した。上面幅約 1.6m、底面幅約 30cm、深さ約 80cm を測り、断面は逆三角形形状を呈する。掘り直しの形跡は認められない。道路 A の東側溝（SD76 溝）と重複し、これより新しい。西側は道路 A の路面部分へと続いている。出土遺物はない。

SD13 溝 第 317 次調査区において確認した。上面幅約 1.0m、底面幅約 50cm、深さ約 40cm を測り、断面は逆台形状を呈する。掘り直しの形跡は認められない。出土遺物はない。

SK1771～SK1773 土坑 第 438 次調査区において確認した。いずれも平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸約 1.5m・短軸約 1.3m・深さ約 30cm（SK1771 土坑）、長軸約 1.7m・短軸約 1.6m・深さ約 60cm（SK1772 土坑）、長軸約 1.5m・短軸約 1.1m・深さ約 10cm（SK1773 土坑）を測る。出土遺物はない。

IV 小結

第1節 東僧坊と伽藍中枢部の構造

東僧坊 SB38 礎石建物については、すでに『国分寺市史上巻』において一部紹介していたが、第414次調査区を加えたことで全体像がより明らかとなった。以下に各部の規模を示す。

桁行き：8間（1間＝10尺）＝24m以上

梁行き：4間（両庇含む。1間＝7.5尺）＝9m

第414次調査の成果より、桁行3間毎で坊を区切っていることが判明した。梁行き・柱間間隔・3間を一坊とする点は、尼坊 SB54 礎石建物と同一の規模・構造である。桁行きも尼坊と同様であるとすると、3間からなる坊が5つ連なった桁行き15間（45m）の切妻式礎石建物に復元できる。この場合、尼坊は尼寺講堂の北側に1棟であるのに対し、僧坊は金堂・講堂の東西に1棟ずつ配置されることから、僧坊・尼坊とも一坊につき2名の僧尼が起居していたと考えれば、国分寺造営の詔に云う「僧廿人、尼十人」の定員に一致する。

東僧坊 SB38 礎石建物の東側を南北に走る SA2 掘立柱塀は、中門に取り付いて東西に延びる SA33 掘立柱塀の東辺である。『国分寺市史上巻』では、SA2 掘立柱塀の上面を被覆する SX1 硬質面を「通路状遺構」としていた。これは、SX1 の硬質土が層状にではなく面的に広がっており、その上面が当時の使用面と捉えられるという調査所見によるものである。しかし、近年の中門地区および中枢部区画施設南辺地区での調査では、東辺と同様に掘立柱塀の上面を切る地業遺構が検出され、築地塀の跡であることが確認されている（国分寺市遺跡調査会 2006、SX249 築地塀跡）。本書では、調査所見を重視して従来通り SX1 を通路状遺構とみているが、掘立柱塀の上面を掘り込んで整地した上に暗褐色土と黒色土の互層積みを行う点は SX249 築地塀跡と類似しており、今後再確認の機会を待ちたい。

また、SA2 掘立柱塀の西側に平行して検出された SD26 溝・SK130 土坑は、本書でも一部報告した尼寺伽藍地の掘立柱塀の内側を巡る SD267 溝と規模や形状が類似している。

第2節 寺院地・伽藍地確認調査の成果

次に寺院地・伽藍地の構造解明のための学術調査の成果についてまとめる。

第281次調査は、武蔵国分寺 I a 期の古寺院地西辺区画溝（SD72 溝）の国分寺崖線上での様相、および寺院地北辺区画溝（SD23 溝）との関係を解明するために行った。調査の結果、

SD72 溝は SD23 溝に切られ、以北には伸びないことが確認された。I a 期の北辺区画溝については SD72 溝が SD23 溝より浅いため不明であるが、第 43 次調査区（『例言』第 1 図 F 地点）では SD23 溝に先行する北辺区画溝（SD63 溝）が検出されていることから（国分寺市遺跡調査会 1982）、SD23 溝と一部重複して存在した可能性が高い。また SD72 溝は全体的に埋め戻しが行われており、覆土上層から南比企産の一本作り鍔瓦や桶巻作り女瓦など古相の瓦が出土する点などは、これまでの調査結果と同様であった。

第 303 次調査は、僧寺中枢部を区画する溝や塀の北辺が当該調査区付近で SD23 溝と接続すると想定し、その様相を探るために行った。調査では、中枢部区画施設は検出されなかった。すなわち、中枢部区画施設は『例言』第 1 図ア地点で南へ折れ、上述の東僧坊付近でのあり方も勘案すると、第 1 図アイウエとなり中枢部の周囲をめぐる可能性が高くなった。

尼寺南方地域では、第 45 次調査（国分寺市遺跡調査会 1989）において、SD34 溝とこれを埋め込み通路とした SX5 通路状遺構が検出されていたものの、想定された南門跡は確認できなかった。そこで第 346 次調査では、既往の調査区を南東に拡張し、南門跡の有無の再確認および通路状遺構の全体像の把握を目指した。調査の結果、SD34 溝の南側には小穴が数基あるのみで、南門跡や通路状遺構の延長は確認できなかった。従って、南門の存在する可能性は SD34 溝の北側に絞られた。また、Ⅲで述べたように SD34 溝の堆積土は SX5 通路状遺構より下位の 1 層と上位の 2 層の計 3 層に分けられる。各層の特徴や出土遺物の様相から、SD34 溝の開削当初は SX5 通路状遺構は存在せず、武蔵国分寺Ⅱ期かそれをやや遡る時期に SX5 通路状遺構が敷設され、武蔵国分寺Ⅲ期には SD34 溝が埋没するという変遷が考えられる。

第 3 節 東山道武蔵路の再検討

東山道武蔵路については、本書によって武蔵国分寺跡での調査事例については大半の報告を終えた。ここで改めて武蔵国分寺周辺における東山道武蔵路の様相を整理する。

第 2 表には、武蔵国分寺跡の範囲内で国分寺市遺跡調査会が調査した道路 A (SF1) の側溝を挙げた。最北端の第 503 次調査区の北側には恋ヶ窪谷が入り、道路 A は谷に向かって切り通し状に走っている。第 503 次調査区と第 427 次調査区の間は、Ⅲで述べた通り西国分寺地区遺跡調査会および東京都埋蔵文化財センターの調査で道路 A が検出されている。

ここで指摘できるのは、西側溝では N4.9 ~ N217.9、東側溝では N5.8 ~ N211.1 までの約 200m にわたり、両側溝が検出されない区間が存在する点である。本書で報告した中では第 247 次調査と第 297 次調査がこの区間に相当する。これ以外にもこの区間は下水道の設置に伴う調査が網の目状に行われているにもかかわらず側溝が検出されていないことから、本来側溝が存

IV 小結

調査区	西側溝		東側溝		掲載
	X座標	Y座標	X座標	Y座標	
503次	N815.0	W110.0	N812.0	W100.3	概報29
427次			N407.3	W167.1	概報34
616次	N366.1	W185.0	N363.6	W174.1	整理中
263次			N319.3	W181.8	概報34
217次	N320.8	W193.1			概報34
278次	N292.3	W198.1	N275.4	W189.3	概報34
182次			N266.1	W190.3	概報34
48次	N229.3	W208.0	N225.2	W197.3	年報II
79次	N217.9	W209.7			概報XVI
210次			N211.1	W199.3	概報34
219次	N4.9	W240.8			整理中
49次			N5.8	W229.9	概報34
357次	S43.5	W250.0	S42.5	W236.5	概報XXII
135次			S78.0	W241.9	概報XIV
357次	S155.3	W266.3	S153.1	W253.4	概報XXII
150次			S172.2	W256.0	整理中
68次	S248.3	W279.4	S254.6	W268.5	概報27
93次	S285.5	W285.1	S287.7	W273.8	概報XIV
317次			S308.9	W277.2	概報34
418次			S319.2	W279.0	概報34

第2表 道路A側溝検出調査区一覧

(北から順、単位はm、座標は武蔵国分寺局地座標系)

在しない可能性が高い。側溝が伴わない区間は、ちょうど国分寺崖線の傾斜地と崖線下の湧水地点にあたるため、地理的制約から側溝の掘削を行わなかったと考えられる。

側溝が伴わない区間での道路のあり方を示す調査事例として、第37次調査区(国分寺市遺跡調査会1998)では、道路Aの推定通過ライン上において小礫と瓦片を敷き詰めた道路状遺構(SX28)が検出されており、湧水対策の地業の可能性もある。また、本書で報告したように道路面と考えられるSD46溝が、第210・321次調査区では東側溝の推定通過ラインより東に外れた位置で検出されている。こうした事例を考え合わせれば、崖線区域では道路Aの設道当初から直線性や側溝の掘削に拘泥せず、柔軟なルート設定や湧水対策を行っていた可能性が高い。

道路Aの方向性を計測すると、崖線上では僧寺中軸線北に対して約9°19'東偏するライン上にほぼ全ての側溝が乗るのに対し、崖線下では約8°25'となる。この約1°の方向の齟齬は、崖線区域を挟んで別々に道路を施工したことに起因すると考えられる。

道路Bは、旧鉄道学園跡地においては、東側溝のみが新たに掘削され、西側溝は道路Aの西側溝を再利用したものと考えられていたが、旧鉄道学園跡地の南側の旧第四小学校跡地(第616次調査:整理中)では道路Aの西側溝の外側にこれと並行する溝が確認された。第217次調査区でもこれと対応する溝が検出されており、道路Bも部分的には両側溝を完備した道路であったことが判明した。道路Bの範囲は、北は旧鉄道学園跡地から南は第182次調査区までは確実であるが、崖線区域及び崖線下では確認できておらず、崖線上に限った側溝掘削であった可能性もある。ただし、旧鉄道学園跡地では約9mであった道幅が第217・263次調査区では道路Aとほぼ等しい約11m幅となるように、道路Bは道路Aほど厳密な直線道路ではない。また側溝の深さも浅く、道路Aほど特徴的な形態を呈さないこともあり、推定通過ラインを外れているとすれば道路Bの側溝と認定することは困難である。

次に各道路跡の年代について。道路Bの年代を示す層位的事実や出土遺物は今回報告の調査

区では確認されていない。道路 A については、出土遺物や遺構の切りあい関係から以下の点が指摘できる。

- ①第 49 次調査区において、SX8 地業遺構を切る SI140 住居の覆土中より G25 窯式期（服部・福田 1979）の坏が出土している（図面 26 - 4）。
- ②第 182 次調査区において、SD178 溝（道路 A 東側溝）の覆土中より底部糸切り後無調整の坏が出土している（図面 26 - 10）。
- ③第 213 次調査区において、SK840 土坑（調査区外南側において道路 A 西側溝と切りあう可能性が極めて高い）の覆土中より前内出 2 号窯式期の坏が 6 個体出土している（図面 27 - 3 ~ 8）。
- ④第 278 次調査区において、道路 A 路線内に構築された SI375 住居の床面直上より G5 窯式期の須恵器高台付埴が出土している（図面 27-9）。
- ⑤第 278 次調査区において、SD188 溝（道路 A 西側溝）より武蔵国分寺 II 期の鏡瓦が出土している（図面 31-1）。

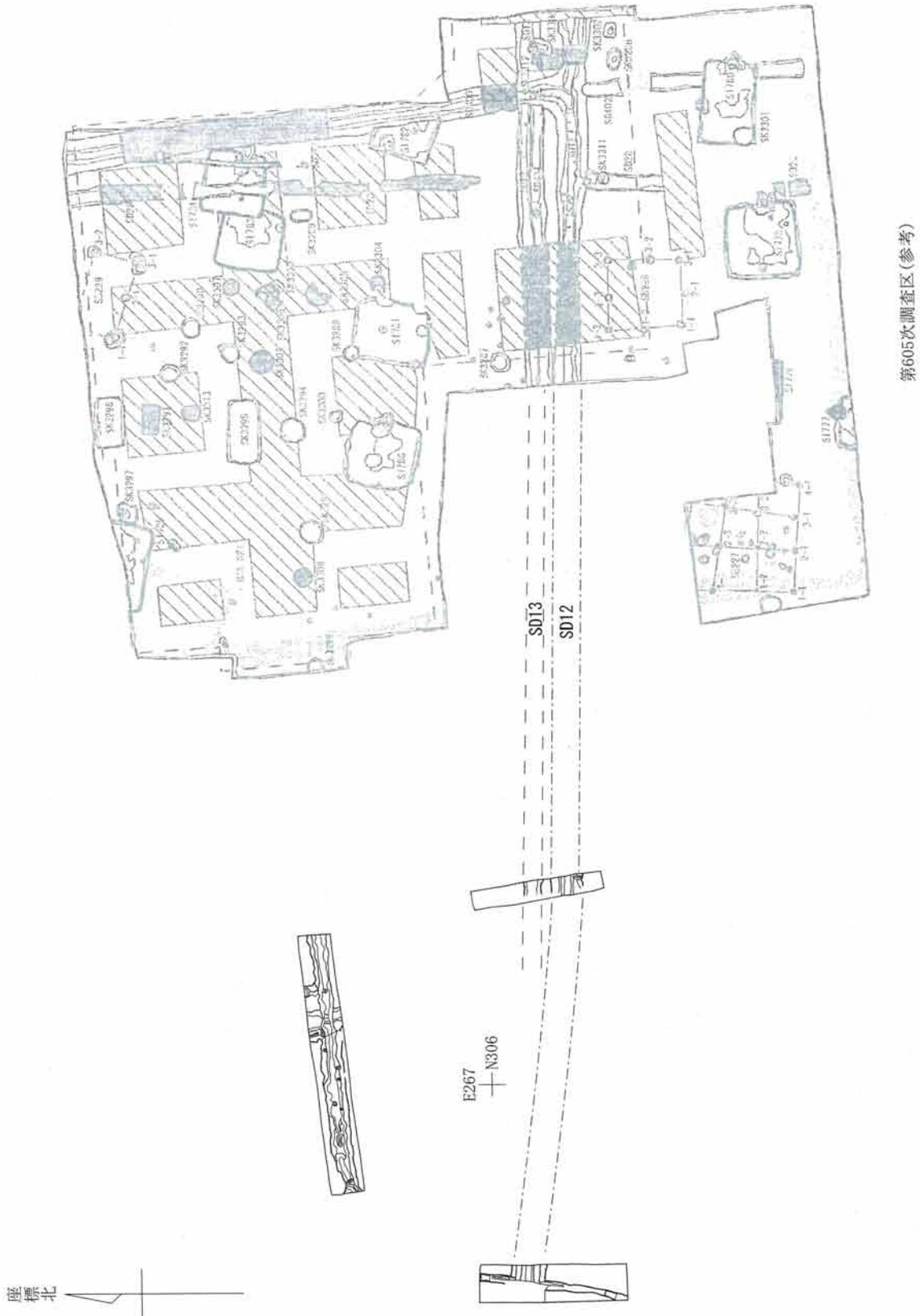
①より、道路 A は G25 窯式が示す 9 世紀後半より以前の段階で SX8 地業遺構の構築によって機能を停止していたと考えられる。また③の SK840 土坑出土土器はいずれもほぼ完形であり、型式的にもまとまることから、土坑内に一括で埋納あるいは廃棄されたと考えられる。すなわち SK840 土坑の掘削年代は土器群の示す 8 世紀中葉（酒井 1987）とほぼ同時期の可能性が高く、それ以前には道路 A の西側溝は埋設していたと考えられる。しかし②・⑤は、道路 A の側溝が武蔵国分寺 II 期には完全に埋まり切っていなかったことを示唆しており、上記の見解と対立する。当然のことながら、道路のように長大な遺構では箇所が一律に埋没・廃棄の過程をたどるわけではなく、上記①～⑤の事実は、あくまで局所的な廃絶年代を示す参考値とすべきである。しかし、③が示すように、武蔵国分寺の創建段階においてすでに道路側溝が埋没し、補修の行われない箇所が存在した点には留意すべきであろう。

次に、第 317 次調査における東山道武蔵路と僧寺寺院地南辺区画溝の切りあい関係について。この調査に関しては、東山道武蔵路と武蔵国分寺の時期的関係を示すものとして本書の刊行以前から注目されていた。例言で述べたとおり、僧寺寺院地南辺区画溝が西へ延長されるのは武蔵国分寺 II 期と考えられるため、これが東山道武蔵路の側溝を切ってさらに路面部分へ続くという事実は、この時点で東山道武蔵路の機能が停止していたことを示すからである。

ところが、その後に行った第 317 次調査の東隣での調査（第 605 次調査：未報告）では、SD12 溝と SD13 溝との切りあい関係が確認され、SD12 溝が新しいことが判明した（第 6 図）。これによって、SD13 溝が当初の僧寺寺院地南辺区画溝である可能性が浮上してきたため、第 317 次調査の成果から武蔵国分寺 II 期に東山道武蔵路が廃絶していたとは判断できなくなっ

IV 小結

た。しかし、なぜSD12溝が東山道武蔵路東側溝との交点部分においてやや北へ振れるのかは不明である。



第6図 第317・605次調査区 (S=1/300)

V 総 括

昭和 51 年度より平成 14 年度にかけて実施した発掘中、特に成果が得られたのは、武蔵国分二寺の寺院地および伽藍地に関する知見、僧寺僧坊跡の発掘による規模確認、東山道武蔵路の調査所見であった。

二寺の寺院地については、すでに南辺においては東の僧寺から西の尼寺に向けて東西方向の溝の存在が推定され、また、僧寺の東辺には南北方向の溝が、同じく北辺においては僧寺の伽藍地溝と重複して東西方向の溝が存在することが知られてきた。これらの溝の掘削設置年代については、南・東・北の各辺における状況より時間差の存在が推定されてきたが、それはポイント把握の連結推定であり、必ずしもライン設定によるものではなく、問題が残されていた。また、僧寺伽藍地をめぐって設置されている溝が、構成堂宇を囲むかのように存在していたか否かの確認も不十分であった。さらに、尼寺伽藍の南方域において南門の未確認の状況に鑑み、その存在区域の推定についての手掛かりが期待されていた。

これら諸問題の解決を意図した発掘の結果、寺院地北辺の区画溝の状態に関する従前認定の再確認、僧寺伽藍地を区画する溝が存在していたことを推定させる所見、尼寺伽藍における南門推定区域についての所見などを得ることが出来た。

僧寺の東僧坊は、一坊 3 間の桁行 15 間 (45m) の礎石建物であったことが確実となった。かかる規模は、西僧坊 (現在、墓地のため未発掘) も同様と推定され、既発掘の尼寺に坊跡の規模とも一致する。出雲国分寺 (9 × 4) より大きく、陸奥国分寺 (19 × 3) より小さな僧坊であったと推定されよう。

武蔵国分二寺の中間に南北方向に設道されていた東山道武蔵路の状態についても知見を得た。台地上における道路側溝は、国分寺崖線の傾斜地と崖下の地点においてはそれが認められず、道路敷設にあたり自然状態によって側溝の存否があったことが明らかにされた。低湿地における道路の敷設にあたって造作がなされていることは、すでに北方域の恋ヶ窪の谷戸通過の事例で知られていたが、国分寺崖線下においても同様な工事が行われたことが推定された。また、武蔵国分僧寺の創建段階における武蔵路は側溝が埋まりかけていたが、武蔵国分寺Ⅱ期においても同様であったかは判断が難しく、その段階で武蔵路が廃絶していたかは未確定となった。これらの点については今後の調査所見を得ることによって解決されていくであろう。

以上の結果については、継続中の武蔵国分僧寺跡の整備に伴う調査の所見ともども、今後とも活用され検討されることになるであろう。

(調査団長 坂 誥 秀一)

参考文献

- 有吉重蔵 1993「武蔵国分寺の創建期瓦」『考古学ジャーナル』364
- 有吉重蔵 2001「軒先瓦、文字瓦から探る武蔵国分寺」『多摩のあゆみ』103 たましん地域文化財団
- 飯田充晴 1991「埼玉県所沢市東の上遺跡」『日本考古学年報』42 日本考古学協会
- 国分寺市遺跡調査会 1982『武蔵国分寺遺跡調査会年報Ⅱ』
- 国分寺市遺跡調査会 1989『武蔵国分寺跡発掘調査概報XⅣ』
- 国分寺市遺跡調査会 1990『武蔵国分寺跡発掘調査概報XⅥ』
- 国分寺市遺跡調査会 1998『武蔵国分寺跡発掘調査概報XXⅡ』
- 国分寺市遺跡調査会 2001『武蔵国分寺跡発掘調査概報25』
- 国分寺市遺跡調査会 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報27』
- 国分寺市遺跡調査会 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報29』
- 国分寺市編纂委員会 1986『国分寺市史上巻』
- 国分寺市教育委員会 1995『武蔵国分寺跡Ⅱ 平成5年度発掘調査概報』
- 酒井清治 1987「武蔵国における須恵器年代の再検討」『研究紀要』9、埼玉県立歴史資料館
- 佐原 真 1972「平瓦桶巻き作り」『考古学雑誌』58 - 2
- 東京都埋蔵文化財センター 2003『武蔵国分寺北方地区—西国分寺地区土地区画整理事業に伴う調査—』
- 西国分寺地区遺跡調査会 1999『日影山遺跡・東山道武蔵路』
- 服部敬史・福田健司 1979「南多摩窯址群出土の須恵器とその編年」『神奈川考古』6
- 福田信夫 1993「武蔵国分寺の規模」『考古学ジャーナル』364
- 福田信夫 1997「武蔵国分寺と古代道路」『古代文化』49 - 8

出土遺物一覽表

土器一覧

図面 図版 遺物番号	調査 回数	種別 器種	出土 位置	口径 器高 底径	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
25-1 11-1 49-PH01	49	土 坏	SI140 覆土	((10.0)) 3.8 5.2	体部直線的に立ち上がる。	口縁部外面横ナデ。体部外面 下半指頭痕あり。底部手持ち ヘラ削り整形。	遺存度1/3。黄褐色。やや軟質。雲母微 量混入。内面口縁部煤付着。
25-2 11-2 49-PH02	49	土 甕	SI140 覆土	((14.8)) (5.7) -	口縁コの字状。	口縁部ナデ。体部外面上部、 横位のヘラ削り整形。	遺存度口縁部1/4残存。橙褐色。砂粒や や多量混入。
25-3 11-3 213-PH01	213	土 坏	SI330 床直	- (3.6) 5.9	体部下半内湾気味な立ち上 がり。	体部外面下半・底部手持ちヘ ラ削り。内面全面ヘラ磨き。	遺存度底部～胴部下半1/3。暗黄褐色～ 黒褐色。やや軟質。雲母少量混入。内面 黒色処理。
25-4 11-4 213-PH02	213	土 甕	SI335 カマド内	((19.6)) (6.1) -	口縁コの字状。	口縁部横ナデ。体部外面上部 横位ヘラ削り整形。	遺存度口縁部2/5残存。明橙色。雲母微 量混入。
25-5 - 213-PH03	213	土 甕	SI330 カマド内	24.6 (21.4) -	口縁くの字状。最大径は胴 部上半にあるが張りはやや 弱い。	口縁部外面横ナデ。口縁～体 部上部外面指ナデ・押さえ。 体部外面上～下半縦位のヘラ	口縁～胴部1/6欠損。橙色～暗褐色。や や硬質。雲母微量混入。体部外面煤付 着。
25-6 - 213-PH04	213	土 甕	SI335 カマド内	18.8 (24.0) -	口縁コの字状。最大径は胴 部上半にある。	口縁部横ナデ。体部外面斜位 ヘラ削り。	1/5欠損。橙色。やや硬質。砂粒少量混 入。胴部外面上半煤付着。
25-8 - 303-PH01	303	土 甕	SI336 床直	((20.5)) 27.4 5.0	口縁ややコの字状。最大径 は胴部上半にあるが張りは やや弱い。	口縁～体部内面ヘラナデ。口 縁～体部上部指ナデ・押さ え。体部下半縦位のヘラ削	1/4欠損。橙色～暗褐色。やや硬質。雲 母微量混入。胴部外面煤付着。
25-7 11-5 414-PH01	414	土 坏	SK1546 覆土	- (2.7) 6.7	体部下半内湾気味な立ち上 がり。	ロクロ調整。体部外面下半及 び底部回転？ヘラ削り整形。	遺存度体部～底部1/3。薄黄褐色。軟 質。砂粒微量混入。
26-1 11-6 19-PK01	19	須 A 皿	SD27 覆土	16.6 2.9 7.3	体部直線的に立ち上がり、 口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	口縁部1部欠損。灰色。硬質。砂粒微量 混入。
26-2 11-7 19-PK02	19	須 A 坏	SK131 覆土	13.0 4.1 5.0	体部直線的に立ち上がり、 口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	完形。灰色。硬質。胎土緻密。
26-3 11-8 49-PK01	49	須 A 坏	SI140 覆土	((13.6)) 5.6 6.8	体部下半内湾気味な立ち上 がり。口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後、周縁回転ヘラ削り。	遺存度2/3。灰色。白色粒子・海綿骨針 やや多量混入。
26-4 11-10 49-PK02	49	須 A 坏	SI140 覆土	((12.0)) 5.6 ((6.8))	体部下半内湾気味な立ち上 がり。口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	遺存度1/2。灰色。白色粒子やや多量混 入。
26-5 11-11 49-PK03	49	須 A 坏	SI140 覆土	((12.0)) 3.9 ((5.6))	体部下半内湾気味な立ち上 がり。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	遺存度1/6。灰白色。やや軟質。海綿骨 針少量混入。
26-6 11-9 49-PK04	49	須 A 甕	遺構外	((31.4)) (13.6) -	口頸部直線的に立ち上が り、口縁部外反。	ロクロ調整。口縁部強くナ デ。	遺存度頸部～胴部肩1/7。暗褐色～赤褐 色。胴部外面降灰釉。
26-7 11-12 49-PK05	49	須 A 蓋	遺構外	18.7 4.7 -	天井部～口縁部まで内湾気 味。歪んでいる。	内外面ともロクロ調整。その 後天井部ヘラ削り。	遺存度3/4。灰色。白色粒子・海綿骨針 やや多量混入。内面全面降灰釉。
26-8 11-13 182-PK01	182	須 A 坏	SI313 覆土	- (3.1) 5.7	体部下半やや内湾気味な立 ち上がり。高台部への字状 に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。底部回転ヘラ削 り整形。高台貼り付け。	遺存度底部～体部下半。暗灰色・硬質。 胎土緻密。
26-9 11-14 182-PK02	182	須 A 坏	SI313 覆土	- (1.2) ((8.0))	-	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	遺存度底部1/2。暗灰白色。やや軟質。 海綿骨針少量混入。
26-10 11-15 182-PK03	182	須 A 坏	SD178 覆土	- (2.3) ((7.0))	-	底部回転系切り後無調整。	遺存度底部1/5。暗灰白色。やや軟質。 海綿骨針少量混入。
26-11 12-1 182-PK04	182	須 A 甕	SD178 覆土	- (2.3) ((5.0))	体部下半やや内湾気味な立 ち上がり。高台部への字状 に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存度高台部1/5。暗赤褐色。硬質。胎 土緻密。
27-1 12-2 213-PK01	213	須 A 埴	SI330 床直	14.0 5.8 6.3	体部下半やや内湾気味、口 縁部若干外半。高台部への 字状に広がる。断面形は角形	ロクロ調整。高台貼り付け。	口縁1/6欠損。灰色。硬質。粗砂粒多量 混入。
27-2 12-3 213-PK02	213	須 A 皿	SI335 カマド内	((13.6)) 3.0 6.7	体部下半やや内湾気味、口 縁部外半。高台部への字状 に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存度1/4。灰赤褐色。硬質。粗砂粒や や多量混入。
27-3 12-4 213-PK03	213	須 A 坏	SK840 覆土	12.6 3.6 6.9	体部下半やや内湾気味に立 ち上がり、口縁部若干外 半。	ロクロ調整。底部回転系切り 後、周縁ヘラ削り整形。	完形。灰色。硬質。胎土緻密。
27-4 12-5 213-PK04	213	須 A 坏	SK840 覆土	12.5 3.6 7.4	体部やや内湾気味に立ち上 がる。	ロクロ調整。底部回転系切り 後、周縁ヘラ削り整形。	完形。灰色。硬質。胎土緻密。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	種別 器種	出土 位置	口径 器高 底径	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
27-5 12-6 213-PK05	213	須 A 坏	SK840 覆土	14.2 3.8 8.4	体部直線的に立ち上がる。	ロクロ調整。底部回転糸切り後周縁へラ削り整形。	口縁～体部1/6欠損。灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。
27-6 12-7 213-PK06	213	須 A 坏	SK840 覆土	13.0 3.9 7.2	体部やや内湾気味に立ち上がる。	ロクロ調整。底部回転糸切り後周縁へラ削り整形。	口縁～体部1/4欠損。灰白色。硬質。胎土緻密。底部外面墨書「山」あり。
27-7 12-8 213-PK07	213	須 A 坏	SK840 覆土	12.8 3.8 7.1	体部やや内湾気味に立ち上がる。	ロクロ調整。底部回転糸切り後周縁へラ削り整形。	口縁部1/3欠損。灰色。硬質。海綿骨針多量混入。
27-8 12-9 213-PK08	213	須 A 坏	SK840 覆土	12.4 3.7 7.7	体部直線的に立ち上がる。	ロクロ調整。底部回転糸切り後周縁へラ削り整形。	口縁1/8欠損。暗灰色～薄赤褐色。硬質。胎土緻密。
27-9 12-10 278-PK02	278	須 B 埴	SI375 床直	— (5.6) 7.3	体部下半内湾気味な立ち上がり。高台部への字状に広がる。高台部断面形角形。	ロクロ調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	口縁部欠損。淡黄褐色。やや軟質。砂粒微量混入。
27-10 12-11 278-PK03	278	須 B 埴	SI375 覆土	— (6.0) 6.6	体部内湾気味な立ち上がり。高台部への字状に広がる。高台部断面形角形。	ロクロ調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	体部～底部2/3。黄褐色。やや軟質。砂粒微量混入。
27-11 12-12 281-PK01	281	須 B 坏	SD23 覆土	((13.2)) 4.2 6.2	体部内湾気味に立ち上がり、口縁部外反する。	ロクロ調整。底部糸切り後無調整。	遺存度2/3。暗灰褐色。硬質。胎土緻密。
28-1 13-1 281-PK02	281	須 A 坏	SD23 覆土	((12.5)) 3.9 5.2	体部内湾気味に立ち上がり、口縁部外反する。	ロクロ調整。底部糸切り後無調整。	遺存度2/3。灰白色。硬質。砂粒微量混入。
28-2 13-2 281-PK03	281	須 A 坏	SD23 覆土	12.5 3.3 5.8	体部直線的な立ち上がり。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	遺存度1/2。灰色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。煤付着。
28-3 13-3 281-PK04	281	須 A 埴	SD23 覆土	((16.2)) 8.3 7.6	体部内湾気味に立ち上がり、口縁部やや外反する。高台の断面形は角形。	ロクロ調整。底部糸切り後高台貼り付け。	遺存度1/4。硬質。粗砂粒少量混入。
28-4 14-8 303-PK01	303	須 B 坏	SI396 覆土	((11.5)) 3.1 (5.6)	体部内湾気味に立ち上がり、口縁部やや外反する。	ロクロ調整。	遺存度1/4。軟質。胎土緻密。墨書「吉」?
28-5 14-9 303-PK02	303	須 B 坏	SI396 覆土	— (1.9) (7.6)	体部下半直線的に立ち上がる。	ロクロ調整。底部糸切り後無調整。	底部1/3残存。薄褐色。砂粒少量混入。底部墨書「社」?
28-6 14-10 303-PK03	303	須 A 坏	遺構外	— (1.7) 5.4	体部下半やや内湾気味に立ち上がる。	ロクロ調整。底部糸切り後無調整。	底部のみ残存。灰色。硬質。胎土緻密。底部墨書「播」?
28-7 13-4 414-PK01	414	須 A 坏	SD26 覆土	((13.2)) 4.3 5.4	体部内湾気味に立ち上がり、口縁部外反する。	ロクロ調整。底部糸切り後無調整。	遺存度2/3。灰白色。硬質。砂粒微量混入。
28-8 13-5 414-PK02	414	須 A 坏	SD26 覆土	12.4 4.4 4.7	体部直線的な立ち上がり。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	遺存度2/3。灰黄白色～暗褐色。やや硬質。砂粒やや多量混入。
28-9 13-6 414-PK03	414	須 B 坏	SD26 覆土	12.7 4.4 4.5	体部直線的な立ち上がり。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	ほぼ完形。橙褐色。やや硬質。砂粒少量混入。
28-10 13-7 414-PK04	414	須 B 坏	SD26 覆土	12.5 4.2 4.7	体部直線的な立ち上がり。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	体部～口縁部4/5。橙色。硬質。砂粒少量混入。
28-11 13-8 414-PK05	414	須 B 坏	SD26 覆土	11.7 4.5 4.1	体部若干内湾した立ち上がり。体部下半にゆがみあり。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	口縁部1/5欠損。暗橙色～暗褐色。硬質。砂粒微量混入。
28-12 13-9 414-PK06	414	須 B 坏	SD26 覆土	((12.7)) 3.4 (4.2)	体部若干内湾した立ち上がり、口縁部外反する。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	遺存度1/4。暗橙色。硬質。胎土緻密。底部内面煤付着。
28-13 13-10 438-PK01	438	須 A 甕	SF10 P-4	— (6.1) —	頸部外半気味に立ち上がる。	ロクロ調整。	頸部片。暗灰色～明灰色。硬質。砂粒少量混入。内外面降灰釉。
28-14 13-11 438-PK02	438	須 A 甕	SF10 P-5	— (2.0) —	—	体部内外面ナデ調整。	胴部片。明灰色～灰白色。硬質。胎土緻密。体部外面降灰釉。
28-15 — 438-PK03	438	須 A 甕	SF10 P-5	— (2.2) —	—	体部内外面ナデ調整。	胴部片。暗赤灰色～暗灰色。硬質。海綿骨針少量混入。
29-1 13-12 438-PK04	438	須 A 甕	SF10 P-5	— 3.3 (10.8)	高台部への字状に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存度底部1/10。灰白色～灰色。砂粒少量混入。硬質。
29-2 13-13 438-PK05	438	須 A 甕	SF10 P-5	— (2.7) (10.0)	高台部断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存度底部1/6。赤褐色～灰白色。硬質。粗砂粒やや多量混入。外面降灰釉。

図面 図版 遺物番号	調査 回数	種別 器種	出土 位置	口径 器高 底径	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
29-3 - 438-PK06	438	須 A 甕	遺構外	- (10.4) -	-	体部内外面ナデ調整。	胴部片。灰色。硬質。胎土緻密。体部外面降灰釉。
29-4 13-14 213-PL01	213	土師質 高台付 坏	SI330 床直	14.0 6.5 9.4	体部直線的に立ち上がり口縁外反。高台部断面形は丸みを帯びた角形。	ロクロ調整。口縁部肥厚。高台貼り付け。	口縁・高台部一部欠損。暗赤褐色。やや硬質。粗砂粒少量混入。
29-5 13-15 213-PL02	213	土師質 坏	SI330 床直	13.8 4.2 6.0	体部直線的な立ち上がり。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	口縁一部欠損。橙色。やや硬質。雲母微量混入。
29-6 13-16 265-PL03	265	土師質 皿	遺構外	13.0 2.3 6.2	体部外反して立ち上がる。	ロクロ調整。底部回転糸切り後無調整。	口縁部1/4欠損。橙色。やや軟質。胎土緻密。
29-7 14-1 414-PL01	414	土師質 覆土	SD26	- (1.8) ((8.2))	高台部ハの字状に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。	遺存度高台部のみ1/2。薄黄褐色。やや軟質。胎土緻密。
29-8 14-2 414-PL02	414	土師質 高台付 塊	遺構外	((14.2)) 5.3 ((7.6))	体部直線的な立ち上がり。高台部は断面形は三角形。	ロクロ調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	遺存度2/3。橙褐色。やや軟質。
29-9 14-3 210-PN01	210	灰 瓶	SD46 覆土	((10.8)) (3.1) -	頸部直線的な立ち上がり。口縁部強く外反。	ロクロ調整。	遺存度口縁～頸部上半1/7。灰白色。やや硬質。胎土緻密。口縁内面降灰釉。
29-10 14-4 213-PN01	213	灰 高台付 坏	SI330 床直	((13.2)) 4.1 6.6	体部内湾気味に立ち上がり、口縁若干外反。高台部断面形は三日月形。	ロクロ調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	遺存度2/3。灰白色。硬質。胎土緻密。体部内面ハケ塗り。
29-11 14-5 263-PN02	263	灰 皿	遺構外	- (2.2) ((10.0))	高台部の断面形は三日月形。	ロクロ調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	底部～体部下半1/6残存。灰白色。硬質。胎土緻密。体部内面施釉。
29-12 14-6 390-PN01	390	灰 瓶	SD34 覆土	((11.0)) (2.1) -	口縁部外反。	ロクロ調整。	口縁部1/6残存。灰白色。硬質。胎土緻密。内外面施釉。
29-13 213-PP01	213	緑釉 皿	遺構外	- (1.0) -	-	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存度1/10。灰白色。釉調淡黄緑色。内外面施釉。底部内面印刻文様あり。
29-14 14-7 303-PP01	303	緑釉 皿	SI391	- (1.6) 7.4	高台部の断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存度底部のみ。暗灰色。釉調濃緑色。内外面施釉。硬質。

鏡瓦一覧

図面 図版 遺物番号	調査 回数	出土 位置	直径	内区				外区					全長	備考	
				中房径 形態	蓮子数	弁区径 弁幅	弁数 形態	幅	内縁		外縁				
									幅	文様	幅	高			文様
30-1 - 19-KA01	19	SD27 覆土	(7.7)	7.2 A1	-	(4.7) 3.3	(1) SC	1.8	-	-	-	-	a	(8.4)	技法B-II。黄灰白色～暗褐色。やや軟質。砂粒少量混入。瓦当側面ヘラナデ。瓦当裏面ナデ。
30-2 15-1 19-KA04	19	遺構外	(6.4)	-	-	(3.7) 2.8	(1) SC	2.1	0.7	a	1.4	(0.7)	-	(4.4)	灰白色～黄灰白色。軟質。海綿骨針微量混入。瓦当側面・瓦当裏面ヘラ削り。
30-3 15-2 117-KA01	117	遺構外	(6.7)	(2.8) B1	-	(3.3) (1.7)	(2) SB	-	-	-	-	-	-	(1.8)	黄褐色。軟質。粗砂粒少量混入。瓦当裏面ナデ。
30-4 15-3 213-KA01	213	SI335 覆土	(10.7)	(3.5) B1	(4)	(7.7) (3.0)	(2) SC	2.9	0.6	a	1.8	0.9	a	(2.6)	明灰色。硬質。胎土緻密。瓦当裏面ナデ。
30-5 - 263-KA01	263	遺構外	(9.0)	(2.4) B1	(1)	(5.9) 3.7	(1) SC	2.8	1.0	a	1.7	(1.0)	a	(8.6)	灰色～暗黄褐色。砂粒少量混入。瓦当裏面ナデ。
30-6 - 263-KA03	263	遺構外	(7.6)	(4.3) B1	(2)	(7.6) (3.7)	(1) SC	-	-	-	-	-	-	(2.1)	灰赤褐色。硬質。胎土緻密。瓦当裏面ナデ。
31-1 - 278-KA01	278	SD188 覆土	(5.2) B1	(3)	(9.5) (3.9)	(2) SC	2.9	0.9	a	1.9	1.0	a	(2.3)	灰色～薄赤褐色。硬質。胎土緻密。瓦当裏面ナデ。	
30-7 15-5 281-KA01	281	SD23 覆土	20.2	6.1 A1	-	15.8 3.7	8 SC	2.7	0.8	a	1.8	0.5	a	(3.6)	技法C-I。硬質。粗砂粒・海綿骨針少量混入。瓦当外縁・側面ヘラ削り。蓮弁と間弁が接する。
30-8 15-6 281-KA02	281	SD72 覆土	19.7	6.0 A1	1+5	15.5 3.8	8 SC	2.3	0.8	a	1.4	1.7	a	(3.5)	技法C-I。硬質。海綿骨針や多量混入。瓦当外縁・側面ヘラ削り。蓮弁と間弁が接する。
31-2 15-7 281-KA03	281	SD72 覆土	(17.5)	(7.2) A1	-	(17.0) 4.0	(6) SC	-	-	-	-	-	-	(9.9)	技法B-II。硬質。砂粒微量混入。瓦当側面ヘラ削り。瓦当裏面ナデ。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	直径	内区				外区					全長	備考	
				中房径 形態	蓮子数	弁区径 弁幅	弁数 形態	幅	内縁		外縁				
									幅	文様	幅	高			文様
31-3 15-4 281-KA04	281	SD72 覆土	(9.8)	(1.5) -	(1)	(4.6) (3.1)	(3) SC	-	-	-	-	-	(2.2)	暗褐色～黄灰白色。やや軟質。海綿骨針少量混入。	
31-5 15-8 281-KA05	281	遺構外	(10.2)	(1.2) A1	-	(8.7) 6.9	(4) T	1.3	-	-	-	1.1	a	(2.3)	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。瓦当外縁・側面へラ削り。瓦当裏面ナデ。
31-4 15-9 281-KA06	281	遺構外	(8.9)	- -	-	(6.8) 3.1	(2) SC?	1.9	0.4	a	1.5	-	-	(4.6)	灰色～暗赤褐色。やや硬質。海綿骨針やや多量混入。瓦当側面へラ削り。
31-7 - 281-KA07	281	遺構外	(7.9)	- -	-	(4.1) (3.9)	(1) SC	((2.1))	((0.8))	-	((1.3))	-	-	(7.8)	黄灰白色。軟質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。瓦当側面・裏面へラ削り。
31-6 - 281-KA08	281	遺構外	(4.4)	- -	-	(3.7)	(1) SB	-	-	-	-	-	-	(1.8)	灰色。硬質。砂粒やや多量混入。瓦当裏面へラ削り。
31-8 - 303-KA01	303	SI391 覆土	(8.0)	- -	-	(5.3) (3.1)	(1) SA	-	-	-	-	-	-	(2.9)	灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当裏面縄叩き痕あり。
32-1 16-1 303-KA02	303	SD23 覆土	(16.5)	7.1 A1	-	(14.6) 3.4	(7) SC	2.1	0.2	a	1.5	(0.7)	-	(7.8)	技法B-II。暗褐色～黄灰白色。やや軟質。海綿骨針微量混入。瓦当側面へラ削り。裏面ナ
32-2 - 303-KA03	303	SD23 覆土	(6.6)	- -	-	(3.8) (3.8)	(1) SC	(2.8)	1.0	a	(1.8)	-	-	(2.4)	暗褐色～灰色。砂粒少量混入。
32-3 - 303-KA04	303	SD23 覆土	(5.4)	- -	-	(4.5) 3.5	(2) SC	-	-	-	-	-	-	(2.4)	明灰色。硬質。砂粒やや多く混入。
32-4 - 303-KA05	303	SD23 覆土	(5.0)	- -	-	(2.4) (2.8)	(1) SC	3.0	1.0	a	2.0	1.0	a	(5.0)	灰色。硬質。胎土緻密。瓦当面降灰釉。
32-5 16-2 303-KA06	303	遺構外	(9.3)	(1.8) B1	(3)?	(7.7) 3.3	(3) SA	0.9	-	-	-	0.7	a	(2.3)	暗赤褐色～暗灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当裏面縄叩き後ナデ。
32-6 - 303-KA10	303	遺構外	(11.3)	(2.5) B1	(1)	(11.3) (3.9)	(2) SC	-	-	-	-	-	-	(2.1)	灰色。硬質。砂粒やや多量混入。瓦当裏面縄叩き痕あり。
32-7 - 303-KA11	303	遺構外	(6.1)	- -	-	(3.7) (3.1)	(1) SC	1.8	-	-	-	1.3	a	(3.3)	暗褐色～橙色。軟質。砂粒少量混入。瓦当外縁・側面へラ削り。
32-8 - 303-KA12	303	遺構外	(6.8)	(1.0) B1	-	(6.2) 2.8	(1) SA	-	-	-	-	-	-	(2.0)	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。瓦当裏面へラ削り。
32-9 16-3 303-KA13	303	遺構外	(15.6)	5.9 B1	1+(3)	12.9 2.6	(3) SA	1.8	-	-	-	1.3	a	(3.9)	灰色。硬質。砂粒少量混入。瓦当外縁・側面・裏面縄叩き痕あり。
32-10 16-4 303-KA15	303	遺構外	(7.9)	- -	-	(5.1) 2.4	(3) SC	2.3	0.8	a	1.5	0.6	a	(2.8)	暗灰色～暗赤褐色。やや硬質。粗砂粒少量混入。
33-1 - 303-KA16	303	遺構外	(6.3)	- -	-	(3.2) 3.8	(1) SC	1.8	0.6	a	1.2	(1.1)	-	(2.8)	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。瓦当側面・裏面へラ削り。
33-2 - 303-KA17	303	遺構外	(6.5)	- -	-	(3.2) 3.6	(1) SC	2.4	0.8	a	1.9	1.4	a	(2.9)	黄灰白色。軟質。粗砂粒やや多量混入。瓦当側面・裏面へラ削り。
33-3 - 303-KA19	303	遺構外	(3.4)	- -	-	(2.2) (2.9)	(1) SB	-	-	-	-	-	-	(1.9)	灰色。硬質。粗砂粒少量混入。
33-4 16-5 414-KA01	414	SK1546 覆土	(11.4)	(4.8) B1	1+(2)	(9.1) 4.6	(2) SC	2.0	0.7	a	1.3	1.1	a	(2.8)	灰色～暗赤褐色。硬質。砂粒少量混入。瓦当側面へラ削り。瓦当裏面指頭痕あり。

宇瓦一覧

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	上・下 弦弧幅 弧深	厚さ	内区		外区				脇区		文様 深さ	全長	備考
					厚さ	文様	上		下		幅	文様			
							厚さ	文様	厚さ	文様					
33-5 17-1 19-KB01	19	SD27 覆土	(6.6) (7.0) (0.8)	6.4	3.5	HK	1.5	a	1.4	a	1.4	a	0.4	(7.0)	技法D。頸の形態C1-c?頸面縦位縄叩き(L11本)。灰黄白色。やや軟質。砂粒少量混入。
33-7 17-2 19-KB02	19	SK130 覆土	(12.9) (13.5) (2.8)	3.7	2.5	HK	0.6	a	0.6	a	1.3	a	0.1	(24.0)	技法D。頸の形態B2-a。額面横位縄叩き。灰色。硬質。胎土緻密。布目27×28

図面 図版 遺物番号	調査 回数	出土 位置	上・下 弦弧幅 弧深	厚さ	内区		外区				脇区		文様 深さ	全長	備考
					厚さ	文様	上		下		幅	文様			
							厚さ	文様	厚さ	文様					
33-6 19-KB03	19	SX1 覆土	(4.8)	(3.6)	(2.4)	KK	-	-	1.0	a	-	-	0.2	(7.1)	顎面・女瓦凸面斜格子叩き。灰色～暗灰色。硬質。砂粒少量混入。
34-1 19-KB04	19	遺構外	(6.6) (10.0) (1.0)	(2.8)	(1.8)	KK	1.0	a	-	-	(1.7)	a	0.4	(10.0)	技法B。顎の形態C1-a。顎面・女瓦凸面縦位縄叩き(L7本)。灰黄白色。やや軟質。粗砂粒少量混入。
34-2 19-KB06	19	遺構外	(5.6)	(3.1)	(1.5)	KK	-	-	1.4	b	-	-	0.3	(4.3)	技法D?顎面ヘラ削り。灰黄白色。硬質。砂粒少量混入。
34-3 17-3 213-KB01	213	SI330 カマド	(14.6) (14.8) (3.0)	5.8	3.5	HK	1.0	a	1.3	a	1.2	a	0.3	(11.2)	技法D。顎の形態C1-c。顎面縦位縄叩き(L10本)。灰黄白色。やや軟質。粗砂粒やや多量混入。
34-4 213-KB02	213	SI335 覆土	(8.5) (11.8) (1.5)	6.3	3.0	KK	1.5	a	1.6	a	(3.0)	-	0.2	(8.5)	技法D。顎の形態B2-a。顎面・瓦当裏面ヘラ削り。灰色。やや硬質。胎土緻密。布目23×24
34-6 263-KB01	263	遺構外	(5.4) (5.8) (0.5)	4.5	2.9	KK	-	-	1.2	a	-	-	0.3	(10.2)	技法D。顎の形態B1-a。顎面・女瓦部縦位縄叩き(L9本)。暗灰色。硬質。砂粒少量混入。布目23×28。
34-5 17-5 281-KB01	281	遺構外	(4.7) (4.0)	(3.1)	-	3G	-	-	-	-	-	-	0.5	(7.5)	技法D。顎の形態B1-a。灰色。硬質。砂粒少量混入。
34-7 303-KB01	303	SI392 覆土	(10.2) (12.0) (1.0)	5.0	3.1	HK	0.8	a	0.8	a	0.6	a	0.5	(10.7)	技法B?顎の形態B2-a。顎面ヘラ削り。やや軟質。黄褐色～薄赤褐色。砂粒少量混入。布目23×20。
34-8 17-4 303-KB02	303	SI396 覆土	(6.5) (7.7) (1.4)	5.1	3.6	HK	0.9	a	0.6	a	1.2	a	0.5	(8.4)	技法D。顎の形態B2-a。灰色。硬質。砂粒やや多量混入。
34-9 17-6 303-KB03	303	SD23 覆土	(15.1) (15.1) (4.0)	(4.6)	(4.6)	HK	-	a	-	-	(0.8)	a	0.3	(11.3)	技法B?女瓦凹面ヘラ削り。灰色。硬質。海綿骨針やや多量混入。
34-10 303-KB04	303	SD23 覆土	- - -	(3.3)	(3.3)	KK	-	-	-	-	-	-	0.3	(15.2)	硬質。灰白色。粗砂粒少量混入。
35-1 16-6 303-KB05	303	SX58 覆土	(23.5) (28.0) (4.5)	5.7	4.4	HK	0.5	a	0.6	a	1.0	a	0.1	36.5	技法B?顎の形態C1-a。灰色～灰白色。硬質。砂粒少量混入。女瓦部凹面ヘラ書文字「都」あり。
35-2 17-7 303-KB06	303	遺構外	(10.3) (11.3) (1.2)	(4.6)	2.8	KK	(0.9)	b	1.0	b	2.0	a	-	(8.0)	技法B。顎の形態C1-a。黄灰白色。やや軟質。粗砂粒少量混入。女瓦部縦位縄叩き(L7本)。
35-3 303-KB07	303	遺構外	(11.3) (2.2)	(2.1)	(1.1)	HK	0.4	a	-	-	-	-	0.4	(7.9)	技法D?硬質。暗灰色～灰色。粗砂粒多量混入。
35-4 303-KB08	303	遺構外	(8.6)	(3.3)	(1.6)	HK	-	-	1.4	a	-	-	0.5	(4.5)	技法D?顎の形態B3-a?顎面縦位縄叩き(R11本)。硬質。暗灰色。粗砂粒やや多量混入。布目23×25。
35-5 17-8 303-KB09	303	遺構外	(9.7) (10.8) (2.5)	6.7	3.5	HK	1.6	a	1.5	a	2.5	a	0.6	(21.5)	技法D。顎の形態B3-b。顎面・女瓦部縦位縄叩き(R10本)。硬質。暗灰色～暗赤褐色。粗砂粒やや多量混入。布目29×30。
33-6 303-KB10	303	遺構外	(9.5) (0.5)	(2.9)	(2.0)	HK	0.6	a	-	-	-	-	0.4	(10.8)	技法D?明黄褐色～薄暗褐色。軟質。胎土緻密。布目25×25。
35-7 303-KB11	303	遺構外	(3.8) (5.8)	5.7	3.3	KK	1.7	-	1.2	-	1.0	-	0.3	(5.6)	技法B?顎の形態B2。灰白色。硬質。砂粒多量混入。
36-1 303-KB12	303	遺構外	(10.7) (11.0) (1.5)	5.1	3.8	HK	0.8	a	0.7	a	0.9	a	0.4	(10.8)	技法B?顎の形態B2-a。顎面・女瓦ヘラ削り。硬質。灰色。砂粒・海綿骨針少量混入。
36-2 17-9 303-KB13	303	遺構外	(19.6) (18.5) (1.7)	5.1	2.9	KK	0.9	a	0.9	a	1.0	a	0.4	(8.1)	技法D。顎の形態B3-a。顎面ヘラ削り。硬質。暗灰色。自然軸付着。粗砂粒・海綿骨針少量混入。布目23×25。
36-3 303-KB14	303	遺構外	(3.8) (5.8)	5.7	3.3	KK	1.7	-	1.2	-	1.0	-	0.3	(5.6)	技法B?顎の形態B2。灰白色。硬質。砂粒多量混入。
36-4 303-KB15	303	遺構外	(7.4) (8.0) (1.0)	5.0	4.0	HK	0.5	a	0.5	a	0.5	a	0.4	(12.7)	技法C。顎の形態C1-a。顎面・女瓦凸面縦位後ヘラ削り。硬質。灰色～灰白色。自然軸付着。砂粒・海綿骨針少量混入。布目25×30。
36-5 303-KB16	303	遺構外	(14.7) (15.2) (2.3)	4.6	3.4	HK	0.7	a	(0.7)	-	-	-	0.3	(15.4)	技法D?顎の形態B2-a。顎面・瓦当裏面ナデ調整。女瓦部斜格子叩き。硬質。暗灰色～暗黄褐色。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。布目24×25。
36-6 17-10 303-KB17	303	遺構外	(9.2) (14.5) (2.6)	6.2	3.8	HK	0.8	a	1.6	a	-	a	0.3	(15.5)	技法D。顎の形態B2-a。顎面・女瓦接合面ヘラ削り。女瓦部縦位縄叩き(L6本)。硬質。明灰色。砂粒少量混入。

図面 図版 遺物番号	調査 回数	出土 位置	上・下 弦弧幅 弧深	厚さ	内区		外区				脇区		文様 深さ	全長	備考
					厚さ	文様	上		下		幅	文様			
							厚さ	文様	厚さ	文様					
36-7 17-11 303-KB18	303	遺構外	(8.5) (12.0) (1.2)	(4.0)	3.3	HK	0.6	a	-	a	-	-	0.4	(14.4)	技法D。顎の形態B2-a。額面へラ削り。女瓦部斜格子叩き。硬質。明灰色。粗砂粒少量混入。
36-8 - 303-KB19	303	遺構外	- (6.3) -	5.2	-	KK	-	-	1.1	d	-	d	0.3	(7.8)	技法D?顎の形態B2-a?額面斜位縄叩き(L11本)。灰色。硬質。砂粒少量混入。
36-9 - 303-KB20	303	遺構外	- (6.9) -	(3.5)	(2.7)	KK	-	-	0.8	a	-	-	0.2	(5.9)	技法D。顎の形態B-a。額面・瓦当裏面へラ削り。灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。
36-10 - 317-KB01	317	SD12 覆土	(8.0) (9.1) (2.0)	5.2	3.0	KK	1.0	a	1.0	a	1.2	a	0.2	(10.8)	技法D。顎の形態B2-a。額面横位縄叩き、女瓦部縦位縄叩き(L10本)。灰色。硬質。砂粒少量混入。布目21×16。
36-11 - 374-KB01	374	遺構外	(8.6) (8.4) (2.5)	(4.0)	(3.2)	KK	0.8	a	-	-	3.9	a	0.2	(12.7)	技法D。顎の形態B2-a?額側端面・瓦当裏面へラ削り。女瓦部縦位縄叩き(L7本)。灰色。硬質。粗砂粒多量混入。布目28×27。

男瓦一覧

図面 図版 遺物番号	調査 回数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考	
					凹面			凸面		端面		
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴		
46-1 - 19-KC01	19	SB38 据え方	- (13.5)	1.4	-	23×22	-	-	-	押印「埴」 (逆字)。	-	黄褐色。やや軟質。海綿骨針多量混入。凸面押印文字「埴」(逆字)あり。
- - 19-KC03	19	SD27 覆土	(10.5) (20.0)	1.2	粘土板?	24×22	不明朱墨書	-	-	-	-	灰色～灰黄色。硬質。胎土緻密。凹面不明朱墨書あり。
- - 19-KC06	19	SD27 覆土	(4.1) - (19.7)	1.1	粘土紐	23×16	狭・側端縁へラ削り。不明朱墨書。	-	狭・側端面へラ削り。	狭・側端面一面へラ削り。	-	技法I2-A1。黄灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面不明朱墨書あり。
37-1 - 19-KC10	19	SD27 覆土	11.4 23.5 37.0	1.7	粘土紐	23×23	広・側端縁へラ削り及びび面取り。	-	縄叩き後へラナデ。側端面へラ削り。	側端面一面へラ削り	-	技法I3-A1。灰色～灰白色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面に指書文字「十一」?あり。
- - 19-KC13	19	SK130 覆土	- (10.5)	1.3	粘土紐?	20×23	不明朱墨書。	-	-	-	-	灰黄白色。やや軟質。海綿骨針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
37-2 - 19-KC15	19	SK130 覆土	(6.0) - (27.3)	1.3	粘土紐	23×22	へラ書「埴」?不明朱墨書。狭・側端縁へラ削り及びび面取り。	-	縄叩き後へラナデ。狭・側端面へラ削り。	側端面一面へラ削り	-	技法I3-A1。灰色～黄灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面にへラ書「埴」?。不明朱墨書あり。
- - 19-KC16	19	SK131 覆土	(9.9) (12.2)	1.3	-	23×20	不明朱墨書	-	狭・側端面へラ削り及びび面取り。	狭・側端面一面へラ削り	-	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凹面不明朱墨書あり。
46-2 18-5 19-KC17	19	SK131 覆土	- (14.4)	1.9	-	21×20	-	へラ削り。	押印「中」。	-	-	灰色～灰黄白色。やや軟質。砂粒微量混入。凸面押印文字「中」あり。
51-5 - 19-KC18	19	SK131 覆土	- (7.3)	1.6	-	18×18	-	-	不明へラ書「口大」?	-	-	灰黄白色。やや軟質。砂粒少量混入。凸面不明へラ書文字「口大」?あり。
51-6 21-2 19-KC19	19	SK131 覆土	- (10.0)	1.6	-	24×20	へラ書「苳」。	へラ削り。	-	-	-	灰白色。やや軟質。胎土緻密。凹面へラ書文字「苳」あり。
51-7 - 19-KC20	19	SK131 覆土	(8.7) (15.2)	1.0	-	28×19	-	-	縄叩き後へラ削り。	側端面一面へラ削り	-	黄褐色。軟質。粗砂粒微量混入。凸面にへラ書文字「十」あり。
46-3 19-10 19-KC21	19	SK131 覆土	(7.8) -	1.8	-	24×20	側端縁へラ削り及びび面取り。	-	押印「企」	側端面一面へラ削り	-	灰色～灰白色。やや硬質。海綿骨針多量混入。凸面押印文字「企」あり。
51-8 - 19-KC22	19	SK131 覆土	- (12.0)	1.7	-	18×16	へラ書文字「大」。	-	縄叩き後へラ削り。	-	-	灰色～灰黄色。やや硬質。砂粒少量混入。凹面へラ書文字「大」あり。
51-10 - 19-KC23	19	SK131 覆土	- (8.0)	1.7	-	20×22	側端縁へラ削り。	-	側端縁へラ削り。へラ書「三」。	側端面一面へラ削り	-	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凸面へラ書文字「三」あり。
51-9 - 19-KC34	19	遺構外	- (5.6)	1.2	-	23×22	へラ書「久」?	-	-	-	-	灰白色。やや軟質。粗砂粒少量混入。凹面へラ書文字「久」?あり。
46-4 - 19-KC36	19	遺構外	- (7.9)	1.5	-	17×19	-	-	不明押印。	-	-	灰色。やや硬質。海綿骨針やや多量混入。凸面不明押印あり。
46-5 18-8 19-KC38	19	遺構外	- (9.1)	1.3	-	24×18	-	-	押印「那」。	-	-	灰色～灰白色。やや硬質。海綿骨針多量混入。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴					備考	
					凹面			凸面			端面
					素材	布目	特徴	叩き	特徴		特徴
46-6 19-KC40	19	遺構外	(5.2) — (7.3)	1.7	—	21×20	—	—	全面ヘラ削り。	押印「中」	灰白色。やや軟質。海綿骨針多量混入。狭端面押印文字「中」あり。
46-7 19-KC41	19	遺構外	(8.3) — (12.2)	1.7	—	21×27	狭端縁ヘラ削り。	—	狭端縁ヘラ削り。押印「播」?	狭端面一面ヘラ削り	黄灰白色。やや軟質。海綿骨針やや多量混入。凸面押印文字「播」?
47-10 117-KC01	117	遺構外	— — (5.2)	1.9	—	((12×15))	—	—	不明押印。	—	明黄褐色。軟質。粗砂粒少量混入。凸面不明押印あり。
51-14 117-KC02	117	遺構外	— — (10.3)	1.9	—	18×21	—	—	ヘラ書「高」。	—	灰黄白色。やや軟質。胎土緻密。凸面ヘラ書文字「高」あり。
38-2 117-KC03	117	遺構外	— — (10.3)	1.5	粘土板?	17×21	朱墨書「寺」?	—	—	—	技法I3-B?暗黄灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面朱墨書「寺」?あり。
51-12 117-KC04	117	遺構外	— — (17.0) (28.0)	1.6	粘土紐	23×23	広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	—	全面ヘラ削り。	広・側端面一面ヘラ削り	技法I3-A1。灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。凹面にヘラ書「子」あり。
47-12 19-3 117-KC05	117	遺構外	— — (12.7)	1.4	粘土紐	17×23	側端縁ヘラ削り及びび面取り。広端縁ヘラ削り。	—	押印「男」	側端面一面ヘラ削り	技法A1。黄褐色～暗褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針多量混入。凸面押印文字「男」あり。
47-11 19-8 278-KC01	278	遺構外	— — (10.0)	1.3	—	24×18	—	—	押印「児玉」	—	灰色～暗灰色。硬質。粗砂粒やや多く含む。凸面押印文字「児玉」あり。
48-2 303-KC02	303	SI391 覆土	— — (4.0)	1.5	—	27×31	—	—	押印「榛」。	—	灰色～暗灰色。硬質。海綿骨針やや多量混入。押印文字「榛」あり。
48-3 18-14 303-KC03	303	SI392 覆土	— — (8.6) (7.1)	2.3	粘土紐	16×18	側端縁一面ヘラ削り及びび面取り。	—	—	押印「父互」	灰色。やや硬質。粗砂粒・海綿骨針少量混入。
48-4 19-1 303-KC04	303	SD23 覆土	— — (16.9)	1.6	粘土紐	28×32	側端縁一面ヘラ削り及びび面取り。	ヘラナデ。	側端縁ヘラ削り。押印「豊」。	側端面一面ヘラ削り	薄黄褐色～暗褐色。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凸面押印文字「豊」あり。
48-5 18-11 303-KC05	303	SD23 覆土	(6.2) — (7.9)	2.0	—	27×30	狭・側端縁ヘラ削り。	ヘラナデ。	狭端縁ヘラ削り。押印「埼」。	狭・側端面一面ヘラ削り	灰黄白色。やや軟質。砂粒・海綿骨針少量混入。凸面押印文字「埼」あり。
38-1 303-KC06	303	SD23 覆土	10.6 19.0 38.9	1.5	粘土紐	23×17	狭・広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	—	広・側端縁ヘラ削り。	狭・広・側端面一面ヘラ削り	技法I3-A1。黄褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針少量混入。凸面ヘラ書文字「大山」あり。
52-3 303-KC07	303	SD23 覆土	— — (8.0) (20.2)	1.5	粘土紐	16×19	広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	—	広・側端縁ヘラ削り。	広・側端面一面ヘラ削り	技法I2-A1。灰白色～黄褐色。やや軟質。砂粒微量混入。凸面ヘラ書文字「都」あり。
52-4 303-KC08	303	SD23 覆土	— — (12.2)	1.3	—	21×20	側端縁一面ヘラ削り及びび面取り。	—	側端縁一面ヘラ削り及びび面取り。	側端面一面ヘラ削り	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凸面ヘラ書文字「大口」あり。
48-6 18-1 303-KC09	303	SD23 覆土	— — (7.7)	1.6	—	28×31	—	—	押印「榛」。	—	灰色。やや硬質。粗砂粒・海綿骨針少量混入。
48-7 18-2 303-KC10	303	SD23 覆土	— — (13.4)	1.5	粘土紐?	27×30	—	—	押印「榛」。	側端面一面ヘラ削り	灰色。硬質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。
52-5 21-3 303-KC11	303	SX58 覆土	(4.2) (16.6) 40.2	2.3	粘土紐	30×30	広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	ヘラ削り	広・側端縁ヘラ削り。	広・側端面一面ヘラ削り	技法I3-A1。灰色。硬質。胎土緻密。凸面ヘラ書文字「都」あり。
39-1 18-15 303-KC12	303	SK1128	9.8 21.0 37.4	1.7	粘土紐	19×19	側端縁ヘラ削り及びび面取り。	—	押印「父」。	広・側端面一面ヘラ削り	技法I3-A1。灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凸面押印文字「父」あり。
52-6 303-KC13	303	遺構外	— — (11.7)	1.4	—	29×26	ヘラ書「久」。	—	全面ヘラ削り。	—	灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「久」あり。
53-1 303-KC14	303	遺構外	— — (8.6)	1.4	粘土紐	28×24	—	—	全面ヘラ削り。ヘラ書「立」?	—	灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凸面ヘラ書文字「立」?あり。
38-3 303-KC15	303	遺構外	8.4 — (24.1)	1.5	粘土板?	24×27	側端縁ヘラ削り及びび面取り。	—	縄叩き後ヘラ削り。	狭・側端面一面ヘラ削り	技法I3-B?赤褐色～淡暗褐色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凹面朱墨書「寺」あり。
48-9 303-KC16	303	遺構外	— — (5.4)	1.7	—	24×26	—	—	押印「埼」?	—	灰白色。やや軟質。海綿骨針多量混入。凸面押印「埼」?あり。
52-7 303-KC18	303	遺構外	— — (8.5)	1.6	—	29×28	—	—	ヘラ書「豊」。	—	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針多量混入。凸面ヘラ書文字「豊」あり。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	
52-8 - 303-KC19	303	遺構外	(5.8) - (16.2)	1.3	粘土 紐?	21×26	側端縁ヘラ削 り。ヘラ書 「大井」?	-	全面ヘラ削 り。	狭・側端 面一面ヘ ラ削り。	灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面ヘ ラ書文字「大井」?あり。
- - 303-KC21	303	遺構外	- - (8.3)	1.9	-	24×21	不明朱墨書。	-	-	-	灰黄白色。硬質。胎土緻密。凹面不明 朱墨書あり。
52-9 - 303-KC22	303	遺構外	- - (5.5)	1.3	-	20×25	-	-	全面ヘラ削 り。ヘラ書 「日」?	-	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多 量混入。凸面ヘラ書文字「日」?あ り。
50-11 - 303-KC23	303	遺構外	(5.4) - (6.6)	1.8	-	20×23	狭端縁ヘラ削 り。	押型	狭端縁ヘラ削 り及び面取 り。押型文字 「大」。	-	淡茶褐色。やや軟質。海綿骨針やや 多量混入。凸面押型文字「大」あ り。
52-11 - 303-KC27	303	遺構外	- - (10.6)	1.4	-	29×31	-	-	全面ヘラ削 り。不明ヘラ 書「口」。	-	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多 量混入。凸面不明ヘラ書「口」あ り。
53-3 - 303-KC29	303	遺構外	(3.2) - (30.0)	1.5	粘土 板?	21×17	狭・側端縁ヘ ラ削り。不明 ヘラ書「山 口」?	-	全面ヘラ削 り。	側端面一 面ヘラ削 り。	技法I2-A1?灰色。やや硬質。砂粒 少量混入。凹面不明ヘラ書文字「山 口」?あり。
52-10 - 303-KC30	303	遺構外	- - (5.0)	1.8	-	15×15	-	-	全面ヘラ削 り。ヘラ書 「五」?	-	薄暗褐色。やや硬質。砂粒・海綿骨 針やや多量混入。凸面ヘラ書「五」? あり。
48-10 18-6 303-KC35	303	遺構外	(9.8) - (6.7)	1.9	粘土紐	27×25	-	-	-	押印 「中」?	暗褐色～黄褐色。やや軟質。海綿骨 針少量、砂粒多量混入。
- - 303-KC48	303	遺構外	- - (6.2)	1.0	-	21×18	不明朱墨書。	-	-	-	暗灰色。硬質。胎土緻密。凹面不明 朱墨書。
37-4 - 303-KC50	303	遺構外	(10.2) - (11.3)	2.0	-	-	不明朱墨書。	-	-	広端面一 面ヘラ削 り。	明灰色。硬質。砂粒やや多量混入。 凹面不明朱墨書。
53-2 - 303-KC51	303	遺構外	(16.8) - (15.1)	2.0	粘土 紐?	23×30	広・側端縁ヘ ラ削り。	-	広・側端縁ヘ ラ削り。ヘラ 書「入」。	広・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法I2-A1。灰色。硬質。海綿骨針 多量混入。凸面ヘラ書文字「入」あ り。
53-4 - 303-KC54	303	遺構外	- - (7.7)	1.9	-	19×22	-	-	全面ヘラ削 り。不明ヘ ラ書 「口」。	-	灰白色。やや軟質。砂粒微量混入。 凸面不明ヘラ書「口」あり。
50-6 19-2 374-KC01	374	遺構外	- - (8.5)	2.4	-	21×18	-	-	押印「豊」。	-	黄褐色。軟質。胎土緻密。押印文字「 豊」。
37-3 - 414-KC01	414	SD26 覆土	9.9 - (19.2)	1.5	粘土 板?	22×15	側端縁ヘラ削 り。不明朱墨 書。	-	全面降灰 釉。	側端面一 面ヘラ削 り。	技法I3-B。灰色。硬質。胎土緻 密。凹面不明朱墨書。
女瓦一覧											
図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	
39-2 - 19-KD02	19	SD27 覆土	(13.0) - (16.8)	1.8	粘土 板?	39×40	狭・側端面ヘ ラ削り。不明 朱墨書。	縄目 R15本	狭・側端面 ヘラ削り。	狭・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法II1-B。灰色～黄灰色。硬質。 粗砂粒やや多量混入。凹面不明朱墨 書あり。
46-9 18-20 19-KD03	19	SD27 覆土	(8.3) - (24.6)	2.5	粘土紐	22×24	狭・側端縁ヘ ラ削り。押印 「豊」。	縄目 L11本	押型「豊」。	側端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-A1。灰黄白色。やや軟質。 砂粒少量混入。
46-11 18-17 19-KD04	19	SD27 覆土	(7.8) - (13.3)	2.7	粘土紐	18×24	側端縁ヘラ削 り。押印 「苳」。	斜格子	押型文 「苳」。	広端面無 調整。	技法II1-A1。灰黄白色。やや軟質。 粗砂粒やや多量。凸面押型文字「苳」 あり。
39-4 - 19-KD05	19	SD27 覆土	(11.9) - (17.2) 37.3	2.0	粘土板	40×41	広・側端縁ヘ ラ削り。朱墨 書「寺」?	縄目 R13本	側端縁ヘラ 削り。	狭・広・ 側端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B。灰白色。やや軟質。粗 砂粒やや多量混入。凹面朱墨書 「寺」?あり。
46-8 - 19-KD06	19	SD27 覆土	(4.5) - (16.3)	1.8	粘土 板?	18×24	狭端縁ヘラ削 り。押印 「椽」。	縄目 L13本	-	狭端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B?灰色。硬質。粗砂粒・海 綿骨針やや多量混入。凹面押印文字 「椽」あり。
41-4 - 19-KD07	19	SD27 覆土	(6.8) - (21.1)	1.7	粘土紐	29×21	広端縁ヘラ削 り。朱墨書 「寺」?	縄目 L9本	-	広端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-A1。灰黄白色。硬質。胎土 緻密。凹面朱墨書「寺」?あり。不明 ヘラ書あり。
46-10 - 19-KD08	19	SD27 覆土	(16.8) - (20.0)	2.0	粘土板	ナゲ消 し	押印「那」。	縄目 L8本	-	広端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B。灰黄白色。やや軟質。 粗砂粒・海綿骨針少量混入。凹面押 印文字「那」あり。
47-7 19-9 19-KD09	19	SD27 覆土	(5.2) - (23.4)	2.3	粘土板	23×20	狭・側端縁ヘ ラ削り。押印 「都」。	斜格子	-	側端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B。灰色。硬質。粗砂粒や や多量混入。凹面押印文字「都」あ り。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	
40-1 19-KD10	19	SD27 覆土	(12.5) (15.3) 37.7	2.3	粘土板	26×26	狭・広・側端 縁ヘラ削り。 不明朱墨書。	縄目 L9本	—	狭・広・ 側端面一 面ヘラ削	技法II1-B。灰色～灰黄白色。硬 質。胎土緻密。凹面不明朱墨書あ り。
40-4 19-KD11	19	SD27 覆土	(12.9) (14.2) 36.8	1.8	粘土板	40×46	狭・広・側端 縁ヘラ削り。 不明朱墨書。	縄目 L14本	—	狭・広・ 側端面一 面ヘラ削	技法II1-B。灰色～灰黄白色。硬 質。粗砂粒やや多量混入。凹面不明 朱墨書あり。凹面不明模骨あり。
— 19-KD12	19	SD27 覆土	(13.1) — (16.6)	2.0	粘土板	23×19	狭・側端縁ヘ ラ削り。不明 朱墨書。	縄目 L12本	側端縁ヘラ 削り。	狭・広・ 側端面一 面ヘラ削	技法II1-B。灰黄色。硬質。海綿骨 針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
— 19-KD13	19	SD27 覆土	(11.3) — (20.5)	1.8	粘土板	23×18	狭・側端縁ヘ ラ削り。不明 朱墨書。	縄目 L13本	側端縁ヘラ 削り。	狭・広・ 側端面一 面ヘラ削	技法II1-B。灰黄白色。硬質。砂粒 多量混入。凹面不明朱墨書あり。
41-1 19-KD14	19	SD27 覆土	(13.3) — (19.4)	2.1	粘土 紐?	40×44	側端縁ヘラ削 り。不明朱墨 書。	縄 R15本	—	狭・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法II1-A1。明灰色～黄灰色。硬 質。粗砂粒やや多量混入。凹面不明 朱墨書あり。
— 19-KD15	19	SD27 覆土	— — (15.5)	2.1	粘土板	29×20	側端縁ヘラ削 り。不明朱墨 書。	縄目 L12本	側端縁ヘラ 削り。	側端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B。灰黄色。硬質。海綿骨 針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
41-2 19-KD16	19	SD27 覆土	— (14.6) (17.9)	2.1	粘土 板?	26×18	広・側端縁ヘ ラ削り。不明 朱墨書。	縄目 L14本	側端縁ヘラ 削り。	広・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法II1-B?灰黄白色～明灰色。硬 質。砂粒少量混入。凹面不明朱墨書 あり。
47-1 19-15 19-KD17	19	SK130 覆土	— — (7.7)	2.0	—	18×23	不明押印。	斜格子	—	—	灰白色。軟質。胎土緻密。凹面不明 押印あり。
41-3 19-KD18	19	SK130 覆土	— (7.1) (22.7)	1.7	粘土紐	21×19	側端縁ヘラ削 り。朱墨書 「×」?	縄目 L12本	側端縁ヘラ 削り。	広・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法II1-A1。明灰色～黄灰色。硬 質。胎土緻密。凹面朱墨書「×」?あ り。
54-10 19-KD19	19	SK130 覆土	— — (9.5)	2.0	—	22×19	模骨「造塔」。	縄目 L10本	側端縁ヘラ 削り。	側端面一 面ヘラ削 り。	灰白色。軟質。胎土緻密。凹面模骨 文字「造塔」あり。
39-3 19-KD24	19	SK130 覆土	— (14.6) (17.4)	1.8	粘土 板?	21×20	不明朱墨書。	縄目 L13本	—	広・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法II1-B。明灰色～黄灰色。硬 質。砂粒・海綿骨針少量混入。凹面 不明朱墨書あり。
40-2 19-KD25	19	SK130 覆土	— — (11.1)	2.0	粘土 板?	26×20	不明朱墨書。	縄目 L8本	—	側端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B?灰白色。やや軟質。砂粒 微量混入。凹面不明朱墨書、不明ヘ ラ書あり。
46-12 19-KD26	19	SK130 覆土	— (14.0) (26.5)	2.2	粘土 板?	22×21	側端縁ヘラ削 り及び面取 り。押印「橋」	縄目 L9本	—	側端面一 面ヘラ削 り。	技法II1-B?灰色。砂粒多量混入。凹 面押印文字「橋」あり。
41-5 19-KD27	19	SK130 覆土	— (11.9) (21.2)	2.0	粘土板	23×30	広・側端縁ヘ ラ削り及び面 取り。	縄目 L8本	—	広・側端 面一面ヘ ラ削り。	技法II1-B。灰色～黄褐色。やや軟 質。砂粒少量混入。凹面朱墨書 「寺」?あり。
47-2 18-10 19-KD28	19	SK130 覆土	— — (7.7)	2.0	—	18×19	押印「埜」 (逆字)。	縄目 L13本	—	—	暗赤褐色～灰色。やや硬質。砂粒・ 海綿骨針少量混入。凹面押印文字 「埜」(逆字)あり。
51-11 21-4 19-KD30	19	SK130 覆土	— — (14.0)	2.1	—	20×23	—	縄目 L9本	ヘラ書「 本」。	側端面一 面ヘラ削 り。	灰白色。軟質。胎土緻密。凸面ヘラ 書文字「本」あり。
47-3 19-KD31	19	SK131 覆土	— — (5.2)	(2.7)	—	—	押印「在」?	—	—	—	技法I?灰白色。軟質。粗砂粒やや多 量混入。凹面押印文字「在」?あり。
47-4 19-7 19-KD33	19	SX1 覆土	— — (5.1)	2.1	—	—	—	正格子	押印「児 玉」(逆字)	—	暗褐色～黒褐色。やや軟質。海綿骨 針少量、砂粒多量混入。凸面押印「児 玉」(逆字)あり。
47-5 19-KD34	19	SX1 覆土	(7.1) — (4.4)	2.3	—	—	—	縄目 L8本	—	狭端面押 印「中」	灰赤褐色。やや軟質。海綿骨針多量 混入。狭端面押印文字「中」あり。
51-13 19-KD38	19	遺構外	— — (6.3)	1.7	—	18×18	ヘラ書「 在」。	斜格子	—	—	灰色。軟質。粗砂粒やや多量混入。 凹面ヘラ書文字「在」あり。
54-11 19-KD39	19	遺構外	— — (7.4)	2.2	—	20×19	不明模骨。	縄目 L12本	—	—	淡茶褐色。やや軟質。砂粒少量混 入。不明模骨文字あり。
47-8 18-18 19-KD40	19	遺構外	— — (9.6)	1.6	—	ナゲ消 し	押印「在」。	正格子	—	—	灰色。硬質。海綿骨針やや多量混 入。凹面押印文字「在」あり。
47-6 19-6 19-KD41	19	遺構外	— — (5.1)	(1.6)	—	24×21	押印「播」。	—	—	—	灰黄白色。やや軟質。海綿骨針少量 混入。凹面押印文字「播」あり。
— 20-3 19-KD42	19	遺構外	— — (8.8)	1.7	—	17×16	—	押型	押型文字 「父」。	—	灰色。硬質。海綿骨針微量混入。凸 面押型文字「父」あり。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	
40-3 - 19-KD44	19	遺構外	(12.9) - (18.8)	2.3	粘土板?	24×24	狭・側端縁ヘラ削り。不明朱墨書。	縄目 L8本	-	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B?灰色。硬質。胎土緻密。凹面不明朱墨書あり。
50-8 - 19-KD45	19	遺構外	- - (10.8)	2.4	粘土紐?	-	-	-	押印「父」?	-	技法II1-A1?灰色。硬質。砂粒・海綿骨針多量混入。凸面押印文字「父」?あり。
- - 19-KD46	19	遺構外	- - (5.6)	1.9	-	-	-	押型	押型文字「父」。	-	灰白色。やや軟質。海綿骨針少量混入。凸面押型文字「父」あり。
55-1 - 49-KD01	49	SI133 覆土	- - (15.4)	2.2	-	33×32	模骨文字「中」。	縄目 L11本	-	-	明灰色。やや硬質。砂粒微量混入。凹面模骨文字「中」あり。
50-16 20-2 49-KD02	49	SI140 覆土	(11.9) - (15.3)	2.0	-	20×17	側端縁ヘラ削り及び面取り。	押型	押型文字「父」。	側端面一面ヘラ削り。	黄褐色～淡暗褐色。軟質。海綿骨針多量混入。凸面押型文字「父」あり。
47-9 - 117-KD01	117	SK574 覆土	- - (8.9)	2.5	-	20×22	側端縁ヘラ削り。押印「豊」。	縄目 L8本	-	側端面一面ヘラ削り。	暗赤褐色～暗黄灰色。やや硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面押印文字「豊」あり。
47-13 19-5 117-KD02	117	遺構外	- - (14.7) (32.6)	2.9	粘土板	22×22	押印「播瓦」。	縄目 L8本	-	広端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。やや軟質。黄灰白色。海綿骨針・砂粒少量混入。凹面押印文字「播瓦」あり。
48-1 19-11 117-KD03	117	遺構外	- - (9.9)	2.1	粘土紐?	ナデ消し	側端縁ヘラ削り及び面取り。	縄目 L10本	-	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1。灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面押印文字「入瓦」あり。
51-15 22-3 117-KD05	117	遺構外	- - (13.2)	2.8	粘土板?	25×22	側端縁ヘラ削り及び面取り。	斜格子	-	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1?暗赤褐色。やや硬質。胎土緻密。凹面にヘラ書文字「多上」?あり。
- - 210-KD01	210	SD46 覆土	(10.3) - (7.6)	2.4	-	18×18	-	押型	押型文字「在」。	側端面一面ヘラ削り。	灰白色。軟質。粗砂粒少量混入。凸面押型文字「在」あり。
43-3 - 213-KD01	213	SI335 覆土	(13.5) - (23.6)	1.5	粘土板	15×16	模骨文字「上」(逆字)	縄目 L12本	-	狭・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。やや軟質。灰白色。砂粒少量混入。凹面模骨文字「上」(逆字)。不明朱墨書あり。
44-2 21-1 213-KD02	213	SI330 覆土	(15.4) 23.9 34.8	2.5	粘土紐	28×27	狭・広・側端縁ヘラ削り。	縄目 L6本	-	狭・広・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1。薄暗褐色～薄黄褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面にヘラ書文字「父美」。
45-1 - 213-KD03	213	SI335 覆土	(12.2) - (32.0)	2.6	粘土板	30×25	狭・側端縁ヘラ削り。ヘラ書「那」?	縄目 L13本	狭・側端縁ヘラ削り。	狭・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰色。硬質。砂粒やや多量混入。凹面ヘラ書文字「那」?あり。
44-1 - 213-KD04	213	SI330 覆土	25.5 27.5 37.5	2.0	粘土板	21×25	狭・広・側端縁ヘラ削り。模骨「上」。	縄目 L9本	-	狭・広・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。黄褐色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。凹面模骨文字「上」(逆字)。
55-2 - 263-KD04	263	遺構外	- - (8.1)	1.7	粘土板	25×24	狭・広・側端面ヘラ削り。模骨「大」。	縄目 L10本	-	-	薄暗褐色～暗灰色。硬質。やや硬質。凹面模骨文字「大」あり。
50-9 20-7 263-KD05	263	遺構外	- - (9.4)	2.0	-	27×24	側端縁ヘラ削り。	押型	押型文字「都」。	側端面二面ヘラ削り。	灰白色。やや軟質。胎土緻密。凸面押型文字「都」あり。
52-1 - 263-KD06	263	遺構外	- - (11.2)	2.7	粘土板?	19×20	不明ヘラ書「口」。	正格子	-	-	灰色。やや硬質。海綿骨針少量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
- - 263-KD07	263	遺構外	- - (9.2)	2.6	-	19×20	-	押型	押型文字「在」。	-	灰色。硬質。砂粒少量混入。凸面押型文字「在」あり。
42-1 - 281-KD03	281	SD72 覆土	(7.2) - (15.8)	1.8	粘土板	17×17	側端縁ヘラ削り及び面取り。	縄目 L14本	-	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰赤褐色～薄暗褐色。やや硬質。砂粒やや多量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
42-2 17-12 281-KD05	281	SD72 覆土	(8.9) - (15.3)	2.3	粘土紐	20×27	側端縁ヘラ削り及び面取り。	斜格子	狭・側端縁ヘラ削り及び面取り。	狭・側端面一面ヘラ削り。	技法I-A1。赤褐色。軟質。砂粒多量混入。
42-3 - 281-KD06	281	SD72 覆土	(12.9) - (17.3)	2.5	粘土板	22×19	狭・側端縁ヘラ削り。	縄目 L9本	-	狭・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰白色～黄灰白色。やや硬質。海綿骨針微量混入。粗砂粒少量混入。
41-6 - 281-KD07	281	SD72 覆土	- - (13.6)	2.0	粘土板	19×21	側端縁ヘラ削り。	正格子	-	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰色～黄灰色。やや硬質。海綿骨針少量混入。
42-4 - 281-KD08	281	SD72 覆土	(18.0) - (11.3)	2.3	粘土板	16×16	不明ヘラ書「口」。	縄目 L14本	-	狭・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。暗灰色。硬質。粗砂粒少量混入。隅落とし瓦。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
50-10 - 281-KD09	281	遺構外	(6.8) - (6.8)	2.0	-	20×24	側端縁ヘラ削り。	押型	押型文字「在」。	側端面一面ヘラ削り。	灰白色。軟質。砂粒少量混入。凸面押型文字「在」あり。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	
— — 303-KD03	303	SI391 覆土	— (7.9) (14.7)	2.3	粘土板	—	側端縁ヘラ削り及びび面取り。	押型	押型文字「往」。	広・側端面一面ヘラ削り	技法II1-B。灰色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。全面降灰軸。凸面押型文字「往」。
48-8 18-16 303-KD04	303	SI392 覆土	(14.9) — (18.4)	2.4	粘土板?	23×17	狭・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	縄目L8本	—	狭・側端面一面ヘラ削り	技法II1-B。硬質。灰色。砂粒少量混入。凹面押印文字「父」あり。
53-6 21-5 303-KD05	303	SD23 覆土	(21.6) (24.8) 38.6	2.1	粘土紐	26×22	広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	正格子	—	広・側端面一面ヘラ削り	技法II1-A1。灰色。やや軟質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面ヘラ書文字「棧」あり。
49-1 — 303-KD06	303	SD23 覆土	27.2 (28.5) 36.9	2.2	粘土板?	20×18	狭・広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	縄目L10本	—	狭・広・側端面一面ヘラ削り	技法II1-B? 灰黄白色。やや硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面押印文字「棧」あり。
49-2 18-13 303-KD07	303	SD23 覆土	— 26.6 (19.4)	2.6	粘土板?	ヘラナデ。	側端縁ヘラ削り。押印「前」。	縄目L10本	—	広・側端面一面ヘラ削り	技法II1-B? 暗灰色。硬質。砂粒微量混入。凹面押印文字「前」あり。
53-5 — 303-KD08	303	SD23 覆土	— — (14.8)	2.1	粘土板	32×32	不明ヘラ書文字「口」。	縄目L13本	—	—	灰色～赤褐色。硬質。粗砂粒多量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
— — 303-KD09	303	SD23 覆土	— — (6.6)	2.1	—	—	指ナデあり。	押型	押型文字「往」。	—	暗灰色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。全面降灰軸。凸面押型文字「往」あり。
— — 303-KD10	303	SD23 覆土	(7.3) — (11.1)	1.4	—	29×31	側端縁ヘラ削り及びび面取り。	押型	押型文字「往」。	狭・側端面一面ヘラ削り	暗灰色～暗褐色。硬質。粗砂粒多量混入。凸面降灰軸。押型文字「往」あり。
49-3 18-9 303-KD11	303	SD23 覆土	(18.5) (17.6)	3.2	粘土板?	21×24	広・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	正格子	—	広端面一面ヘラ削り	技法II1-B。灰色。硬質。砂粒少量混入。広端面押印文字「那」あり。
— — 303-KD12	303	SD23 覆土	(16.9) — (14.6)	2.6	粘土紐	—	狭・側端縁ヘラ削り及びび面取り。	押型	押型文字「往」。	側端面一面ヘラ削り	技法I? -A1。暗灰色～淡黒褐色。硬質。粗砂粒やや多量混入。全面降灰軸。凸面押型文字「往」あり。
54-1 22-2 303-KD13	303	SD23 覆土	(16.8) — (26.2)	2.6	粘土紐	21×20	狭・側端縁ヘラ削り。	縄目L11本	側端縁一面ヘラ削り。ヘラ書「高」。	狭・側端面一面ヘラ削り	技法II1-A1。灰色。硬質。砂粒少量混入。凸面ヘラ書文字「高」あり。
53-7 22-4 303-KD14	303	SD23 覆土	(6.4) — (12.0)	2.8	粘土紐	19×22	狭端縁ヘラ削り。ヘラ書「多下」。	斜格子	—	—	技法II1-A1。灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「多下」あり。
48-11 18-3 303-KD15	303	SX58 覆土	— — (10.0)	2.0	—	ナデ消し。	押印「棧」。	縄目L10本	—	—	暗灰色。硬質。砂粒微量混入。凹面押印文字「棧」あり。
48-12 — 303-KD16	303	遺構外	— — (9.0)	2.0	—	ナデ消し。	押印「中」。	—	—	—	技法I? 黄褐色～淡赤褐色。砂粒少量混入。凹面押印文字「中」あり。
53-8 — 303-KD17	303	遺構外	— — (5.6)	2.0	—	29×28	不明ヘラ書「口」	縄目L10本	—	—	灰色～黄褐色。硬質。砂粒少量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
50-12 20-6 303-KD21	303	遺構外	— — (4.7)	1.7	—	—	押型文字「大井」。	—	—	—	灰色。硬質。海綿骨針多量混入。凹面押型文字「大井」あり。
54-4 — 303-KD26	303	遺構外	— — (7.3)	2.1	—	21×21	ヘラ書「父」	—	—	—	黄灰白色。やや軟質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「父」あり。
49-4 18-7 303-KD30	303	遺構外	(10.9) — (8.8)	2.7	—	18×18	狭端縁ヘラ削り。	縄目L10本	—	狭端面一面ヘラ削り	暗灰色～暗赤褐色。硬質。砂粒・海綿骨針多量混入。狭端面に押印文字「中」あり。
49-5 — 303-KD31	303	遺構外	— — (6.7)	2.1	—	19×23	押印「男」。	正格子	—	—	暗灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。全面降灰軸。押印文字「男」あり。
54-2 — 303-KD32	303	遺構外	— — (6.8)	2.0	—	17×18	ヘラ書「父」。	縄目L9本	—	—	灰白色。やや軟質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「父」あり。
50-1 18-4 303-KD34	303	遺構外	— — (15.4)	2.6	粘土板?	19×22	側端縁ヘラ削り及びび面取り。	正格子	—	側端面一面ヘラ削り	技法II1-B。淡赤灰色。硬質。粗砂粒多量混入。凹面押印文字「
— — 303-KD35	303	遺構外	(10.6) — (12.7)	3.4	粘土紐	21×20	側端縁ヘラ削り及びび面取り。	押型	押型文字「往」。	狭・側端面一面ヘラ削り	技法II1-A1。灰白色。やや軟質。胎土緻密。凸面押型文字「往」あり。
55-4 — 303-KD36	303	遺構外	— — (15.4)	2.8	粘土板	15×18	模骨「上」。不明朱墨書。	縄目L11本	—	—	技法II1-B。灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凹面模骨文字「上」、不明朱墨書あり。
55-6 — 303-KD37	303	遺構外	— — (12.0)	1.9	粘土板	24×25	側端縁ヘラ削り。模骨「上」(逆字)。	縄目L8本	—	—	技法II1-B。灰色。硬質。胎土緻密。凹面模骨文字「上」(逆字)あり。

図版 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴	
50-4 19-12 303-KD38	303	遺構外	— (20.1)	2.4	粘土紐	ナデ消し	側端縁ヘラ削り。押印「高」。	縄目 L8本	—	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。暗褐色～黄灰色。やや軟質。粗砂粒少量混入。凹面押印文字「高」あり。
50-13 20-5 303-KD39	303	遺構外	— (14.0)	2.7	粘土板?	18×23	側端縁ヘラ削り及び二面面取り。	押型	押型文字「往」。	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰色。硬質。胎土緻密。凸面押型文字「往」あり。
— — 303-KD40	303	遺構外	— (11.3) (14.5)	2.7	粘土板	20×24	—	押型	押型文字「往」。	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰色。硬質。胎土緻密。凸面押型文字「往」あり。
— — 303-KD41	303	遺構外	— (5.5)	2.8	—	((21×24))	—	押型	押型文字「往」。	—	灰色。硬質。砂粒やや多量混入。凸面押型文字「往」あり。
54-3 22-1 303-KD42	303	遺構外	— (6.3) — 15.7	2.9	—	32×31	ヘラ書「刀良」。	縄目 L9本	—	狭端面一面ヘラ削り。	赤褐色黄。軟質。粗砂粒多量。凹面にヘラ書文字「刀良」あり。
48-13 19-4 303-KD43	303	遺構外	— (12.9)	2.8	粘土紐?	18×23	側端縁ヘラ削り及び面取り。	縄目 L11本	—	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1? 灰色～灰赤白色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面押印文字「男」あり。
43-1 18-12 303-KD44	303	遺構外	— (17.4)	2.6	粘土紐?	18×24	押印「堵」。	縄目 L9本	—	側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1? 暗褐色～薄黄褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針多量混入。凹面押印文字「堵」あり。
54-5 — 303-KD45	303	遺構外	— (7.6)	2.0	—	15×21	側端縁ヘラ削り及び面取り。	縄目 L10本	—	側端面一面ヘラ削り。	明灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面ヘラ書文字「王」?あり。
50-2 — 303-KD49	303	遺構外	— (4.2)	2.5	—	—	押印「嶋」	—	—	—	黄褐色。軟質。砂粒少量混入。凹面押印文字「嶋」あり。
50-7 19-13 303-KD50	303	遺構外	— (16.0) — (17.7)	2.9	粘土紐?	18×20	押印「多」。	斜格子	—	狭・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1? 暗褐色～薄黄褐色。やや軟質。砂粒多量混入。凹面押印文字「多」あり。
55-8 — 303-KD51	303	遺構外	— (7.0) — (11.5)	1.6	粘土板?	30×31	模骨文字「七」。	縄目 L10本	狭端縁ヘラ削り。	狭端面一面ヘラ削り。	技法II1-B? 黄灰白色。やや軟質。胎土緻密。模骨文字「七」あり。
50-14 20-1 303-KD52	303	遺構外	— (9.8)	2.0	—	20×14	—	押型	押型文字「父」。	—	黄褐色。軟質。砂粒少量混入。凸面押型文字「父」あり。
55-7 — 303-KD53	303	遺構外	— (7.2)	2.0	—	26×18	模骨文字「上」(逆字)。	縄目 L10本	—	—	灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面「上」(逆字)あり。
50-15 20-8 303-KD55	303	遺構外	— (12.5)	2.9	粘土板?	((21×24))	—	押型	押型文字「入瓦」。	—	技法II1-B。灰色～灰白色。軟質。海綿骨針多量混入。凸面押型文字「入瓦」あり。
50-3 19-14 303-KD56	303	遺構外	— (12.9)	2.8	—	19×23	押印「加瓦」。	縄目 L8本	—	—	黄褐色～暗褐色。やや軟質。海綿骨針多量混入。凹面押印文字「加瓦」あり。
42-5 — 303-KD58	303	遺構外	— (7.5)	2.3	粘土板?	21×23	不明朱墨書。	縄目 L11本	—	—	技法II1-B? 灰白色。硬質。砂粒やや多量、海綿骨針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
55-5 — 303-KD60	303	遺構外	— (7.1) (11.8)	2.3	—	25×30	模骨文字「七」。	縄目 L10本	—	狭端面一面ヘラ削り。	明灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面「七」あり。
54-6 — 303-KD63	303	遺構外	— (7.0)	1.8	—	18×22	不明ヘラ書「口」。	縄目 L10本	—	—	灰白色。やや軟質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「口」あり。
55-9 — 303-KD65	303	遺構外	— (10.5)	1.6	—	15×14	模骨「山万」不明朱墨書。	縄目 L12本	—	—	暗灰色～薄茶褐色。硬質。砂粒やや多量混入。凹面模骨文字「山万」、不明朱墨書あり。
43-2 — 303-KD71	303	遺構外	— (9.9) — (26.8)	2.1	粘土板	27×26	模骨文字「王」、不明朱墨書。	縄目 L11本	—	広・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-B。灰色～灰黄白色。硬質。砂粒やや多量混入。凹面模骨文字「王」、不明朱墨書あり。
51-1 — 303-KD72	303	遺構外	— (7.3)	2.0	—	18×19	—	押型	押型文字「都」。	—	灰白色。軟質。胎土緻密。凸面押型文字「都」あり。
55-3 — 303-KD74	303	遺構外	— (8.0)	1.6	—	20×20	模骨文字「上」(逆字)。	縄目 L9本	—	—	灰色。硬質。砂粒微量混入。凹面模骨文字「上」(逆字)あり。
54-7 — 303-KD75	303	遺構外	— (9.9)	1.9	—	23×22	ヘラ書文字「珂」?	縄目 L10本	—	—	灰白色。やや硬質。粗砂粒やや多量混入。凹面ヘラ書文字「珂」?あり。
51-2 20-4 303-KD80	303	遺構外	— (9.6) (14.3)	2.1	粘土紐?	15×18	広・側端面ヘラ削り及び面取り。	押型	押型文字「往」。	広・側端面一面ヘラ削り。	技法II1-A1? 灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凸面押型文字「往」あり。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴					備考	
					凹面			凸面			端面
					素材	布目	特徴	叩き	特徴		特徴
— — 303-KD85	303	遺構外	(8.2) — (6.8)	2.6	—	—	狭端縁ヘラ削り。	押型	押型文字「住」。	狭端面一面ヘラ削り。	暗灰色。硬質。砂粒やや多量混入。凸面押型文字「住」あり。
— — 303-KD88	303	遺構外	— — (14.3)	2.3	粘土紐?	22×24	側端面ヘラ削り及び面取り。	押型	押型文字「住」。	側端面一面ヘラ削り。	技法Ⅱ1-A1? 灰白色。軟質。粗砂粒少量混入。凸面押型文字「住」あり。
50-5 18-19 303-KD91	303	遺構外	— — (11.7)	1.8	粘土板?	18×20	押印「住」。	正格子	—	—	灰色。やや硬質。海綿骨針やや多量混入。凹面押印文字「住」あり。
51-3 20-9 303-KD93	303	遺構外	— — (6.4)	(0.7)	—	—	—	—	押型文字「鮎」(逆字)。	—	灰白色。軟質。胎土緻密。凸面押型文字「鮎」の逆字あり。
54-8 — 303-KD94	303	SI392 覆土	— — (4.3)	(2.5)	粘土板?	24×24	不明ヘラ書「口」。	正格子	—	側端面一面ヘラ削り。	技法Ⅱ1-B。灰色～灰黄色。硬質。粗砂粒・海綿骨針多量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
45-3 — 414-KD01	414	SD26 覆土	(13.0) — (22.6)	2.1	粘土板	28×24	不明朱墨書。	縄目 L10本	—	広・側端面一面ヘラ削り。	技法Ⅱ1-B。黄灰白色。硬質。粗砂粒微量混入。凹面不明朱墨書あり。
54-9 — 414-KD02	414	SD26 覆土	— — (12.5)	2.1	粘土板	19×20	不明ヘラ書「口」。	縄目 L11本	—	—	技法Ⅱ1-B。黄褐色～暗褐色。粗砂粒・海綿骨針微量混入。凸面不明ヘラ書文字「口」あり。
51-4 — 427-KD01	427	SF1 覆土	— — (6.2)	2.1	—	25×22	—	押型	押型文字「大井」。	側端面一面ヘラ削り。	暗褐色～暗赤褐色。粗砂粒多量、海綿骨針少量混入。凸面押型文字「大井」あり。

灰斗瓦一覧

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭端 広端 全長	厚さ	成・整形の特徴					備考	
					凹面			凸面			端面
					素材	布目	特徴	叩き	特徴		特徴
45-4 — 278-KE01	278	SD188 覆土	(11.5) — (18.4)	3.0	粘土板	18×17	狭・側端縁ヘラ削り及び面取り。	正格子	—	側端面一面ヘラ削り。	黄褐色～黄灰白色。やや軟質。海綿骨針やや多量混入。
45-2 — 303-KE01	303	遺構外	6.7 — (14.0)	1.6	粘土板	22×20	側端縁ヘラ削り及び面取り。	—	全面ヘラ削り。	狭・側端面一面ヘラ削り。	灰白色。粗砂粒・雲母多量混入。やや軟質。凹面ヘラ書文字「久」あり。

鬼瓦一覧

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	寸法	備考
45-5 17-13 117-KG01	117	遺構外	最大長 (10.9) 最大幅 (10.5) 最大厚 (4.3)	灰黄白色～明灰色。硬質。粗砂粒少量混入。

埴一覧

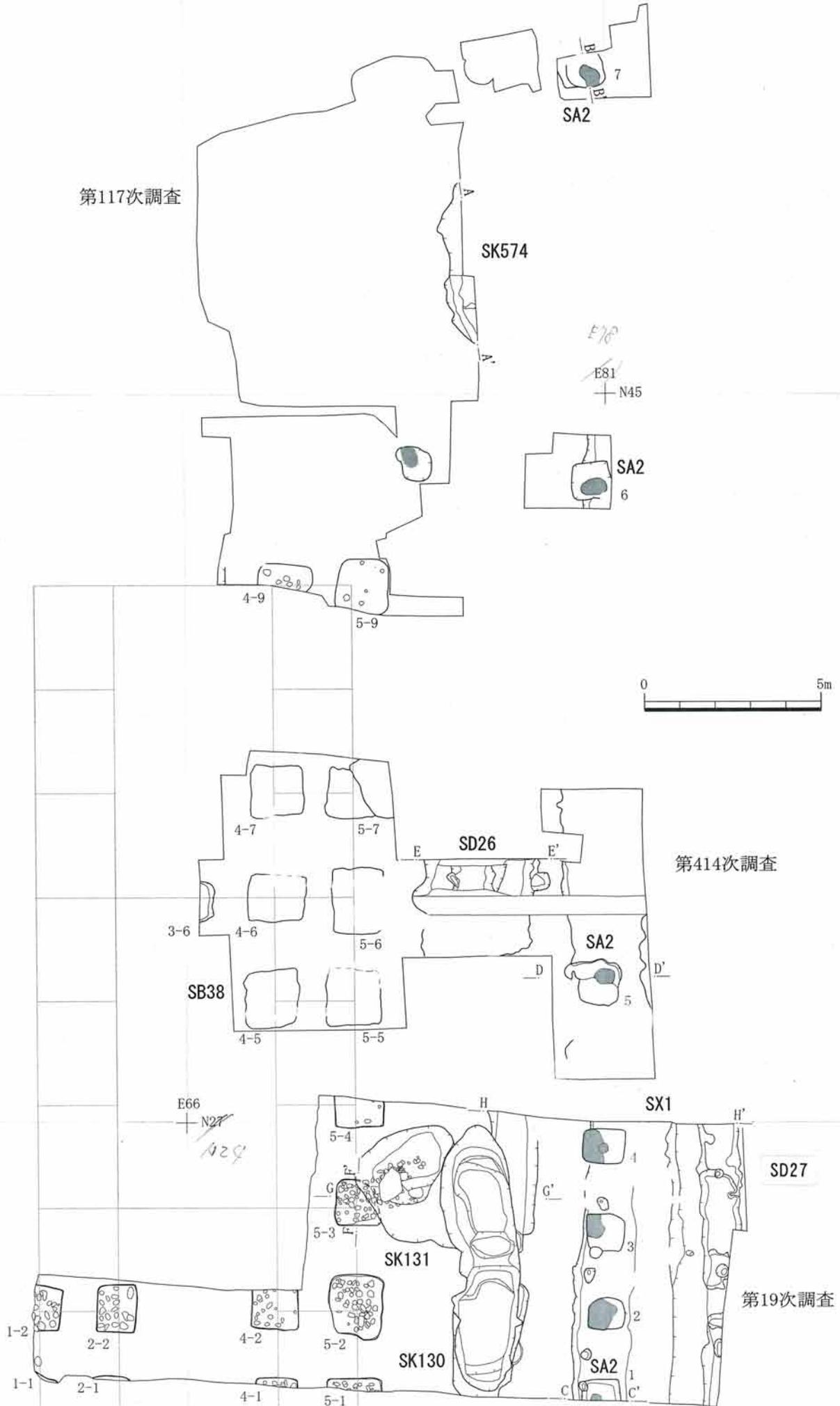
図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	素材	成・整形の特徴			備考
				上 面	下 面	側 面	
52-2 — 281-KH01	281	遺構外	粘土板	ヘラ削り。 長辺(10.6) 短辺(9.7)	—	ヘラ削り。ヘラ 書「前」?	灰色～暗灰色。硬質。海綿骨針多量混入。側面ヘラ書文字「前」?あり。

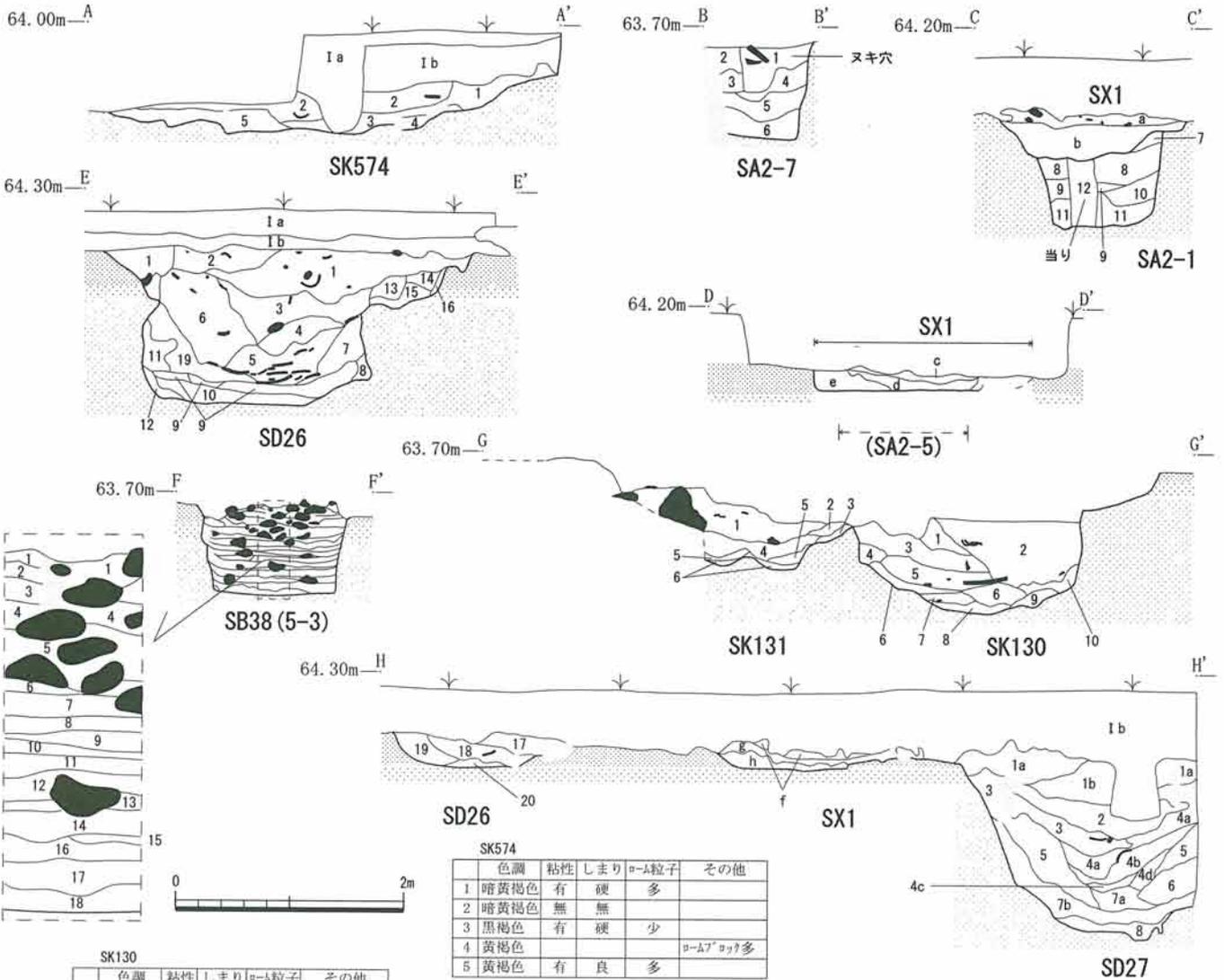
石製品一覧

図面 図版 遺物番号	調査 次数	種別	出土 位置	寸法	備考
56-10 22-5 303-GN01	303	石帯	SI392 覆土	最大長2.4 最大幅3.4 最大厚0.6	—

圖 面

図面 1 第 19・117・414 次調査 遺構配置図





SK130

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1 暗茶褐色			少	炭化物少
2 褐色	無		多	
3 黒褐色	無	無	多	
4 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック中
5 暗茶褐色	無		多	炭化物少
6 黒褐色			多	炭化物少
7 茶褐色			多	IIIb層7' ロック
8 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック多
9 暗横褐色	無		多	ロ-ム7' ロック多
10 暗褐色	有	良	やや多	ロ-ム7' ロック少

SK131

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1 暗茶褐色	無		少	炭化物少
2 暗茶褐色	有		少	
3 黒褐色	有		多	
4 暗横褐色		有	多	
5 暗茶褐色	無	無	多	
6 黄褐色	無		多	ロ-ム7' ロック多

SD27

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1a 茶褐色	無	良		
1b 茶褐色	無	良		
2 黄色	無	良		ロ-ム7' ロック多
3 黄褐色	無			ロ-ム7' ロック中
4a 黒褐色	有		中	
4b 黒褐色	有		多	
4c 黒褐色	有		多	
4d 黒褐色	有		多	
5 灰褐色	有		多	粘土含
6 黒褐色	有		多	
7a 褐色	有		少	ロ-ム7' ロック少
7b 横黒褐色	有	良	多	ロ-ム7' ロック少
8 黄色				ロ-ム7' ロック多

SK574

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1 暗黄褐色	有	硬	多	
2 暗黄褐色	無	無		
3 黒褐色	有	硬	少	
4 黄褐色				ロ-ム7' ロック多
5 黄褐色	有	良	多	

SA2

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1 黒色			中	粘土
2 黒褐色		やや有	多	粘土
3 黒褐色		やや有	多	粘土
4 黒褐色		やや有	多	粘土
5 黒褐色		硬	多	粘土
6 黒褐色		硬	多	粘土
7 黒褐色		硬	多	ロ-ム7' ロック少
8 黄褐色	無	有	多	ロ-ム7' ロック少
9 褐色	無	有	少	ロ-ム7' ロック少
10 黄褐色	無	有	少	ロ-ム7' ロック少
11 黄色	無	硬	多	ロ-ム7' ロック多
12 褐色	無	無		

SB38

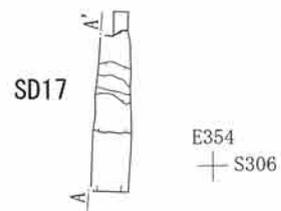
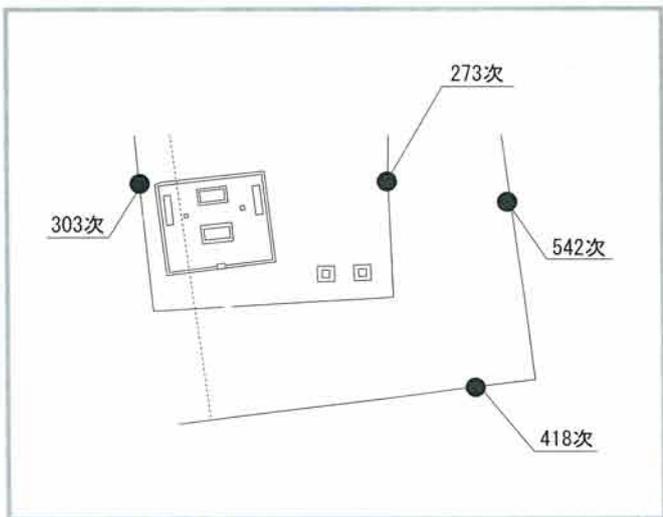
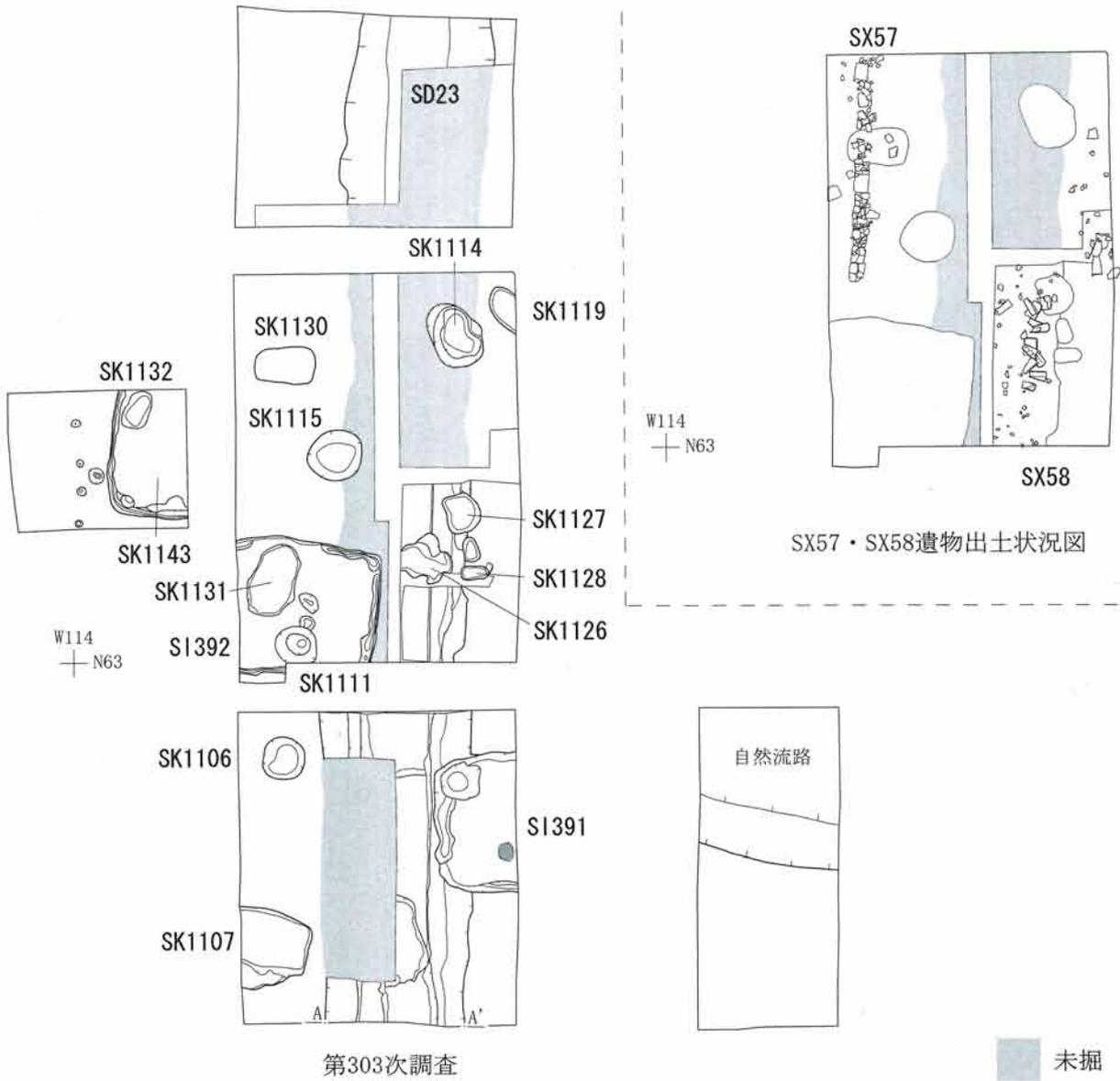
色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1 黒褐色			少	
2 黄褐色			中	
3 黄褐色			中	
4 茶褐色			中	
5 黒色			中	
6 茶褐色			中	
7 黄褐色			中	
8 黒褐色			少	
9 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック少
10 黒褐色			やや多	
11 黒褐色			少	
12 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック少
13 黒色			少	
14 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック少
15 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック中
16 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック多
17 黒褐色			多	ロ-ム7' ロック少
18 黄褐色			多	ロ-ム7' ロック多

SD26

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1 褐色	有		多	
2 明褐色	有		多	
3 褐色	無		多	黒スロ
4 褐色			多	ロ-ム7' ロック少
5 明褐色		やや無	多	ロ-ム7' ロック多
6 明褐色	有	良	多	ロ-ム7' ロック少
7 明褐色	有		多	粘土粒子
8 黒褐色			多	粘土粒子
9 暗黄褐色	有	やや良	中	ロ-ム7' ロック多
9' 暗黄褐色	有	やや良	多	ロ-ム7' ロック多
10 暗黄褐色		良	多	粘土粒子
11 暗黄褐色		やや無	多	
12 暗黄褐色			多	ロ-ム7' ロック多
13 褐色			多	ロ-ム7' ロック多
14 黒褐色	有	良	多	粘土粒子
15 暗褐色	有	良	多	黒スロ
16 黄褐色		良	多	黒スロ
17 黒褐色	無		多	
18 暗茶褐色		良	多	炭化物少
19 黒褐色		良	少	炭化物少
20 暗茶褐色		良		III層

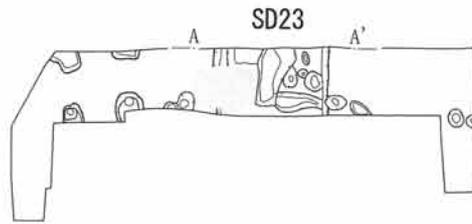
SX1

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
a 灰褐色	無	良	中	
b 茶褐色	無	良	多	
c 明褐色	無		少	
d 明褐色	有	硬	多	
e 明褐色	有	やや無	少	
f 黒褐色		やや無	多	
g 黒褐色		硬	多	
h 暗黄褐色		硬	少	



第418次調査

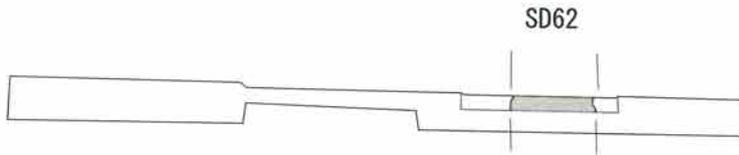




E258
+ N18



第273次調査



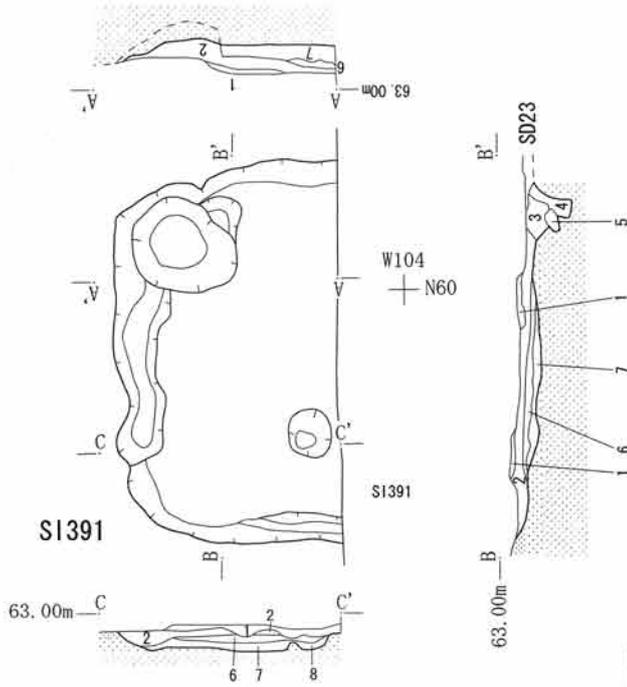
E432
+ S33



第542次調査

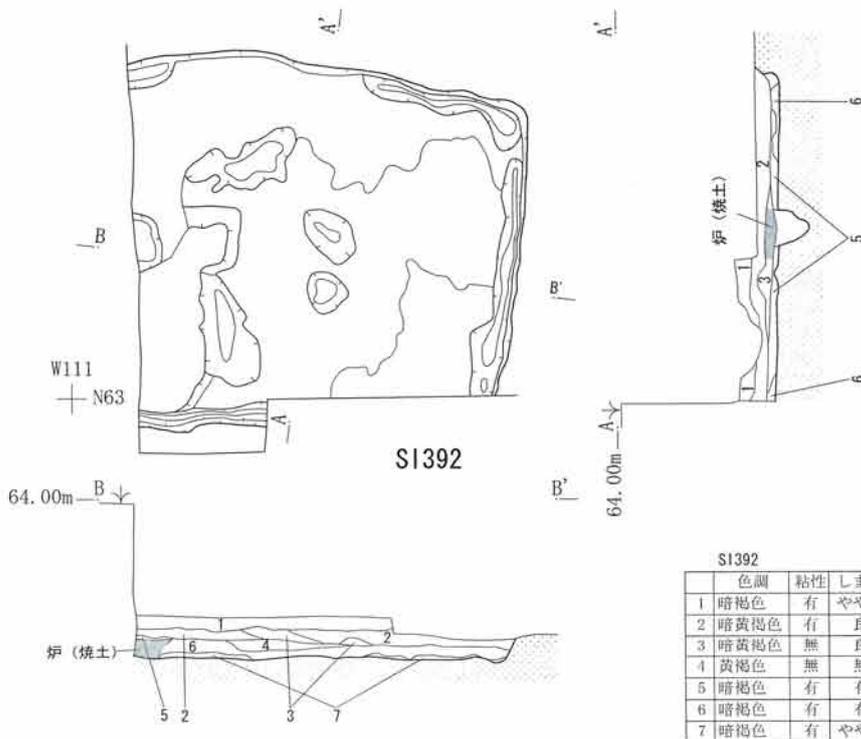
■ 未掘





S1391

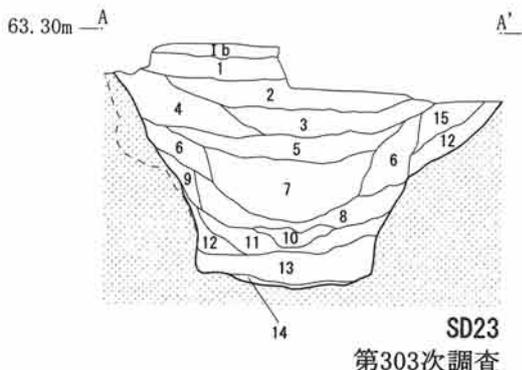
	色調	粘性	しまり	α-L粒子	スコヤ	その他
1	橙褐色		良			焼土
2	黒褐色		良			焼土粒
3	黒褐色	有	やや良		少	
4	暗黄褐色	有	やや良		少	
5	暗褐色	有	やや良			
6	黄暗褐色	有	やや良			焼土粒多
7	暗褐色	有	良			焼土粒少
8	暗黄褐色	有	やや良			焼土粒多



S1392

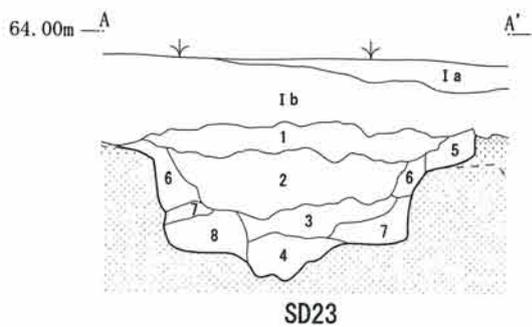
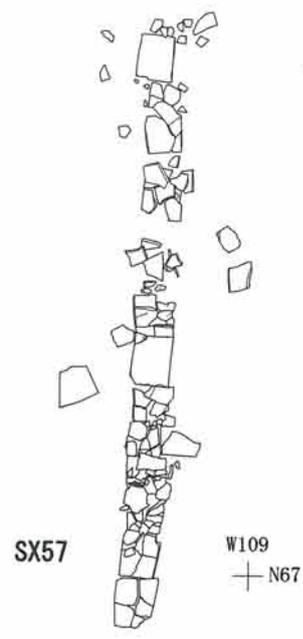
	色調	粘性	しまり	α-L粒子	その他
1	暗褐色	有	やや良		焼土粒・炭化物少
2	暗黄褐色	有	良		焼土・炭化物多
3	暗黄褐色	無	良		焼土・炭化物多
4	黄褐色	無	無		
5	暗褐色	有	有		
6	暗褐色	有	有		
7	暗褐色	有	やや良		





SD23
第303次調査

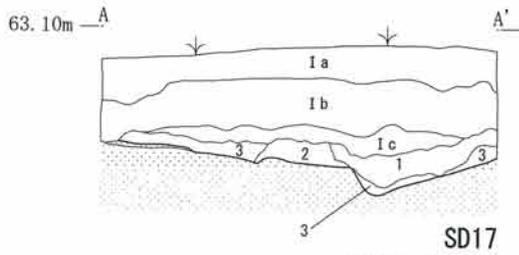
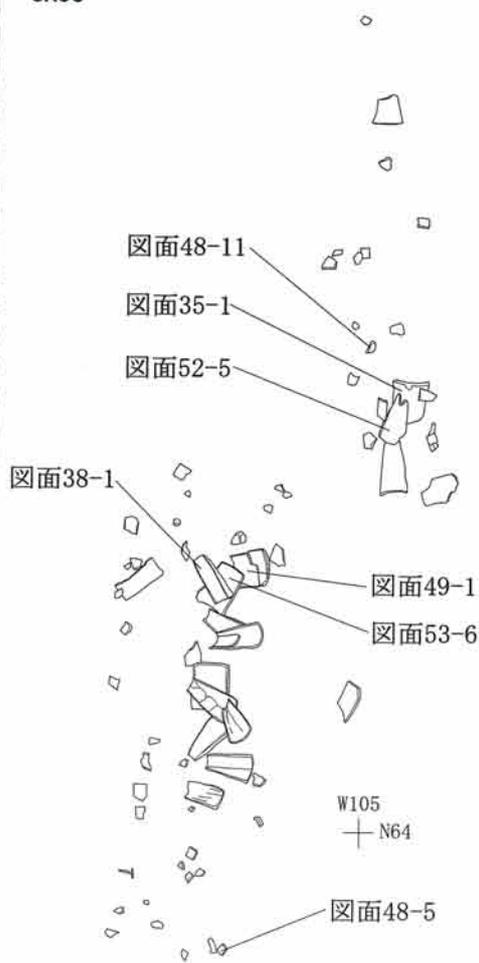
SD23						
	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1	暗褐色	有	やや良		多	
2	黒褐色	有	やや良	多	多	
3	黒褐色	有	やや良	多	多	炭化物
4	褐色	有	やや良		少	
5	黒色	有	良			
6	灰褐色	有	やや良			酸化鉄粒子少
7	灰褐色	有	良			酸化鉄粒子少
8	黒褐色	有	良	多		酸化鉄粒子少
9	黒褐色	有	良		少	酸化鉄粒子少
10	暗赤褐色	有	やや良	多		
11	黄暗褐色	有	良			ローム? ロック多
12	暗褐色	有	良	多		酸化鉄粒子多
13	黒色	有	やや良	少		
14	黄橙色	有	良			ローム? ロック多
15	黒褐色	有	やや良	少	少	



SD23
第273次調査

第273次調査 SD23						
	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1	暗褐色	有	やや良	微	微	
2	暗褐色	有	やや良	少	少	
3	黒褐色	有	良	やや多	多	
4	黒黄褐色	有	良	多		ローム? ロック多
5	茶褐色	有	やや良			ローム? ロック多
6	暗茶褐色	無	やや無	少		IIIb? ロック
7	茶黒褐色	有	やや良	多		IIIb? ロック
8	黒黄褐色	有	やや良	多		IIIb? ロック

SX58

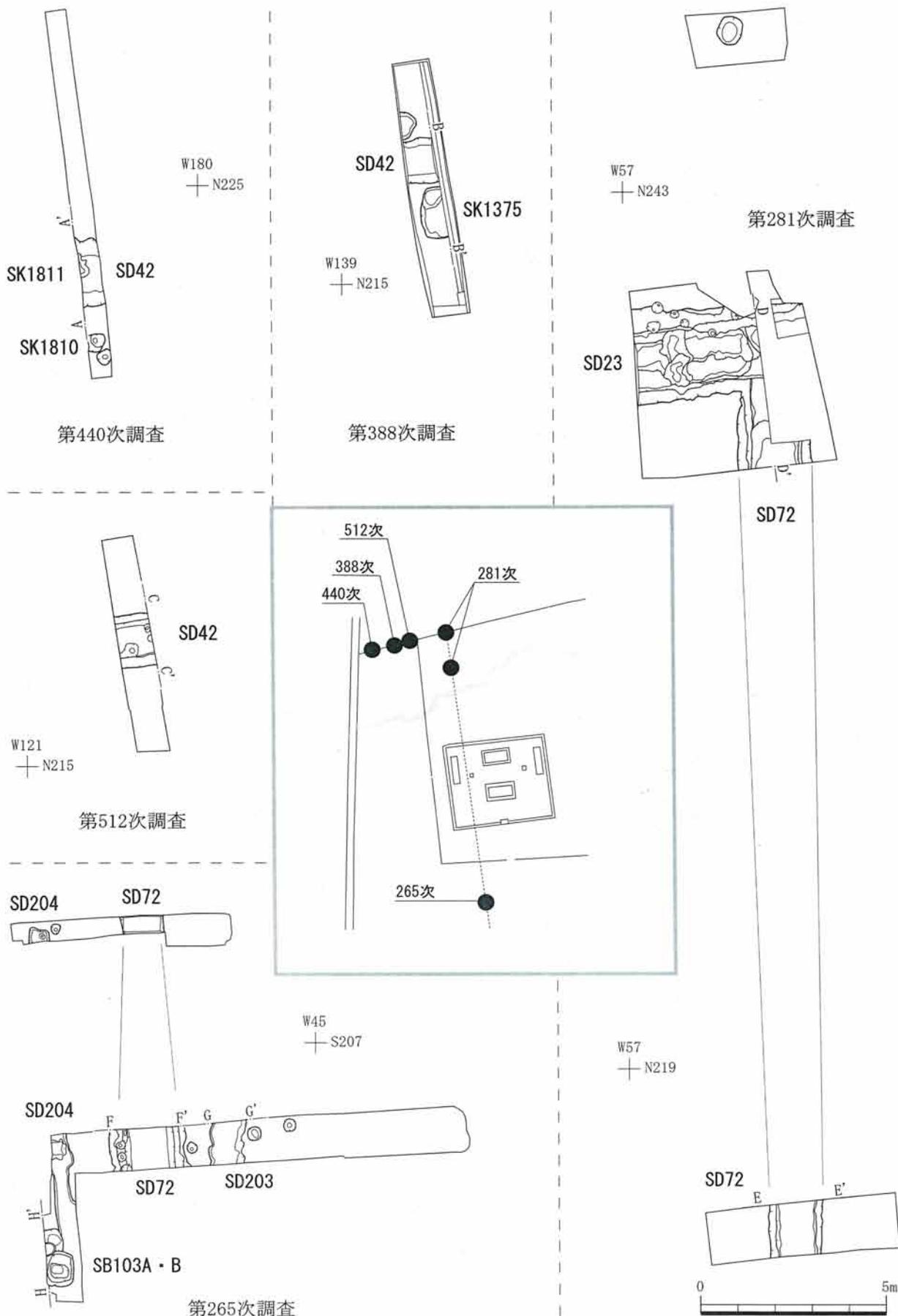


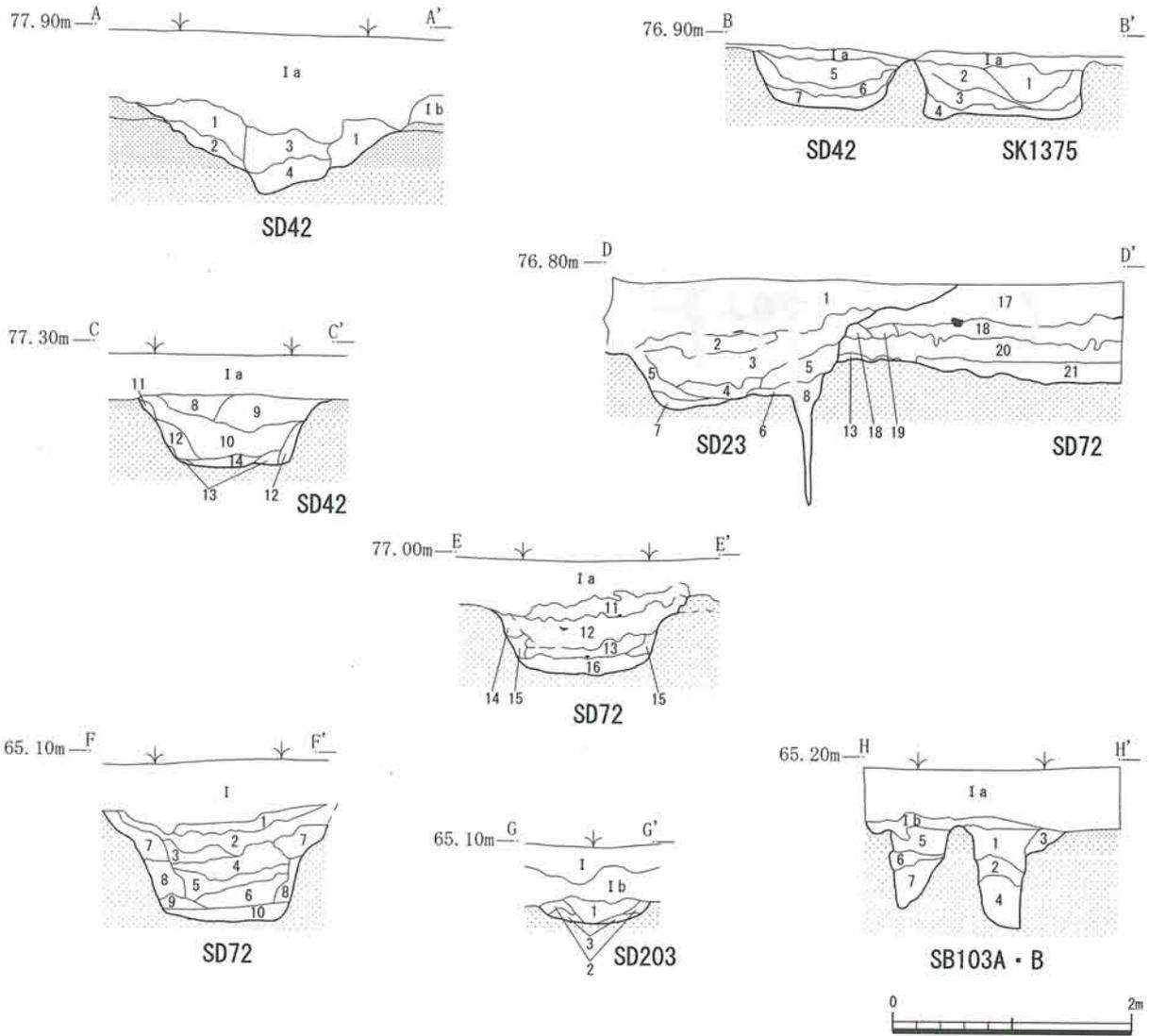
SD17
第418次調査

SD17						
	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1	暗褐色	有	やや無			
2	暗褐色	有	良			
3	茶褐色	有	やや良			



図面 7 第 265・281・388・440・512 次調査 遺構配置図





SD42

層	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1	黒褐色	無	やや良	少	
2	黒褐色	有	良		
3	暗茶褐色	有	良		
4	暗茶褐色	有	やや良	多	ロ-ム7' ロック少
5	黒褐色		やや良	少	
6	黒褐色	有	やや良	少	
7	黄褐色				ロ-ム7' ロック多
8	黒色	無	やや良	少	
9	黒色	無	やや良	多	赤スリ7' 多
10	黒色	無	やや良	やや多	赤スリ7' 多
11	暗茶褐色				IIIb層7' ロック
12	暗黄色	無	無		ロ-ム土多
13	暗黄褐色				IIIc層7' ロック
14	暗黄色	無	無		ロ-ム7' ロック多

SD23

層	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1	黒褐色			多	炭化物・灰
2	黒褐色		硬	多	
3	黒色		良	多	
4	黒色			多	ロ-ム土
5	黒色		無	少	ロ-ム土
6	黒色				ロ-ム7' ロック多
7	黄褐色				ロ-ム7' ロック多
8	黒褐色		無	多	ロ-ム7' ロック多

SD72

層	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1	暗茶褐色	有	良	多	赤スリ7' 多
2	暗黄茶褐色	有	良	多	ロ-ム7' ロック少
3	黒茶褐色	有	良	多	IIIb7' ロック
4	黄茶褐色	有	良	多	IIIbc7' ロック
5	黒茶褐色	無	やや無	少	
6	茶黒褐色	無	やや無	少	IIIc7' ロック
7	黒褐色	有	やや良		IIIc
8	茶褐色	有	良	少	IIIbc7' ロック
9	暗黄褐色	無	やや無	多	ロ-ム7' ロック多
10	黄褐色	有	良	多	ロ-ム7' ロック多
11	黒褐色				ロ-ム土多
12	黒色		良	多	
13	黒色		良	多	ロ-ム土
14	黒色				ロ-ム土多
15	黄褐色	有	無		ロ-ム7' ロック多
16	黄褐色				ロ-ム7' ロック多
17	黒色		良	多	
18	黒色		硬	多	ロ-ム土
19	黒色		硬	多	
20	黒褐色			多	ロ-ム土
21	黄褐色				ロ-ム7' ロック多

SK1375

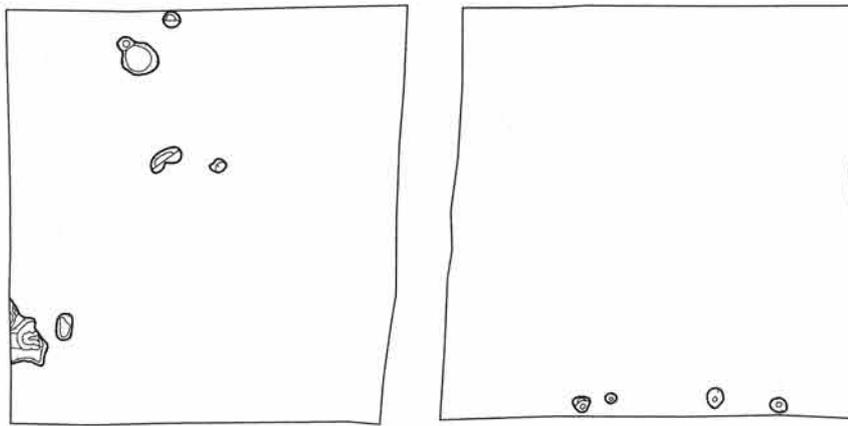
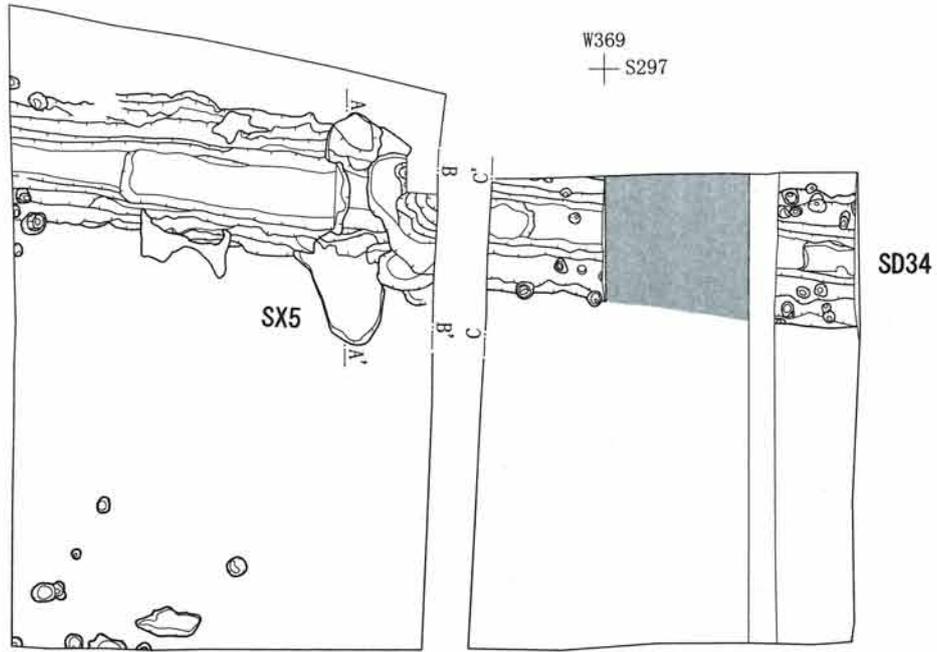
層	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1	黒褐色	無	無		ロ-ム7' ロック多
2	黒褐色	有	やや良	少	
3	黒褐色	有	やや良	微	
4	暗褐色		無		ロ-ム土多

SD203

層	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1	暗黒褐色	有	やや良	少	IIIb7' ロック
2	暗茶褐色	有	やや良		IIIb7' ロック
3	暗黄茶褐色	有	良	少	IIIbc7' ロック

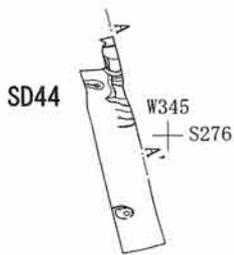
SB103A・B

層	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	その他
1	茶褐色	有	やや良	多	焼土少
2	茶黒褐色	有	やや良	多	焼土
3	暗褐色	有	やや良	少	
4	暗茶黒褐色				焼土・粘土
5	暗茶黄褐色	有	良	少	IIIb・焼土
6	暗茶黒褐色	有	良		IIIb
7	黄褐色		やや無		ロ-ム7' ロック多

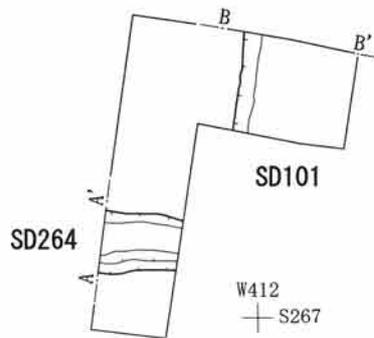


第346次調査

■ 未掘

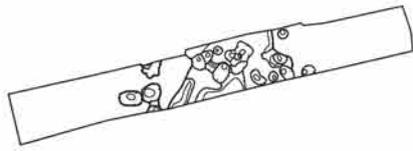


第356次調査

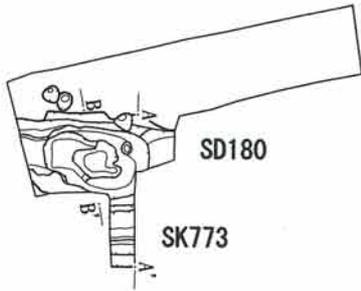


第379次調査



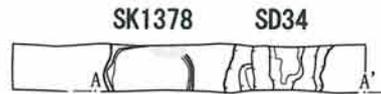


W339
+ S255

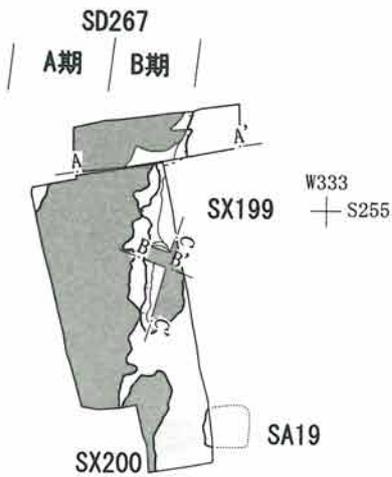


第187次調査

W452
+ S282

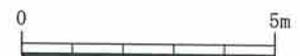
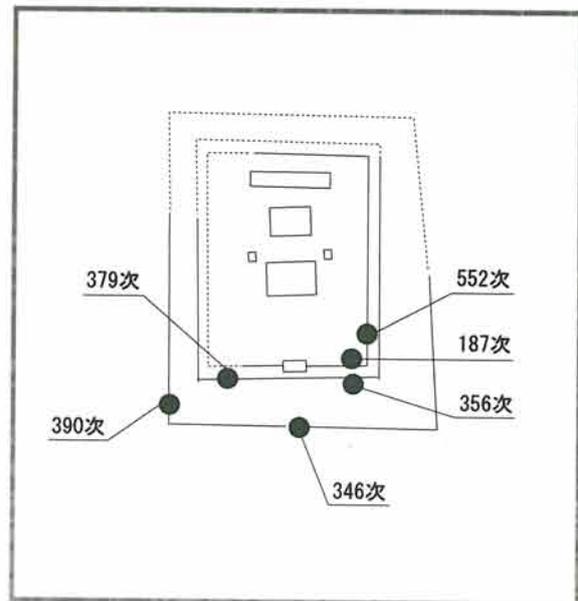


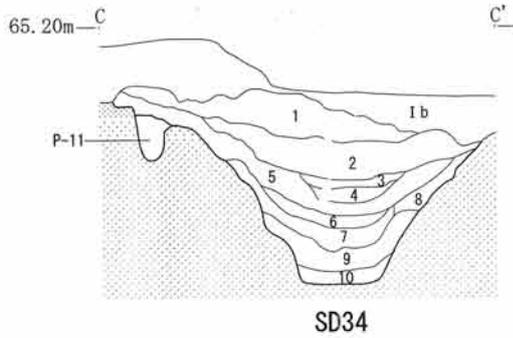
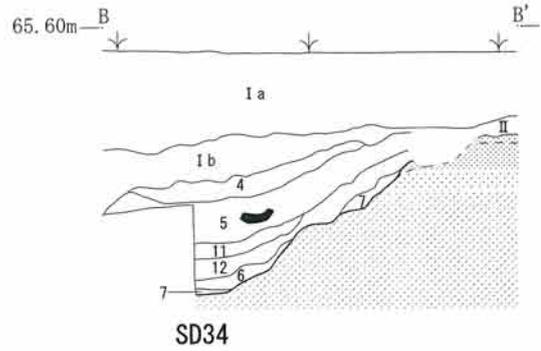
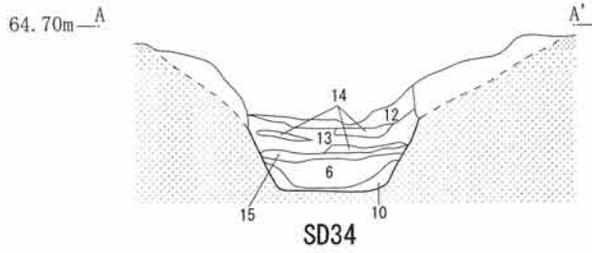
第390次調査



第552次調査

■ 未掘

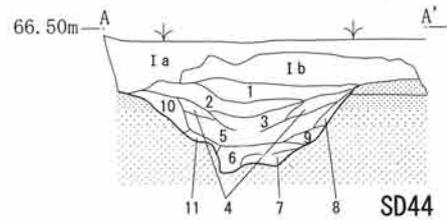
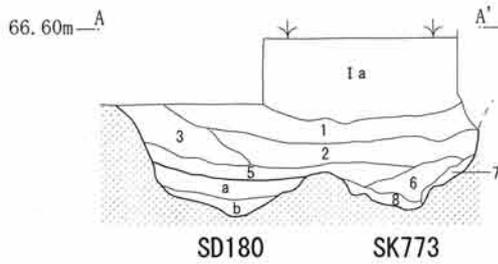




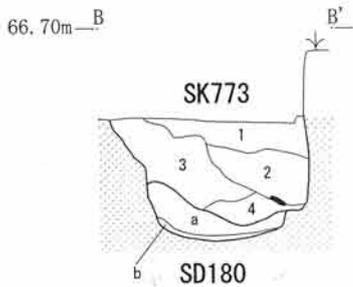
SD34

	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1	黒褐色	有	良	少	少	
2	黒褐色		良	少	少	炭化物微
3	黒褐色	有	良			
4	黒褐色	有		微		
5	黒褐色	有	良	少	微	炭化物微
6	黒褐色		良	中	少	ローム? ロック? 少
7	黒褐色				多	ローム? ロック? 少
8	暗茶褐色		やや無	多	少	
9	黒褐色				多	
10	黒褐色		やや良	多		ローム? ロック? 多
11	黒褐色	有	硬	多		
12	黒褐色		良	少		
13	黒褐色		良	多		
14	黒褐色		良	微		
15	黒褐色		良	多		ローム? ロック? 少

第346次調査



第356次調査



第187次調査

SD180

	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
a	黒色	無	やや無	少	少	
b	黄褐色	良	良			ローム? ロック? 多

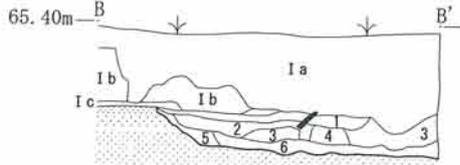
SK773

	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1	暗褐色	有	良	やや多	多	
2	暗褐色	有	やや良	やや多	多	ローム? ロック? 少
3	暗黄褐色	有	やや良	多	中	ローム? ロック? 多
4	暗黄褐色	有	やや良	中		ローム? ロック? 少
5	暗黄褐色	有	やや良	中	微	ローム? ロック? 少
6	暗褐色	有	良	少	少	
7	暗黒褐色	有	良			ローム? ロック? 微
8	黄褐色	有	良			ローム? ロック? 多

SD44

	色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1	茶褐色	無	無	やや多	少	
2	茶褐色	無	無	多	少	
3	暗茶褐色	有	無	中	中	
4	暗茶褐色	無		中		黒色土
5	暗茶褐色	有	良	中	微	
6	茶褐色	有	硬		少	ローム? ロック? 多
7	黄褐色	有	硬			黒色土
8	黄褐色	無	無			ローム? ロック? 多
9	茶褐色	無	良			ローム・黒色土
10	黄褐色	良	良	中	中	ローム? ロック? 多
11	黄褐色	良	良			ローム・黒色土

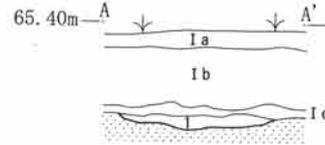




SD101

SD101

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1	暗黄褐色	無	良			ロ-ム? ロック多
2	暗茶色	無	良	少		
3	暗黄褐色	無	良			ロ-ム? ロック多
4	暗茶色	無	良	少		
5	暗茶色	有	やや良	少		
6	暗黄褐色	有	やや良	少		

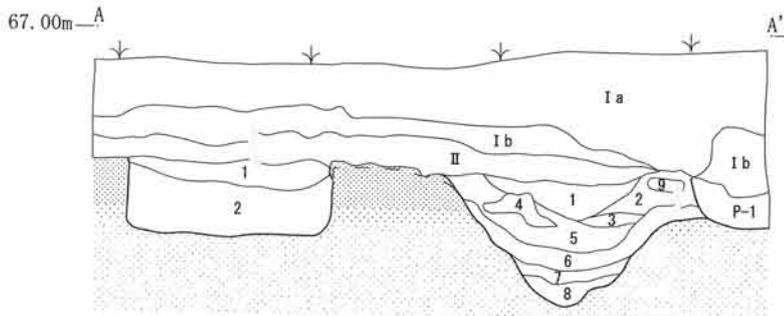


SD264

SD264

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1	暗黄褐色	無	良			ロ-ム・IIIb層

第379次調査



SK1378

SD34

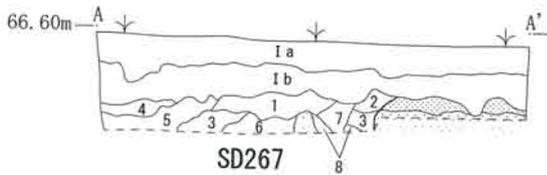
SK1378

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1	黒褐色	良	良	少	微	
2	黒褐色	良	やや良	やや多		ロ-ム? ロック多

SD34

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1	黒褐色	有	良	少		炭化物少
2	黒褐色	有	良	少	少	
3	黒褐色	有	やや無	少	中	炭化物少
4	黄褐色	無	やや無	多		炭化物少
5	暗褐色	有	やや良	多		
6	黄褐色	有	やや良	多		ロ-ム? ロック多
7	黄褐色	有	やや良	多		ロ-ム? ロック多
8	黄褐色	有	やや良	多		ロ-ム? ロック多
9	黄褐色	有	無	多		

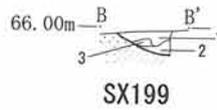
第390次調査



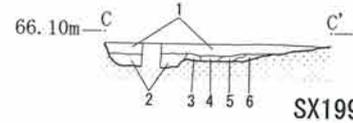
SD267

SD267

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1	暗黄褐色	無	やや良	多		
2	暗黄褐色	無	やや良	中		
3	暗茶色	有	やや良			
4	暗黄色	無	無			ロ-ム? ロック多
5	暗黄色	有	やや良	少		
6	黄色	有	やや良	多		ロ-ム? ロック多
7	黒色	無	無	多		
8	暗黄色					ロ-ム? ロック多



SX199



SX199

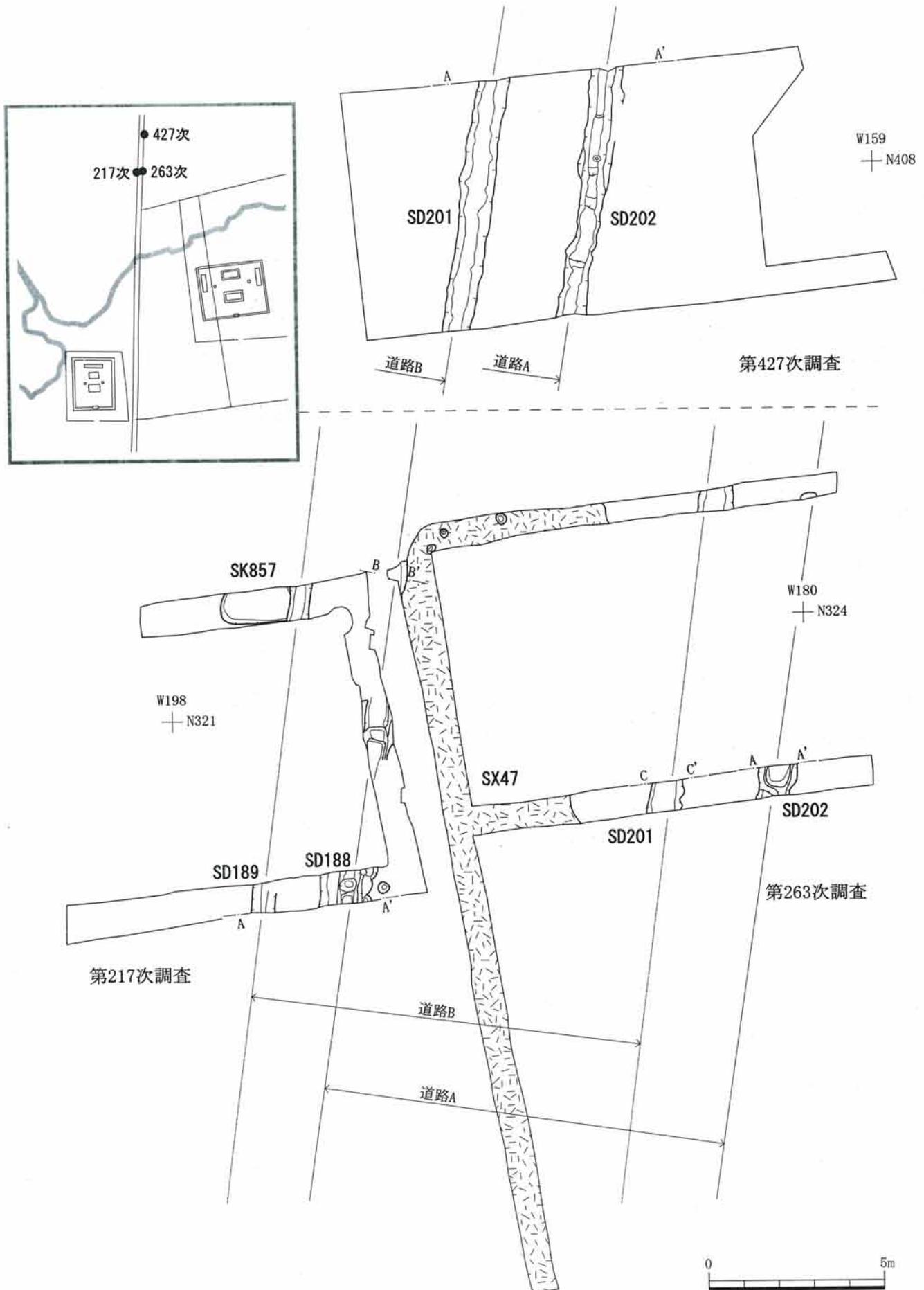
SX199

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1	暗茶褐色	無	良	多		ロ-ム? ロック少
2	暗茶色	有	やや良	中	中	
3	暗茶色	有	やや良	中	中	
4	黒色	有	やや良	少		
5	暗茶色	有	良	少	少	IIIa層
6	暗黄茶色	有	良	多	少	ロ-ム? ロック多

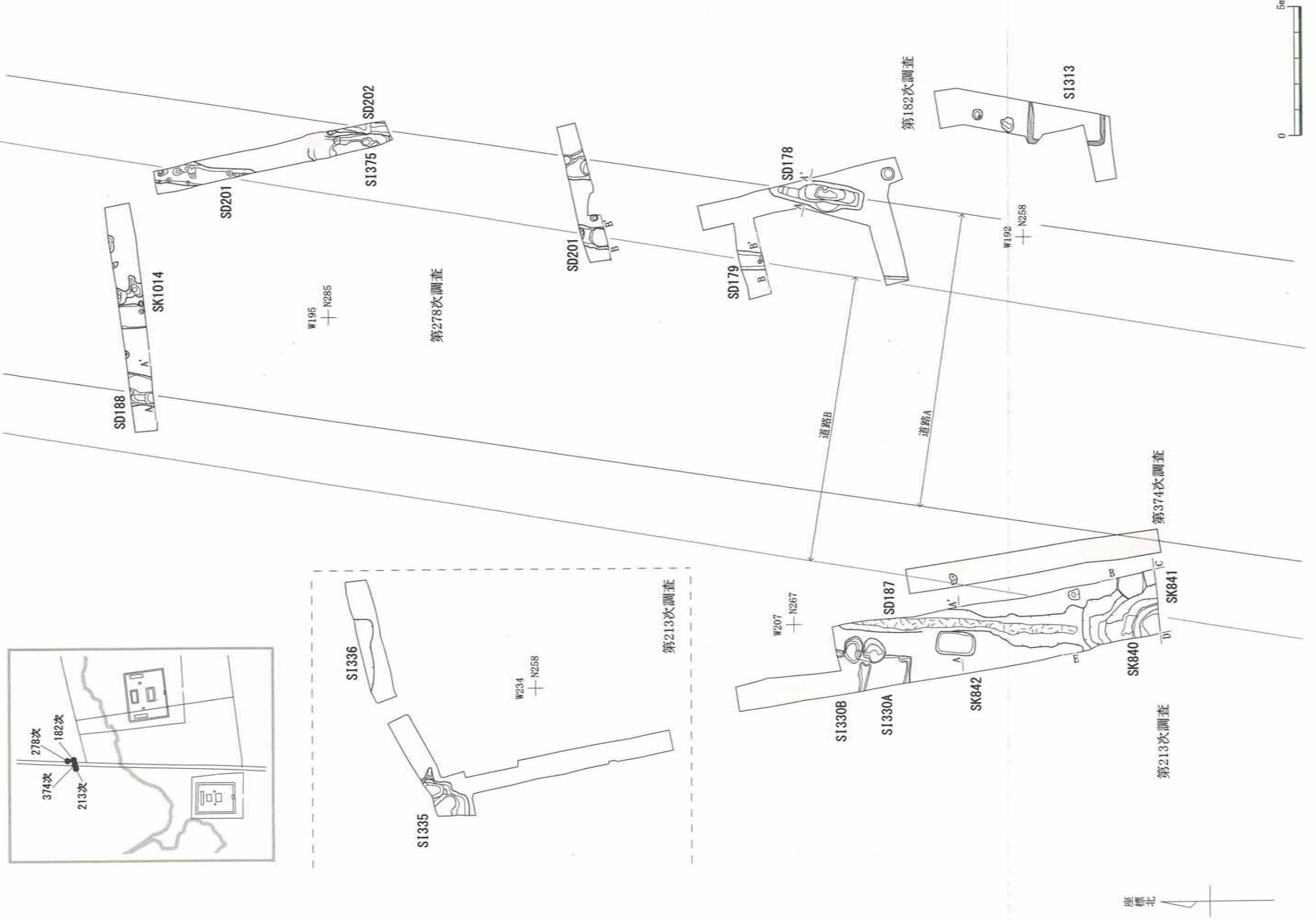
第552次調査

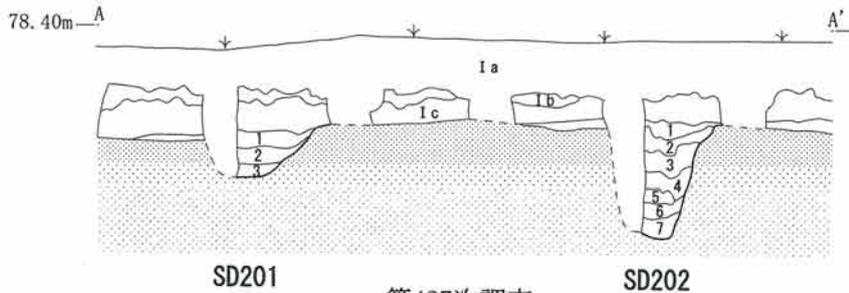


図面 13 第 217・263・427 次調査 遺構配置図

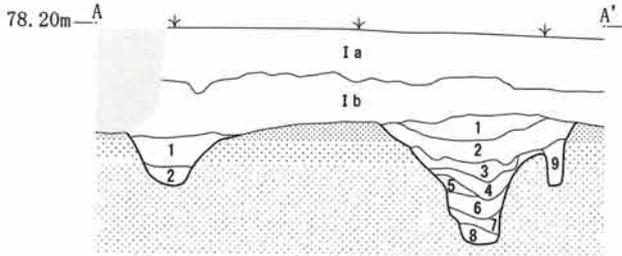


図面14 第182・213・278・374次調査 遺構配置図

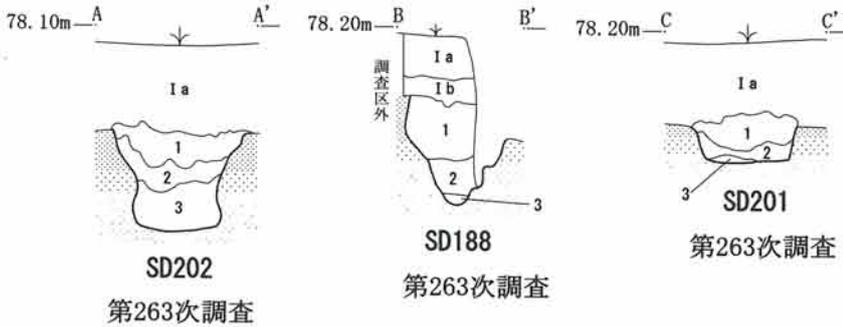




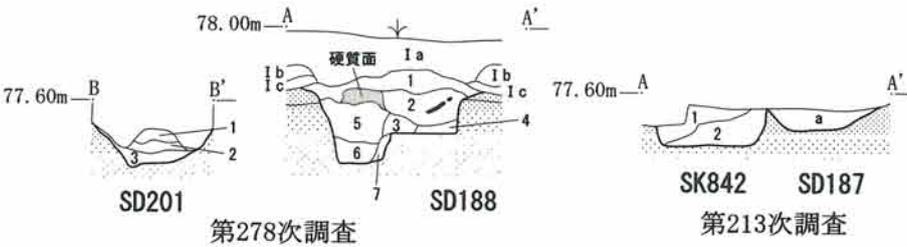
第427次調査



第217次調査

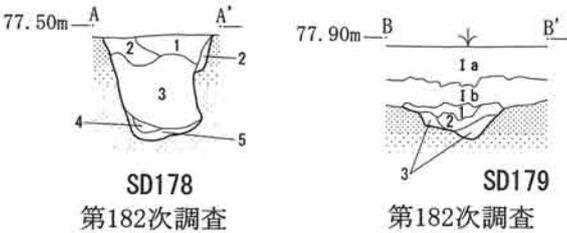


第263次調査



第278次調査

第213次調査



第182次調査

第182次調査



第213次調査

SK840

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 黒褐色	有	やや良	少	少	
2 暗黒褐色	有	良	少	少	IIIb層
3 暗黄褐色	有	無	多		
4 黒色	有	無	少		
5 暗黄褐色	無	無	多		
6 暗黄褐色	無	無	多		ロ-ムア'ロツク多
7 暗黄褐色	無	無			ロ-ムア'ロツク多
8 黄褐色	有	有			ロ-ムア'ロツク多

SK841

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗褐色	無	無	多		
2 暗褐色	無	無	少		
3 暗黒褐色	有	良	少		

SK842

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗黒褐色	有	良	少		IIIb層
2 暗黒褐色	有	良	少		

SD187

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
a 暗黒褐色	有	硬	多	多	

第427次調査

SD201

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 黒茶褐色	有	硬			IIIb
2 暗黄褐色	有	やや良			
3 暗黄褐色					IIIcア'ロツク

SD202

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 10YR3/2	無	良			IIIb
2 10YR3/4	無	良			
3 10YR2/2	無	良			
4 10YR2/2	無	やや良			
5 10YR2/2	無	良	少		
6 10YR3/4	有	良	少		
7 10YR6/5	有	やや良	多		

第217次調査

SD188

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗黒褐色	有	硬			IIIbア'ロツク
2 暗黄褐色	有	硬	多		ロ-ムア'ロツク
3 暗黒褐色	有	やや良			IIIbア'ロツク
4 暗黄褐色	有	良	多		ロ-ムア'ロツク多
5 暗黒褐色	有	やや良	多		
6 暗黒褐色	有	やや良			IIIbア'ロツク
7 暗黒褐色	有	やや良			IIIbア'ロツク少
8 黄褐色	無	無			ロ-ムア'ロツク多
9 暗黄褐色	有	やや良	多		ロ-ムア'ロツク多

SD189

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 黒茶褐色	有	やや良	少		
2 黒茶褐色	有	良	多		

第263次調査

SD188

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 黒茶褐色	有	良			IIIb
2 暗茶褐色	有	やや良			
3 暗茶褐色					IIIcア'ロツク

SD201

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗茶褐色	有	硬			IIIb
2 黒茶褐色	有	良	少		
3 暗茶褐色	有	やや良			ロ-ムア'ロツク

SD202

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 黒茶褐色	有	良			IIIb
2 暗茶褐色	有	やや良			
3 暗茶褐色					IIIcア'ロツク

第182次調査

SD178

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗褐色	有	有		少	
2 暗褐色	有	有		少	ロ-ムア'ロツク微
3 黒褐色	有	やや無	多	少	ロ-ムア'ロツク少
4 黒褐色	有	やや無	多		ロ-ム土
5 黄褐色	有	良	多		ロ-ムア'ロツク多

SD179

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗黒褐色	有	良			IIIbア'ロツク多
2 黒褐色	有	やや良			IIIbア'ロツク
3 黒褐色	無	無			

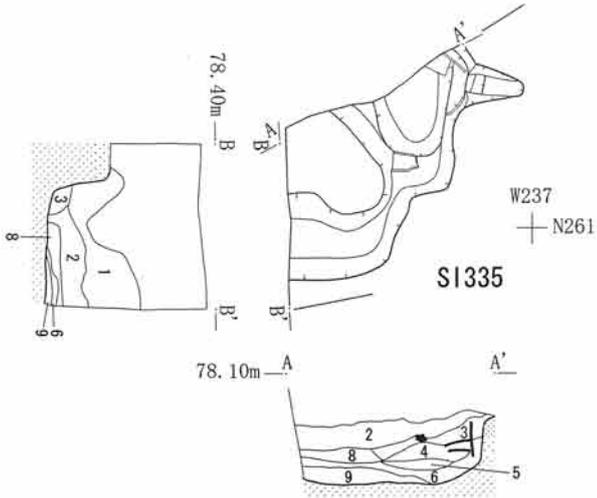
第278次調査

SD188

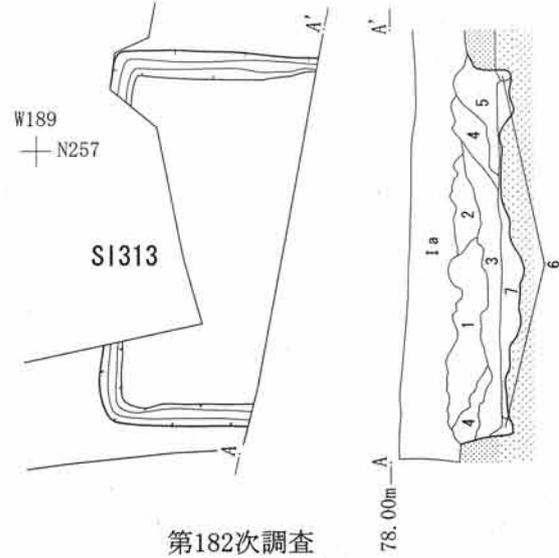
色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 暗黒褐色	有	やや有	少		IIIb
2 黒茶褐色	有	有			IIIbア'ロツク
3 暗茶褐色	有	有			IIIbア'ロツク
4 茶黒褐色	有	良			IIIb・cア'ロツク
5 黒茶褐色	有	良	少		IIIbア'ロツク
6 黄茶褐色	有	良			ロ-ムア'ロツク
7 黄褐色	有	良			ロ-ムア'ロツク多

SD201

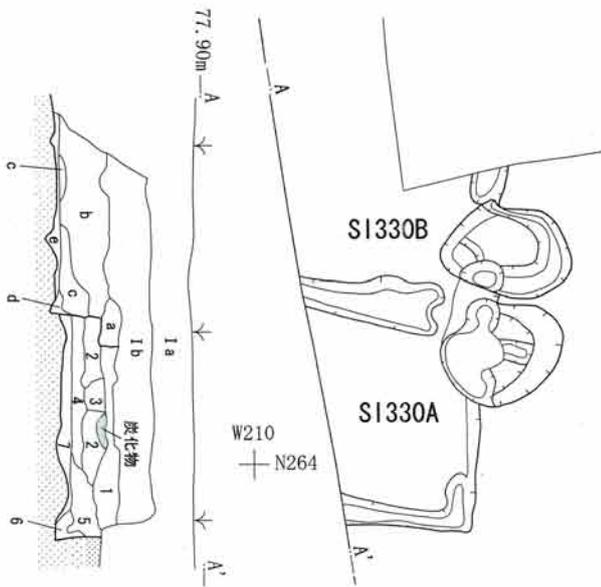
色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1 黒茶褐色	有	硬			IIIbア'ロツク
2 黒茶褐色	有	硬			IIIbア'ロツク多
3 暗黄褐色	有	良	多		ロ-ム土



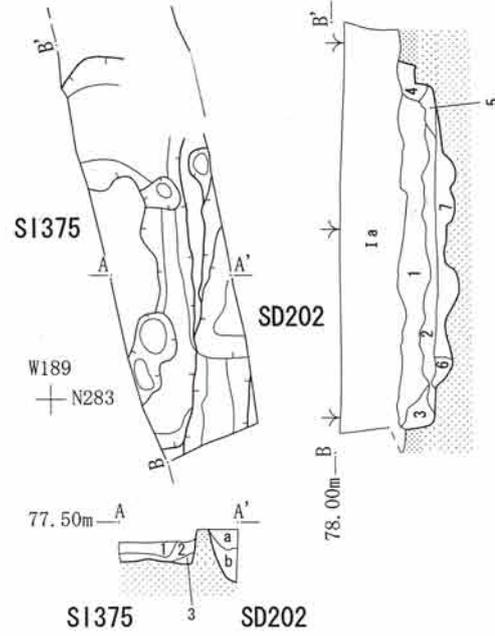
第213次調査



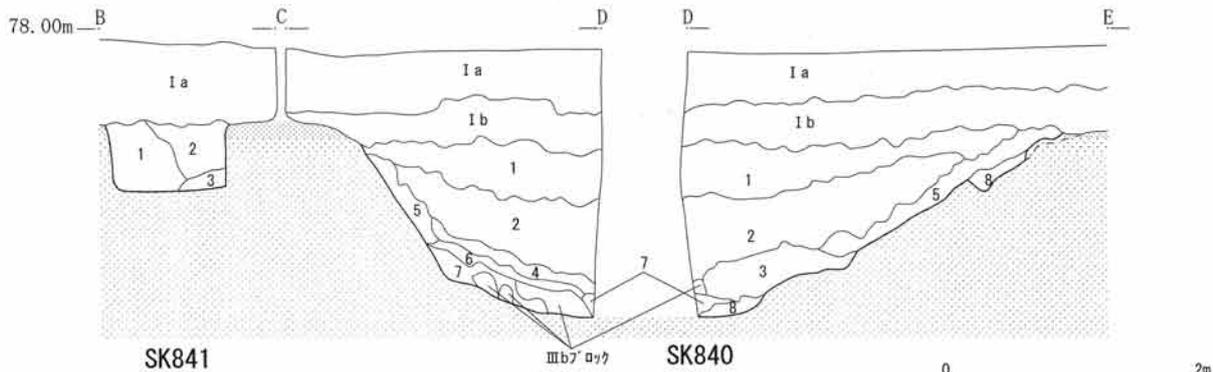
第182次調査



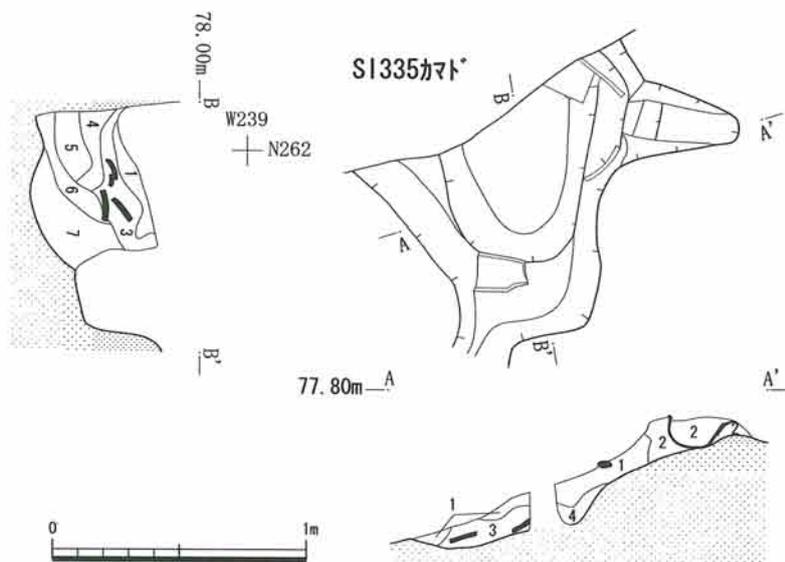
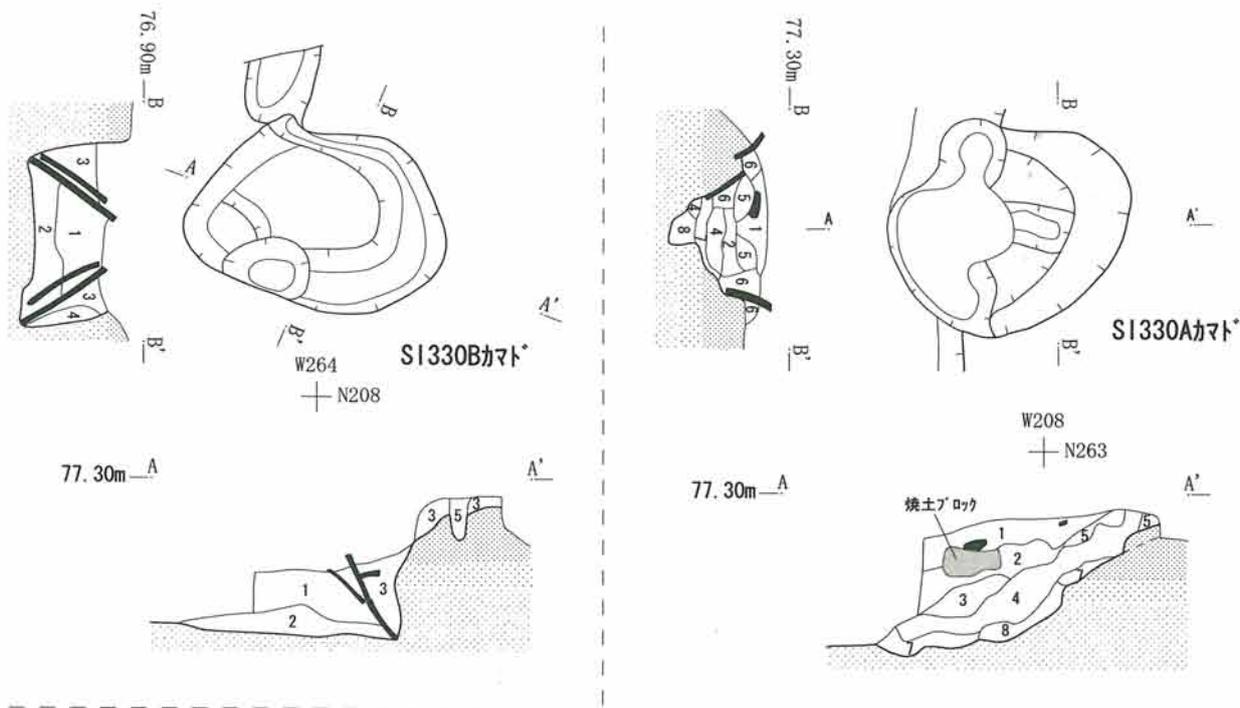
第213次調査



第278次調査



第213次調査



SI335

色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1 黒灰褐色	有	やや良	少		粘土粒子
2 暗茶褐色	有	やや良	少		粘土・焼土粒子
3 灰赤褐色	有	やや良	多		白色粘土・焼土
4 灰赤褐色	有	やや良			白色粘土・焼土
5 赤褐色	有	良			焼土
6 黒色	有	良			白色粘土少
7 暗茶褐色	有	やや良	多		ローム7' ロック多
8 暗茶褐色	有	良			白色粘土・焼土
9 暗黄褐色	有	良			ローム7' ロック多

SI313

色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1 暗黒褐色	有	やや良	少	少	表土
2 暗黒褐色	有	やや良	中	中	表土
3 暗茶褐色	有	良	少	少	焼土粒子微
4 暗黒褐色	有	やや良	少	少	Ⅲa7' ロック
5 暗黒褐色	有	やや良	少	少	Ⅲa7' ロック多
6 暗茶褐色	有	やや良	少	少	Ⅲa7' ロック
7 暗茶褐色	有	硬			Ⅲa7' ロック

SI330Aカマド

色調	粘性	しまり	その他
1 暗褐色	無	無	焼土粒子少
2 暗褐色	無	無	焼土粒子・灰白色粘土多
3 黒赤褐色	無	無	焼土粒子
4 赤茶褐色	無	無	粘土粒子・7' ロック
5 灰褐色	無	無	焼土粒子・灰白色粘土多
6 灰茶褐色	無	無	灰白色粘土多
7 黒褐色	無	無	灰白色粘土多
8 黄褐色	無	無	焼土粒子・ローム粒子

SI330A

色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1 暗黒褐色	有	やや良	少	少	
2 暗黒褐色	有	やや良	少	少	炭化物・焼土
3 暗黒褐色	有	やや良	少	少	炭化物・焼土多
4 暗黒褐色	有	やや良			炭化物・焼土多
5 暗黒褐色	有	良	少	少	ローム7' ロック
6 暗茶褐色	有	良	多		ローム7' ロック多
7 暗茶褐色	有	硬			ローム7' ロック多

SI375

色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
1 暗黒褐色	有	有	少		Ⅲb・焼土粒子
2 暗黒褐色	有	有			Ⅲb・焼土粒子
3 黒褐色	有	やや良			Ⅲb7' ロック
4 黒褐色	有	良			焼土粒子多
5 黒茶褐色	有	良			焼土粒子多
6 暗黄褐色	無	無			ローム7' ロック多
7 暗黄褐色	有	良			ローム7' ロック多

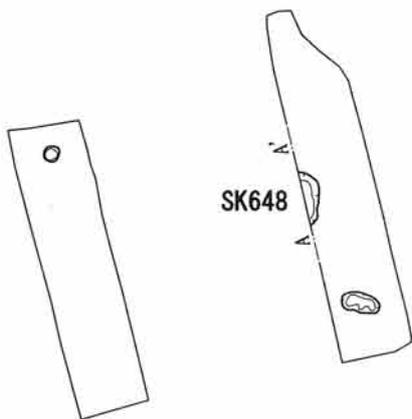
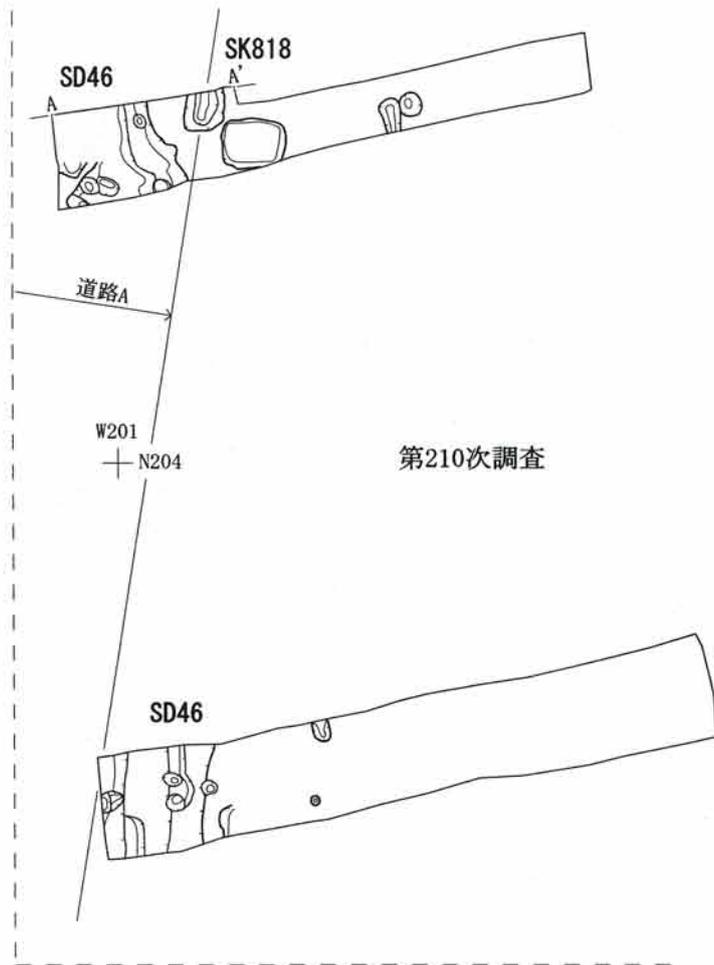
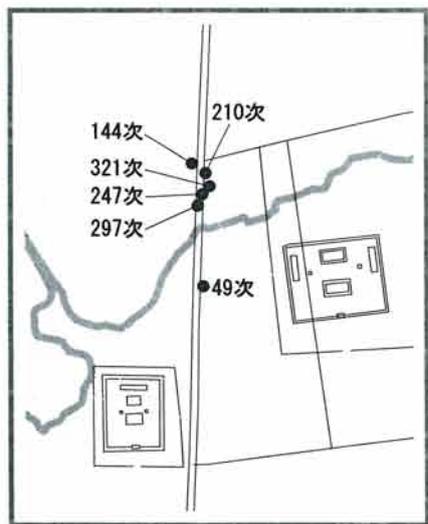
SI330Bカマド

色調	粘性	しまり	その他
1 暗黒褐色	無	無	焼土粒子・灰白色粘土少
2 灰赤褐色	有	良	焼土粒子・粘土粒子多
3 灰白色	無	無	灰白色粘土・ローム7' ロック
4 暗黒褐色	無	無	粘土粒子多
5 暗褐色	無	無	

SI330B

色調	粘性	しまり	ローム粒子	スコヤ	その他
a 暗褐色	無	やや無			焼土粒子多
b 暗褐色	無	やや無	中	中	白色粘土・焼土
c 暗褐色	有	やや良	少	少	
d 暗黒褐色	有	やや良			ローム7' ロック少
e 暗黄褐色	有	硬			ローム7' ロック多

図面 18 第 144・210・247・297 次調査 遺構配置図



W213
+ N213 第144次調査



W213
+ N168

第247次調査



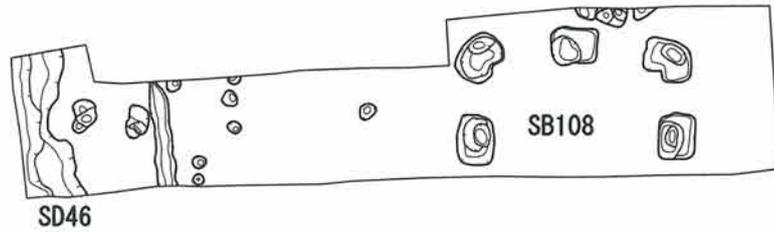
W228
+ N147



第297次調査

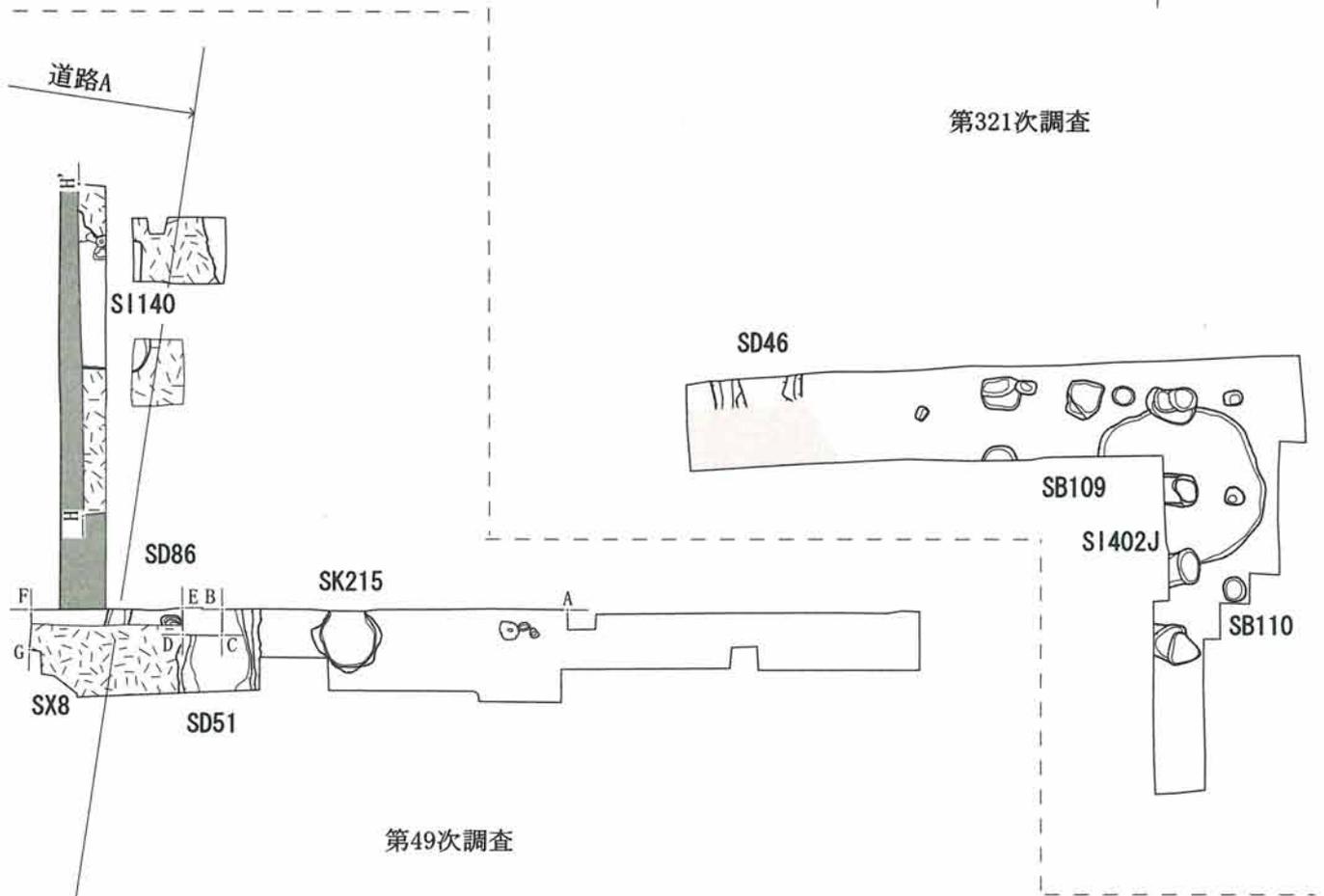


図面 19 第 49・321 次調査 遺構配置図

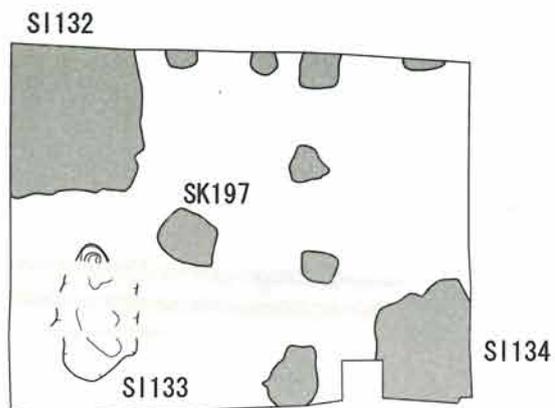


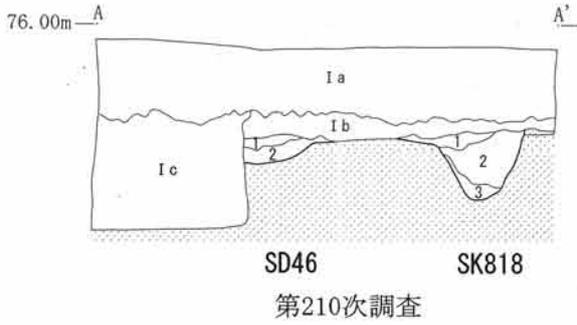
W186
+ N180

第321次調査



W225
+ S3



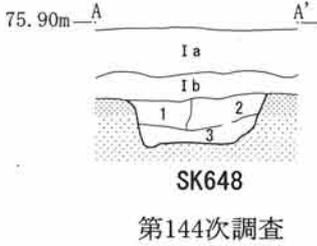


SD46

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スリヤ	その他
1	暗黒褐色	無	無	少		IIIb
2	暗茶褐色		良			IIIb7' ロック

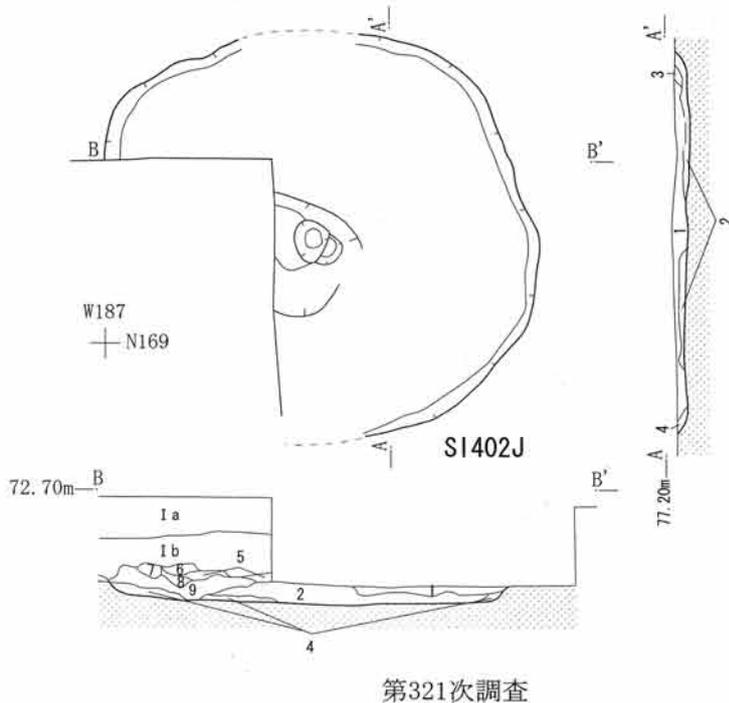
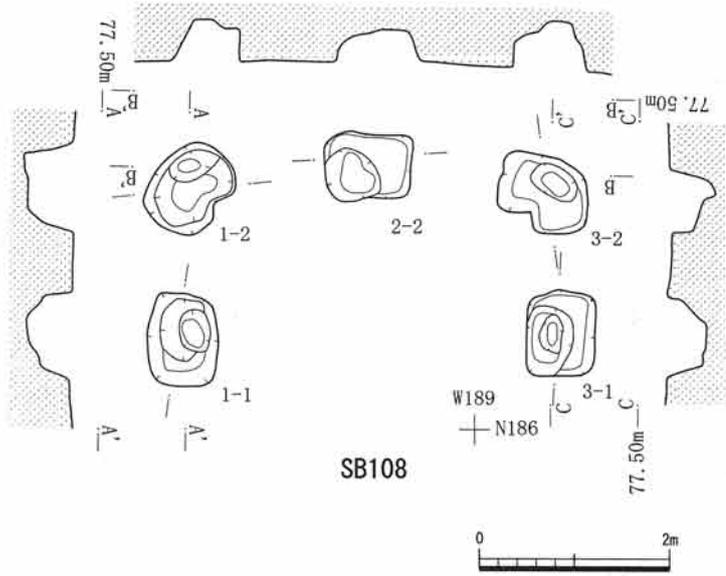
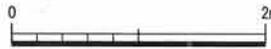
SK818

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スリヤ	その他
1	暗黒褐色	有	良			IIIb7' ロック
2	黒褐色	有	良	少	少	
3	黄褐色	無	やや無	多		ロ-ム7' ロック多



SK648

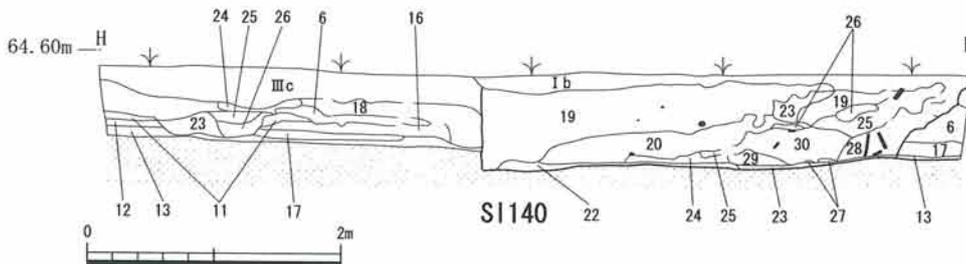
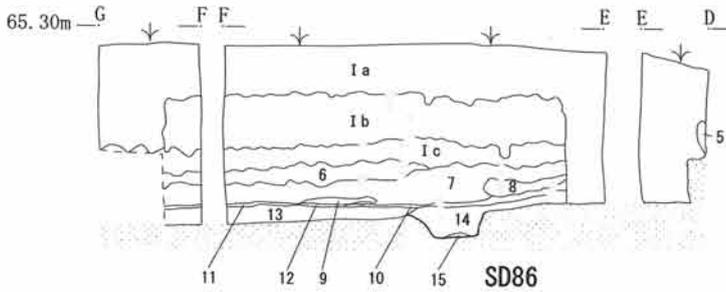
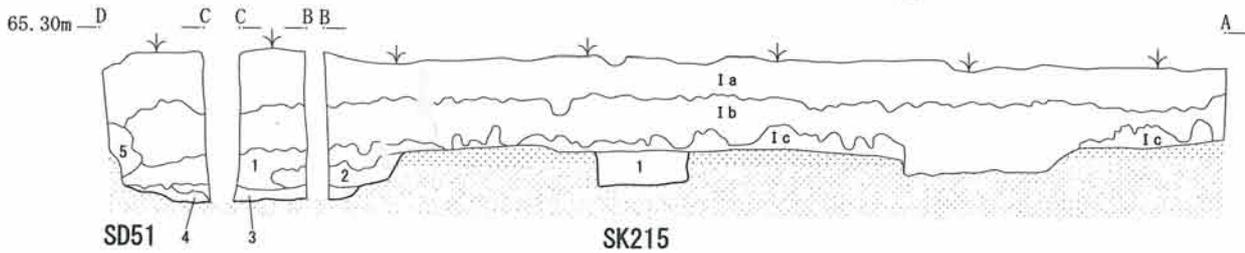
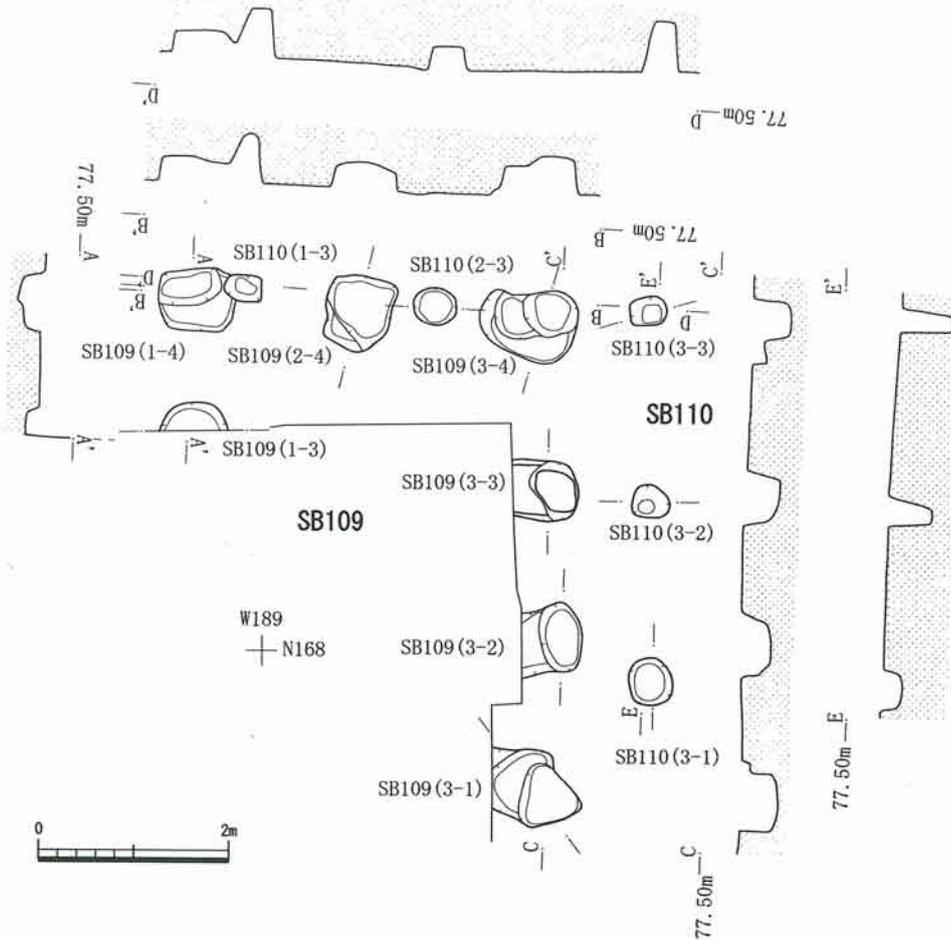
	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スリヤ	その他
1	黒褐色	無	無			
2	黒褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック少
3	黒褐色	有	やや良	多		IIIa7' ロック



S1402J

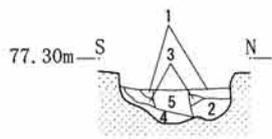
	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スリヤ	その他
1	暗褐色	有	良		少	
2	暗黄褐色	有	良	少	少	
3	暗褐色	有	やや良	多	多	ロ-ム7' ロック少
4	暗黄色	有	良			IIIb
5	暗褐色	有	良	多	多	
6	暗茶褐色	有	やや良	多		
7	黒色	有	やや良	少		
8	黒色	有	良			
9	暗茶褐色	有	良	少		



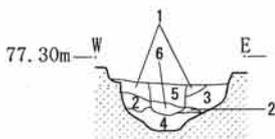


SX8・SD51・SD86・SI140・SK215

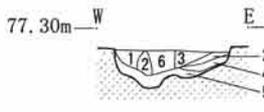
	色調	粘性	しまり	ロム粒子	その他
1	黒褐色		良		
2	黒褐色				ロム7' ロット少
3	暗茶褐色			多	
4	暗茶褐色			多	ロム7' ロット多
5	黒褐色		良		
6	暗黒褐色		硬	少	
7	暗黒褐色		硬	少	
8	暗黒褐色	有	硬	少	
9	暗黒褐色	有	硬	少	
10	暗黒褐色		硬	多	
11	黄褐色		硬	多	ロム7' ロット多
12	暗黄褐色		硬	多	ロム7' ロット多
13	黒褐色		硬	多	
14	黒褐色		無	多	ロム7' ロット多
15	暗茶褐色			中	ロム7' ロット中
16	黒褐色		良		
17	黒褐色	有	良	多	
18	黒褐色	有			
19	黒褐色		無		
20	暗茶褐色		無		
21	黒褐色				
22	黒褐色			少	
23	黒褐色		無	少	
24	黒褐色		無		
25	黒褐色				
26	暗黄褐色			多	
27	黄褐色			多	灰色土少
28	暗茶褐色			多	焼土粒多
29	黒褐色			少	
30	黒褐色				



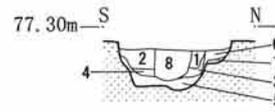
SB108 (1-1)



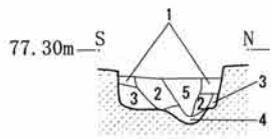
SB108 (1-2)



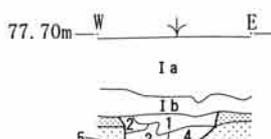
SB108 (2-2)



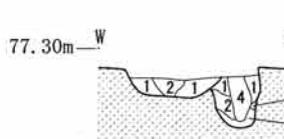
SB108 (3-1)



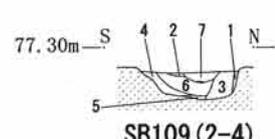
SB108 (3-2)



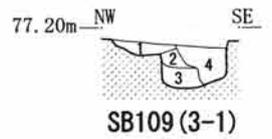
SB109 (1-3)



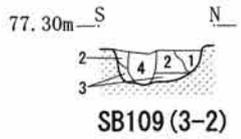
SB109 (1-4) SB110 (1-3)



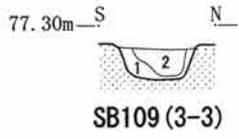
SB109 (2-4)



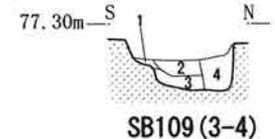
SB109 (3-1)



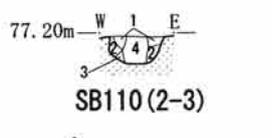
SB109 (3-2)



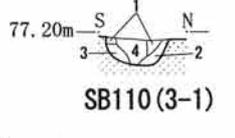
SB109 (3-3)



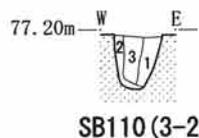
SB109 (3-4)



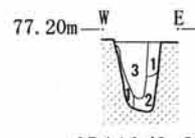
SB110 (2-3)



SB110 (3-1)



SB110 (3-2)



SB110 (3-3)



SB108 (1-1)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗茶褐色	無	やや良	少		
2 暗黄褐色	有	やや良			III層
3 暗褐色	有	やや良		多	ロ-ム7' ロック多
4 黄褐色	無	無			III層
5 暗褐色	無	無	少		

SB108 (3-1)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 黒褐色	無	やや良	少		
2 暗褐色	無	無			ロ-ム7' ロック少
3 暗黄褐色	有	有			III層
4 黒褐色	有	有	少		
5 暗黄褐色	有	有			III層
6 暗黄褐色	有	有	少		ロ-ム7' ロック少
7 暗黄褐色	有	有	多		
8 暗茶褐色	有	無	少		ロ-ム7' ロック少

SB109 (1-3)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 黒褐色	無	良	少		
2 暗褐色	無	良	少		
3 暗茶褐色	有	やや良	多	少	
4 暗黄色	有	やや良	多		ロ-ム土
5 黒褐色	有	やや良	微		
6 黄褐色	有	やや良			ロ-ム土

SB109 (1-4)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗黄褐色	有	良	多		黒色土
2 暗褐色	有	やや良	少		

SB110 (1-3)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	有	やや良	多		
2 暗褐色	無	無			ロ-ム7' ロック多
3 黒褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック多
4 黒褐色	有	やや良	多		

SB110 (3-1)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 黒褐色	有	やや良	少	少	
2 暗茶褐色	有	良	中		
3 暗茶褐色	有	良	多		ロ-ム7' ロック多
4 暗褐色	有	やや良	多		炭化物多

SB108 (1-2)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗茶褐色	無	やや良	少	微	
2 黄褐色	有	やや良		微	黒色土
3 暗褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック多
4 黄褐色	有	有			III層
5 暗黄褐色	有	やや有	少		III層
6 黒褐色	有	やや有	少		ロ-ム7' ロック少

SB108 (3-2)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	無	無	少		
2 黒褐色	無	無			ロ-ム7' ロック少
3 黄褐色	無	無			III層
4 暗黄褐色	有	有			III層
5 黒褐色	無	やや無	少		

SB109 (2-4)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	有	やや良	少		
2 黒褐色	無	やや良			ロ-ム7' ロック
3 暗黄褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック
4 黒褐色	無	無			
5 黒褐色	無	無			ロ-ム7' ロック
6 暗茶褐色	無	無			ロ-ム7' ロック
7 暗褐色	無	無	少		

SB109 (3-1)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗黄褐色	有	良			ロ-ム7' ロック
2 暗黄褐色	有	良	少		ロ-ム7' ロック多
3 暗黄褐色	有	良	少		III層
4 暗褐色	有	やや良	少		ロ-ム7' ロック少

SB110 (2-3)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	無	やや良	少		
2 暗茶褐色	有	やや良	多		
3 暗黄褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック多
4 黒褐色	有	やや良	多		

SB110 (3-2)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗茶褐色	有	やや良	中		
2 暗茶褐色	有	やや良	多		
3 暗褐色	有	良	多		

SB108 (2-2)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック多
2 暗茶褐色	有	やや良	多		III層
3 黄褐色	有	やや良	多		
4 黒褐色	有	有		多	ロ-ム7' ロック
5 暗黄褐色	有	やや有	少		黒色土
6 暗茶褐色	有	やや有	少		ロ-ム7' ロック多

SB109 (3-2)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗茶褐色	無	やや良	少		
2 暗黄褐色	有	良			III層
3 暗褐色	有	やや良	多		
4 暗褐色	有	やや良			III層

SB109 (3-3)

色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	有	やや良	少		ロ-ム7' ロック少
2 黒褐色	有	やや良			

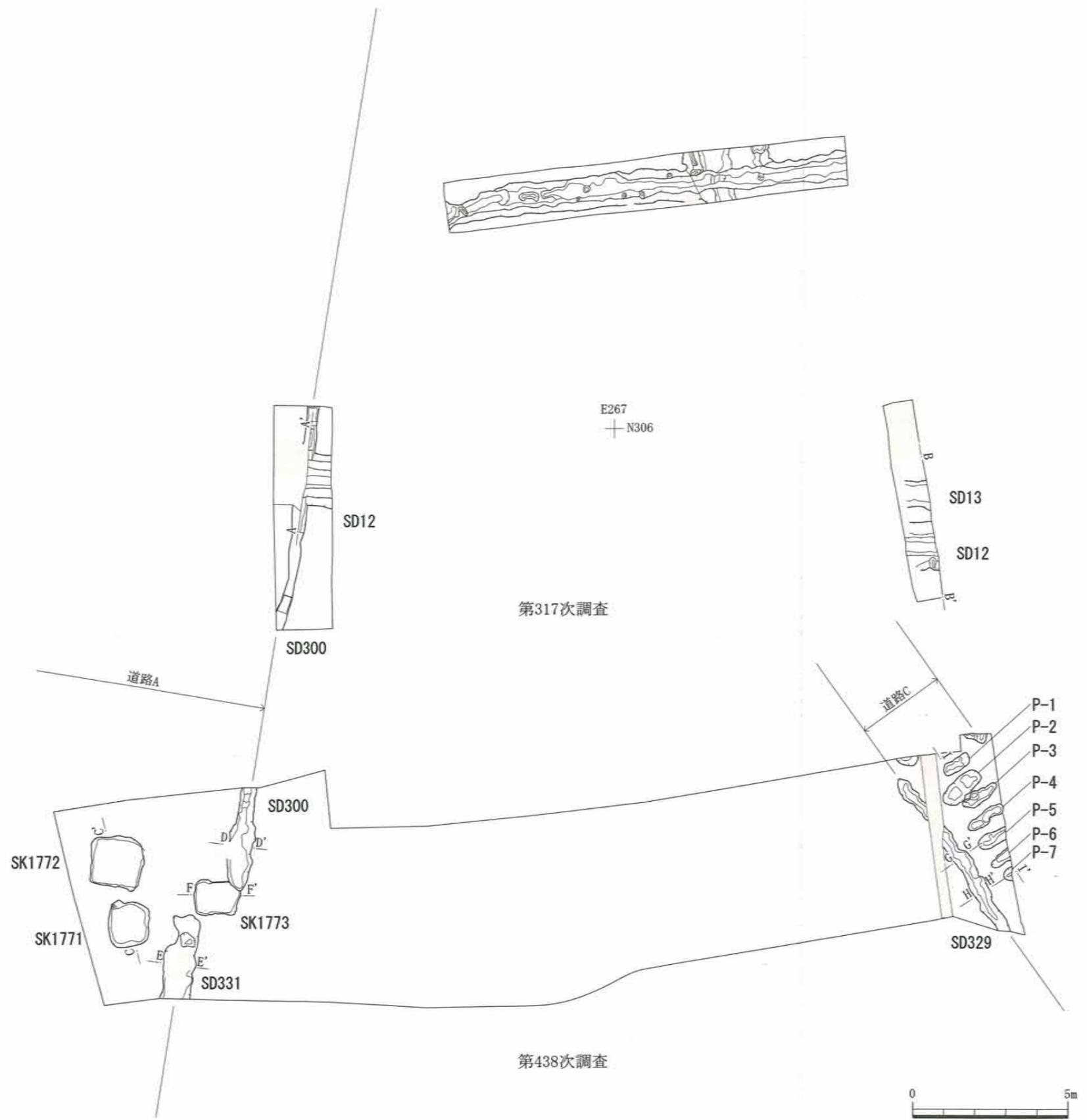
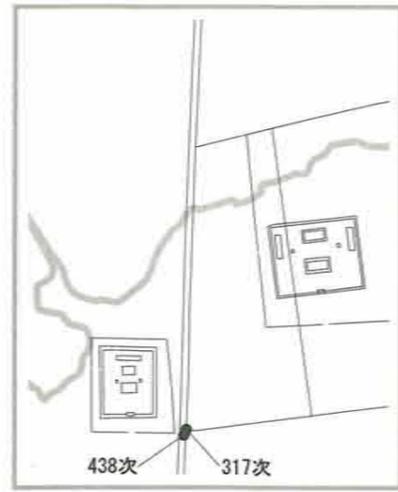
SB109 (3-4)

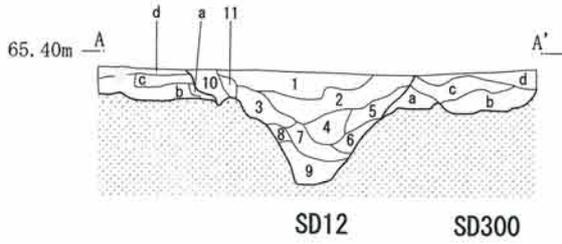
色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗褐色	有	やや良	少		
2 暗黄褐色	有	やや良			III層・黒色土
3 暗黄褐色	有	やや良			III層
4 暗褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック多

SB110 (3-3)

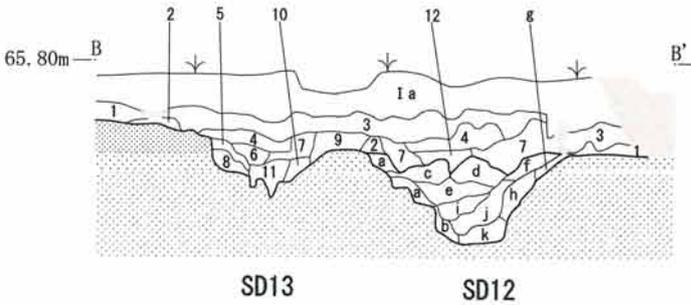
色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコヤ	その他
1 暗黄褐色	有	良			III層
2 黒褐色	無	やや良			
3 暗褐色	有	やや良			ロ-ム7' ロック

図面23 第317・438次調査 遺構配置図





	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1	暗黄褐色	有	やや良	多		黒色土
2	暗茶褐色	無	やや良		多	
3	暗褐色	無	無			ロ-ム? ロック少
4	茶褐色	有	やや良			
5	黒褐色	有	やや良			ロ-ム? ロック少
6	黒褐色	有	やや良	多		ロ-ム? ロック多
7	茶褐色	有	良	多	多	
8	茶褐色	無	無			ロ-ム? ロック多
9	黒褐色	有	やや良			ロ-ム? ロック多
10	黄暗褐色	有	やや良	多		
11	黄暗色	有	やや良	多		

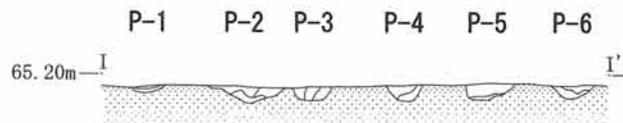
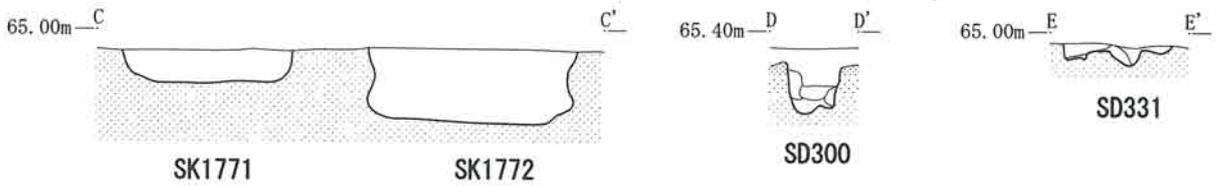


	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
a	黄色	有	良	やや多	多	ロ-ム・IIIb層
b	暗黄色					ロ-ム? ロック多
c	黒色	無	無			ロ-ム? ロック少
d	暗茶褐色	有	やや良	少		

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
1	暗褐色	有	やや良		少	
2	暗黄褐色	有	やや良		少	IIIa層
3	黒褐色	無	無	多	多	
4	黒色	有	やや良	多	多	
5	黒褐色	有	やや良	多		
6	暗黄褐色	有	やや良	多		
7	暗黄褐色	無	やや良	多		
8	黄褐色	無	やや良	多		
9	暗黄褐色	有	やや良	多		
10	黄暗褐色	有	やや良			ロ-ム? ロック多
11	黄暗褐色	有	やや良		少	ロ-ム? ロック多
12	暗褐色	無	無	多	多	

	色調	粘性	しまり	ロ-ム粒子	スコリヤ	その他
a	黄暗褐色	有	やや良		少	ロ-ム? ロック多
b	黄暗褐色	有	やや良			ロ-ム? ロック多
c	暗黄褐色	有	無	多		ロ-ム? ロック多
d	黒褐色	有	無		少	
e	黒褐色	有	やや良		少	ロ-ム? ロック少
f	暗褐色	有	やや良	少		炭化物少
g	黄暗褐色	有	良	多		IIIb層
h	黒色	有	良	少		
i	黒色	有	やや良	少		
j	暗褐色	有	無	少	少	
k	暗褐色	有	やや良	少		

第317次調査



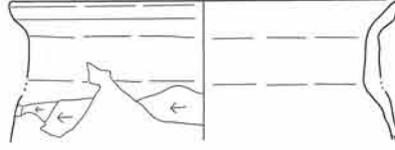
第438次調査



図面 25 土師器



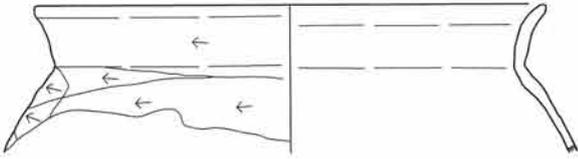
1 49-PH01 SI140



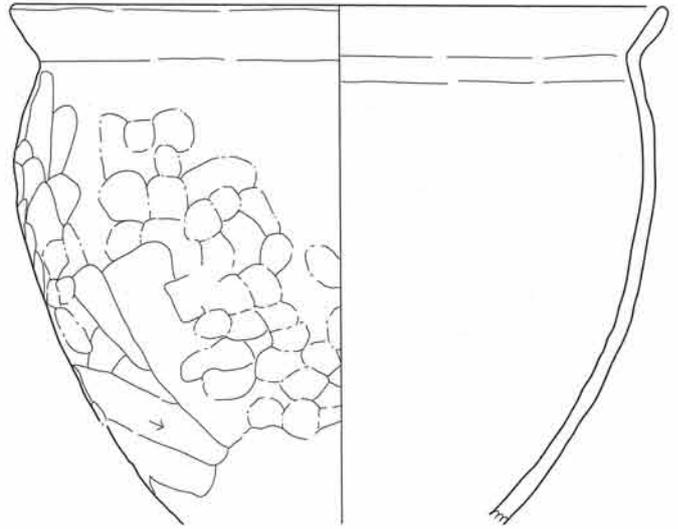
2 49-PH02 SI140



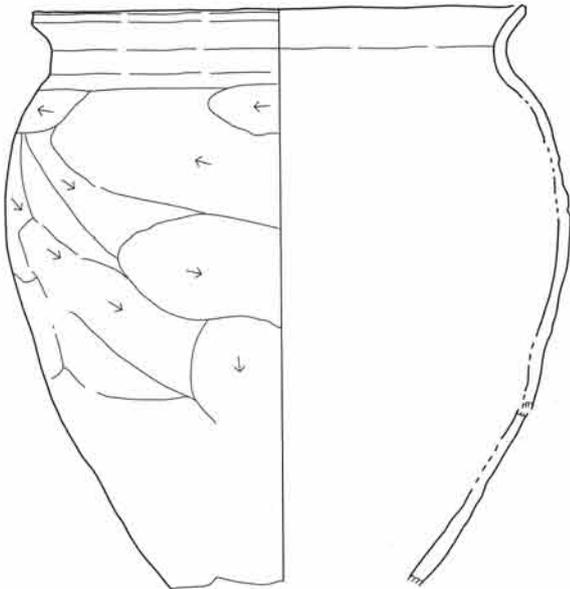
3 213-PH01 SI330



4 213-PH02 SI335



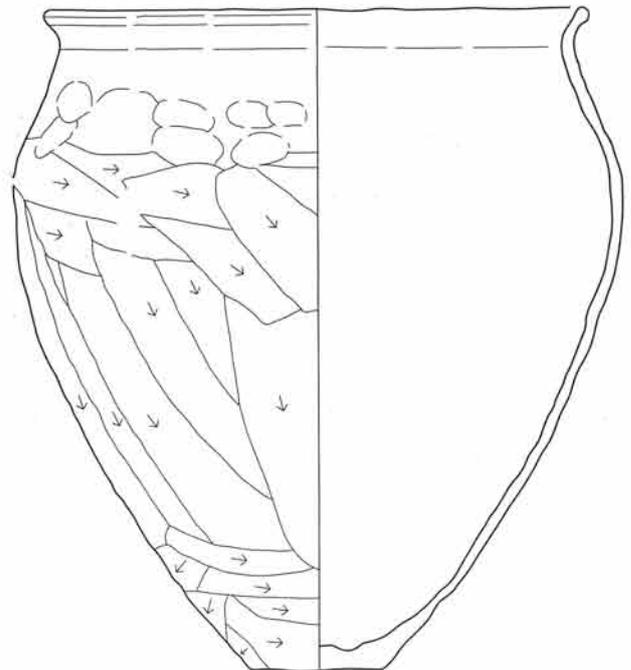
5 213-PH03 SI330



6 213-PH04 SI335



7 414-PH01 SK1546



8 303-PH01 SI396

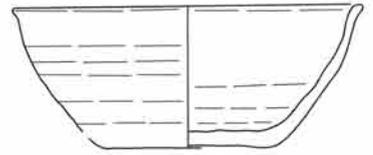
図面 26 須恵器 (1)



1 19-PK01 SD27



2 19-PK02 SK131



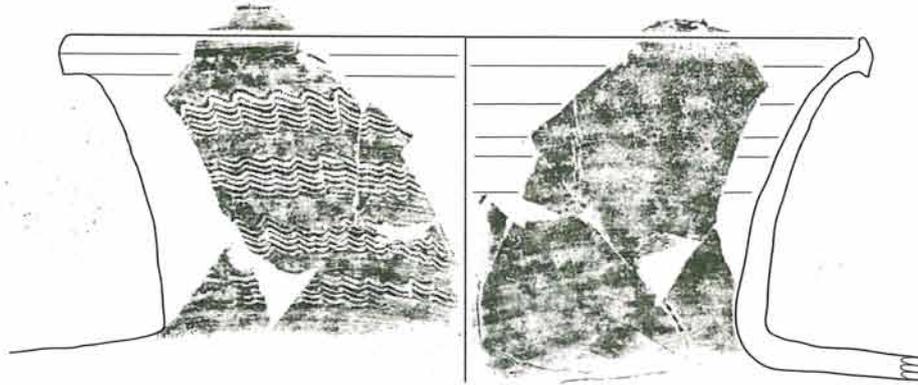
3 49-PK01 SI140



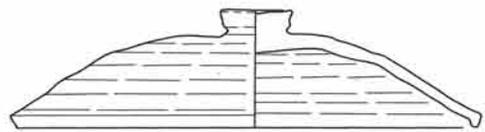
4 49-PK02 SI140



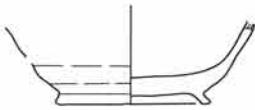
5 49-PK03 SI140



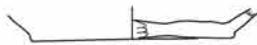
6 49-PK04



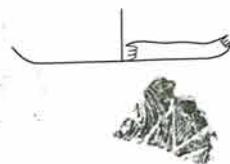
7 49-PK05



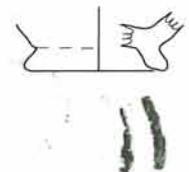
8 182-PK01 SI313



9 182-PK02 SI313

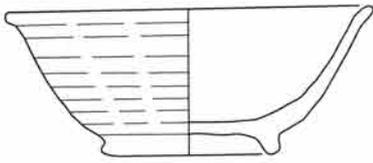


10 182-PK03 SD178

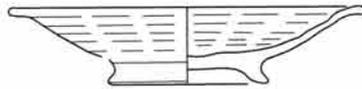


11 182-PK04 SD178

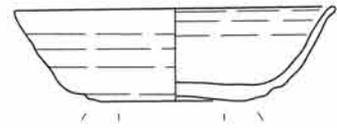
図面 27 須恵器 (2)



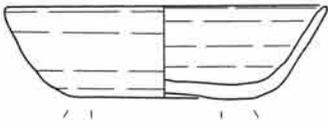
1 213-PK01 SI330



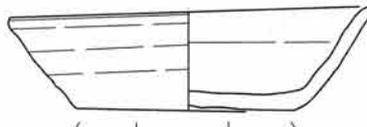
2 213-PK02 SI335



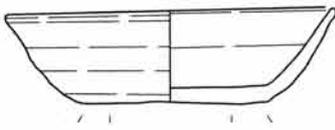
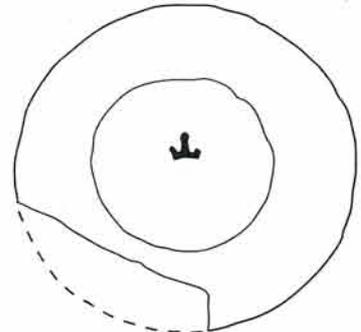
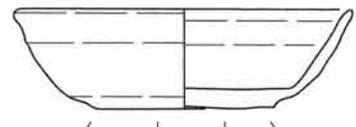
3 213-PK03 SK840



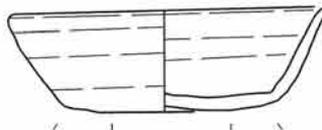
4 213-PK04 SK840



5 213-PK05 SK840



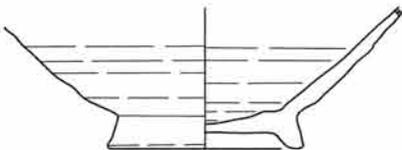
7 213-PK07 SK840



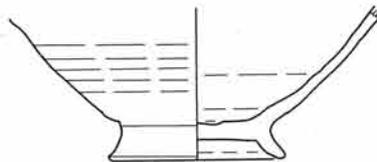
8 213-PK08 SK840



6 213-PK06 SK840



9 278-PK02 SI375

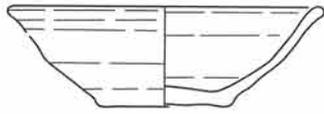


10 278-PK03 SI375

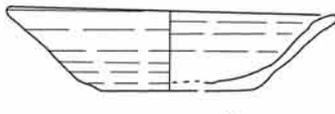


11 281-PK01 SD23

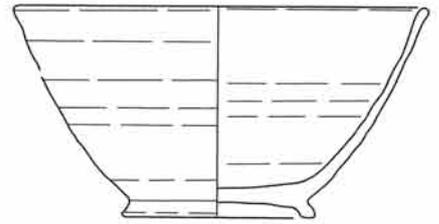
図面 28 須恵器 (3)



1 281-PK02 SD23



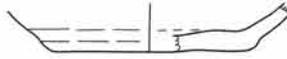
2 281-PK03 SD23



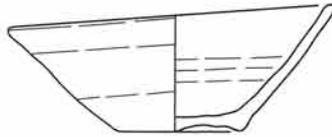
3 281-PK04 SD23



4 303-PK01 SI396



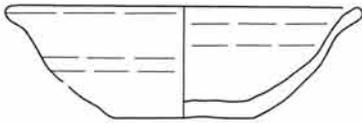
5 303-PK02 SI396



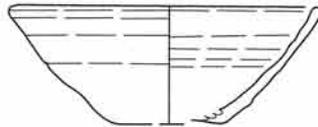
8 414-PK02 SD26



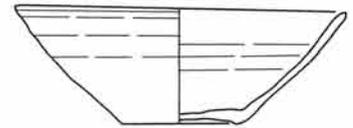
6 303-PK03



7 414-PK01 SD26



11 414-PK05 SD26



9 414-PK03 SD26



10 414-PK04 SD26



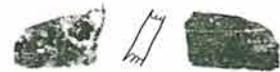
14 438-PK02 SF10 P-5



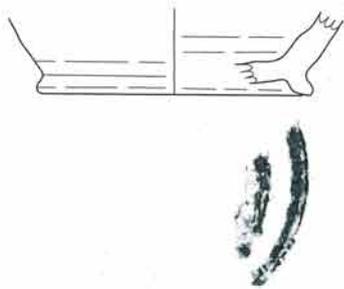
12 414-PK06 SD26



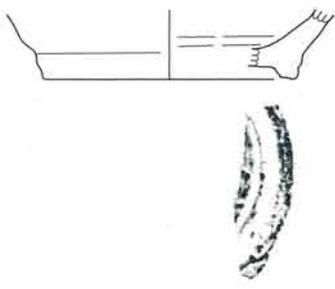
13 438-PK01 SF10 P-4



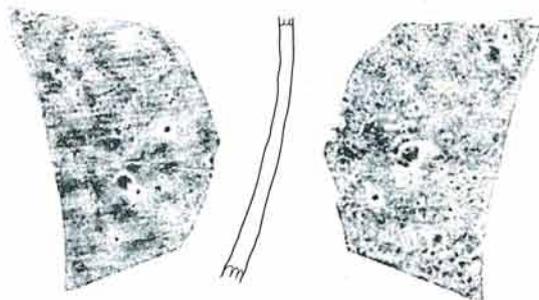
15 438-PK03 SF10 P-5



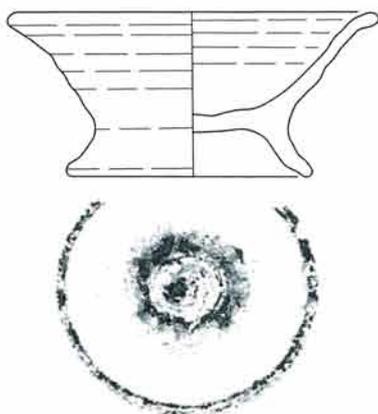
1 438-PK04 SF10 P-5



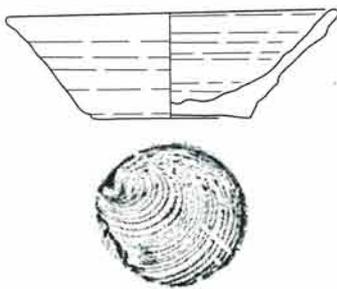
2 438-PK05 SF10 P-5



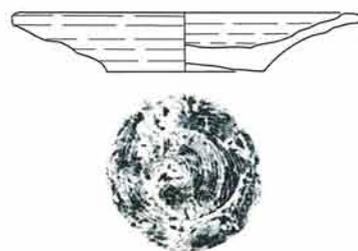
3 438-PK06



4 213-PL01 SI330



5 213-PL02 SI330



6 265-PL03



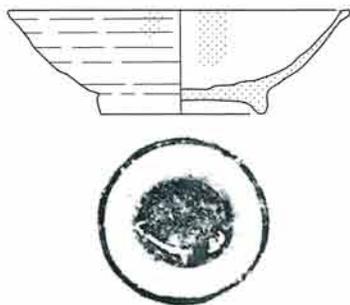
7 414-PL01 SD26



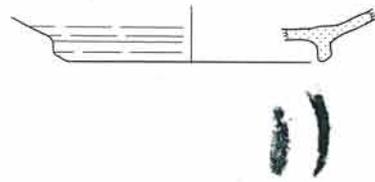
8 414-PL02



9 210-PN01 SD46



10 213-PN01 SI330



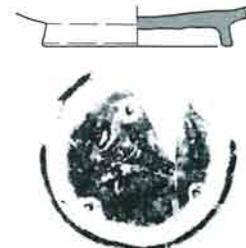
11 263-PN02



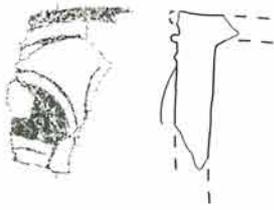
12 390-PN01 SD34



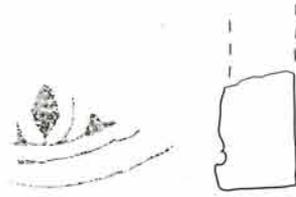
13 213-PP01



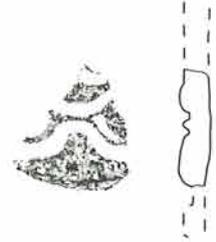
14 303-PP01 SI391



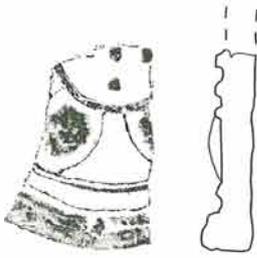
1 19-KA01 SD27



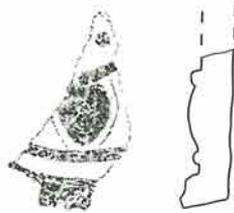
2 19-KA04



3 117-KA01



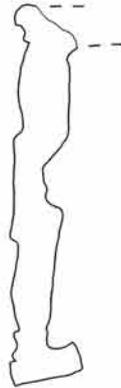
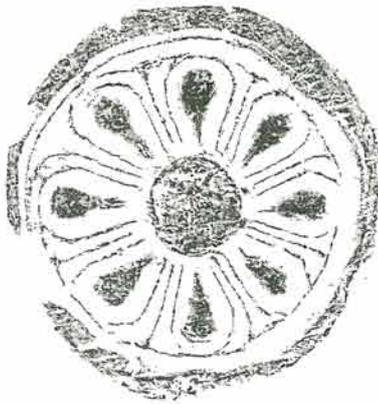
4 213-KA01 SI335



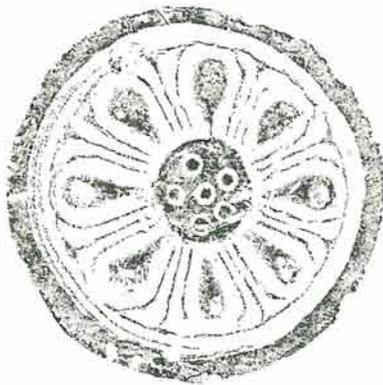
5 263-KA01



6 263-KA03



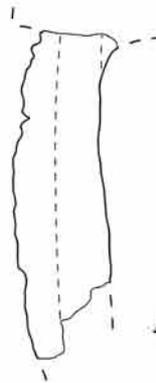
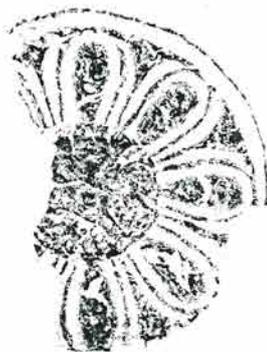
7 281-KA01 SD23



8 281-KA02 SD72



1 278-KA01 SD188



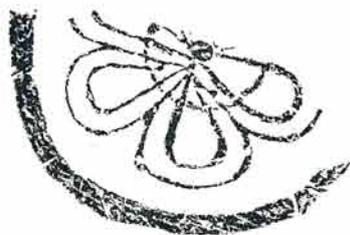
2 281-KA03 SD72



3 281-KA04 SD72



4 281-KA06



5 281-KA05



6 281-KA08

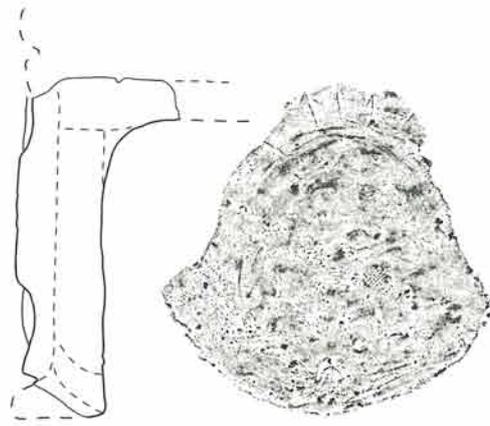
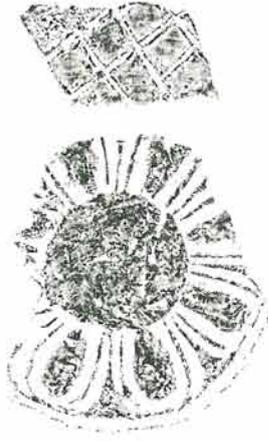


7 281-KA07

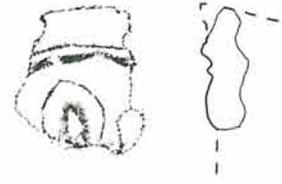


8 303-KA01 SI391

図面 32 鏡瓦 (3)



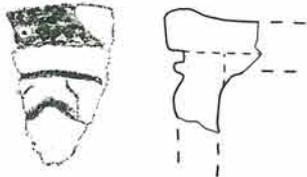
1 303-KA02 SD23



2 303-KA03 SD23



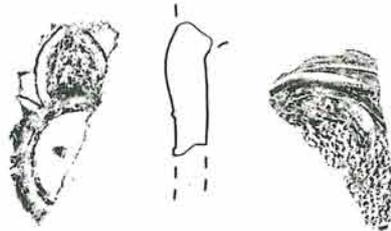
3 303-KA04 SD23



4 303-KA05 SD23



5 303-KA06



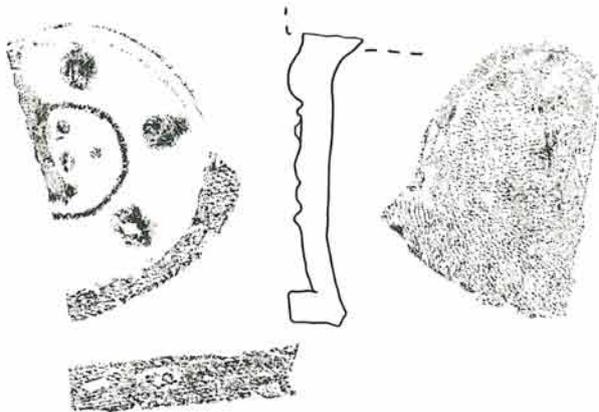
6 303-KA10



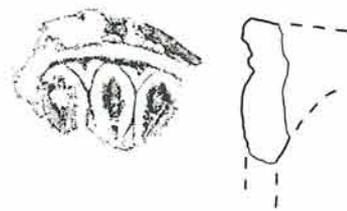
7 303-KA11



8 303-KA12



9 303-KA13



10 303-KA15



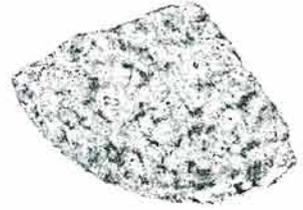
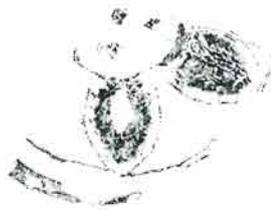
1 303-KA16



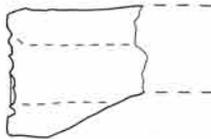
2 303-KA17



3 303-KA19



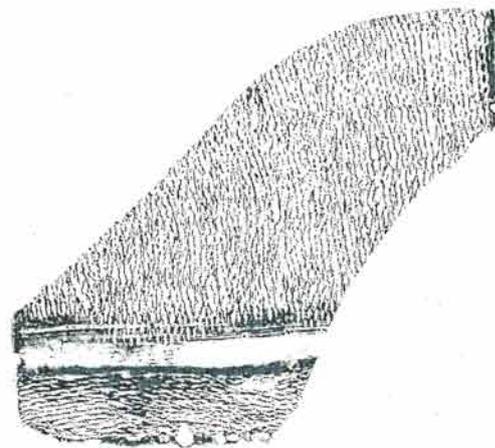
4 414-KA01 SK1546



5 19-KB01 SD27



6 19-KB03 SX1



7 19-KB02 SK130



1 19-KB04



2 19-KB06



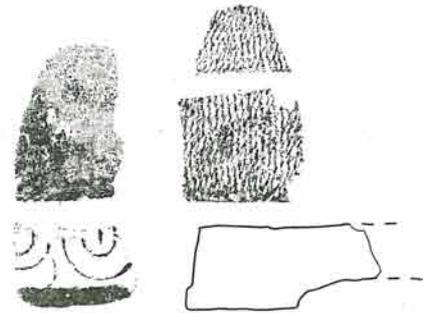
3 213-KB01 SI330



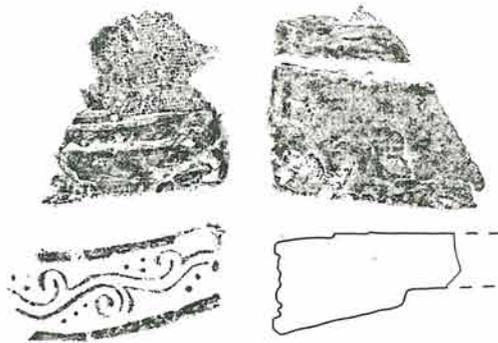
4 213-KB02 SI335



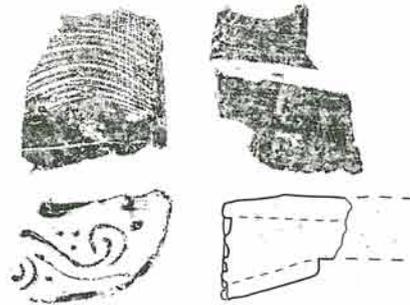
5 281-KB01



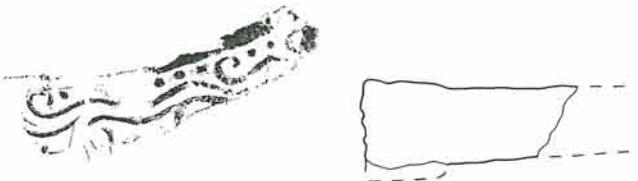
6 263-KB01



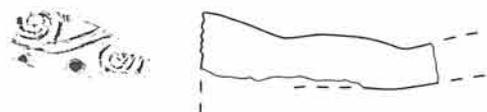
7 303-KB01 SI392



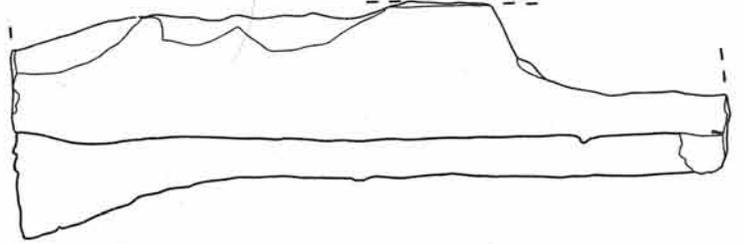
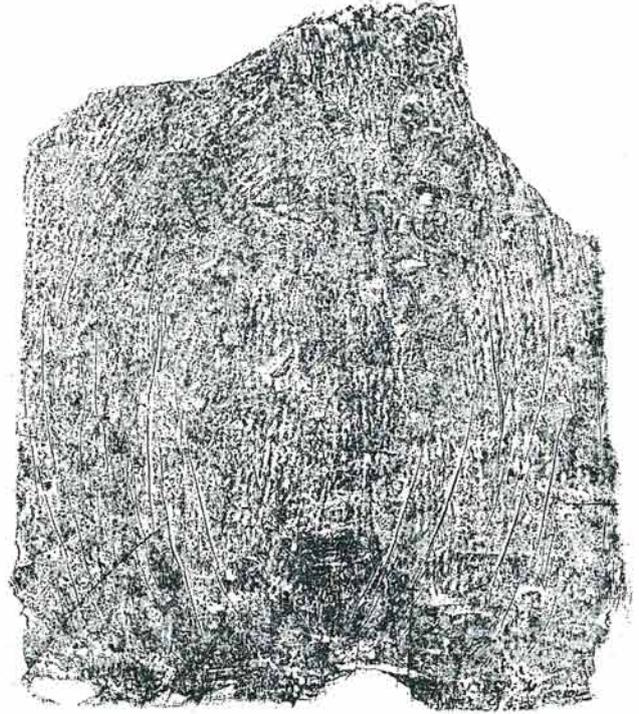
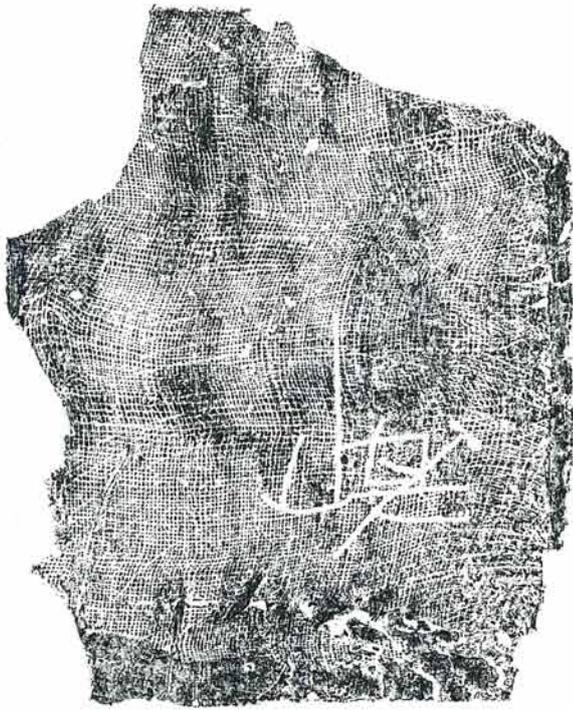
8 303-KB02 SI396



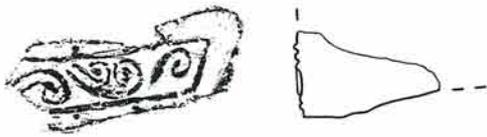
9 303-KB03 SD23



10 303-KB04 SD23



1 303-KB05 SX58



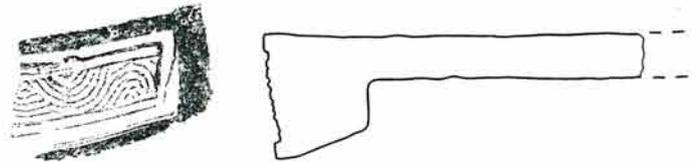
2 303-KB06



3 303-KB07



4 303-KB08



5 303-KB09



6 303-KB10



7 303-KB11

图面 36 宇瓦 (4)



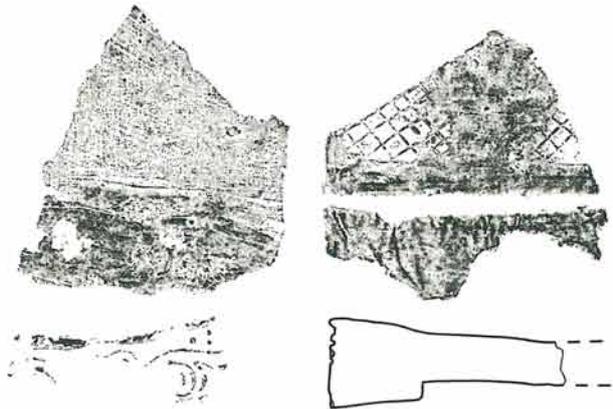
1 303-KB12

2 303-KB13

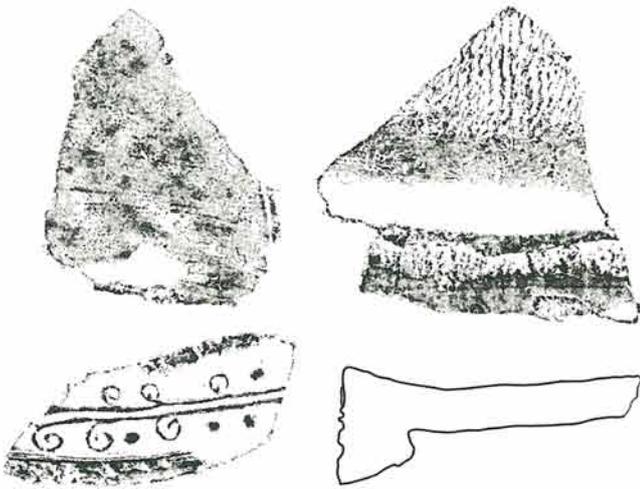
3 303-KB14



4 303-KB15



5 303-KB16



6 303-KB17

7 303-KB18

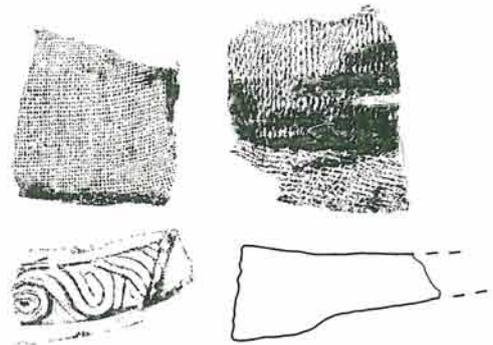


8 303-KB19

9 303-KB20

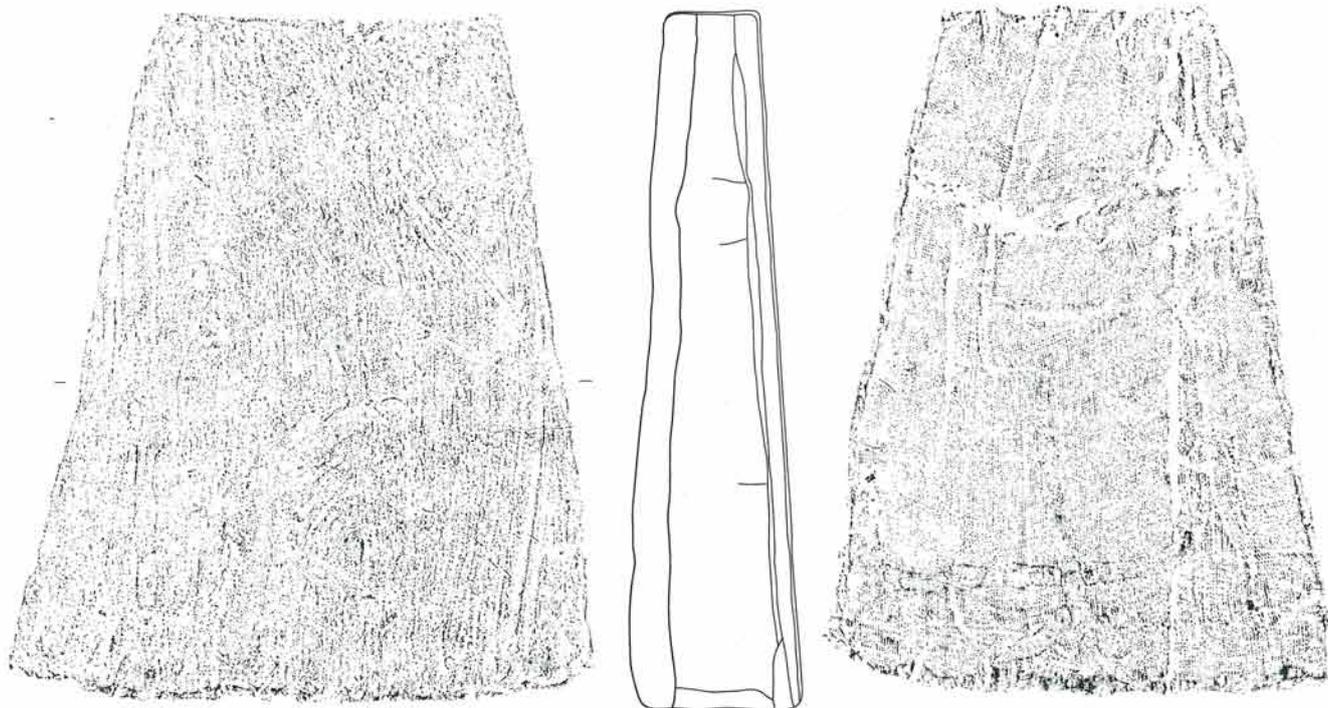


11 374-KB01

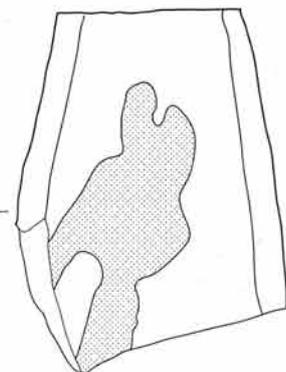
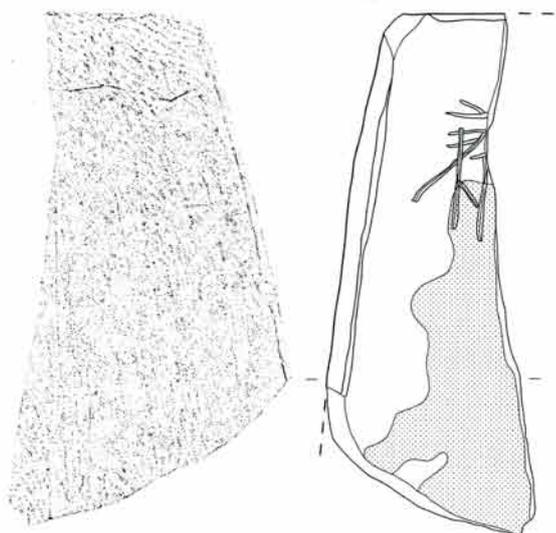


10 317-KB01 SD12

图面 37 男瓦 (1)



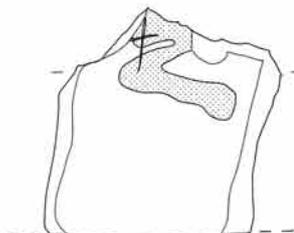
1 19-KC10 SD27



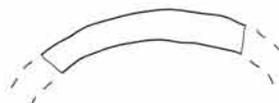
3 414-KC01 S

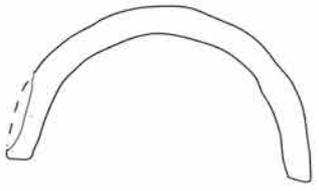
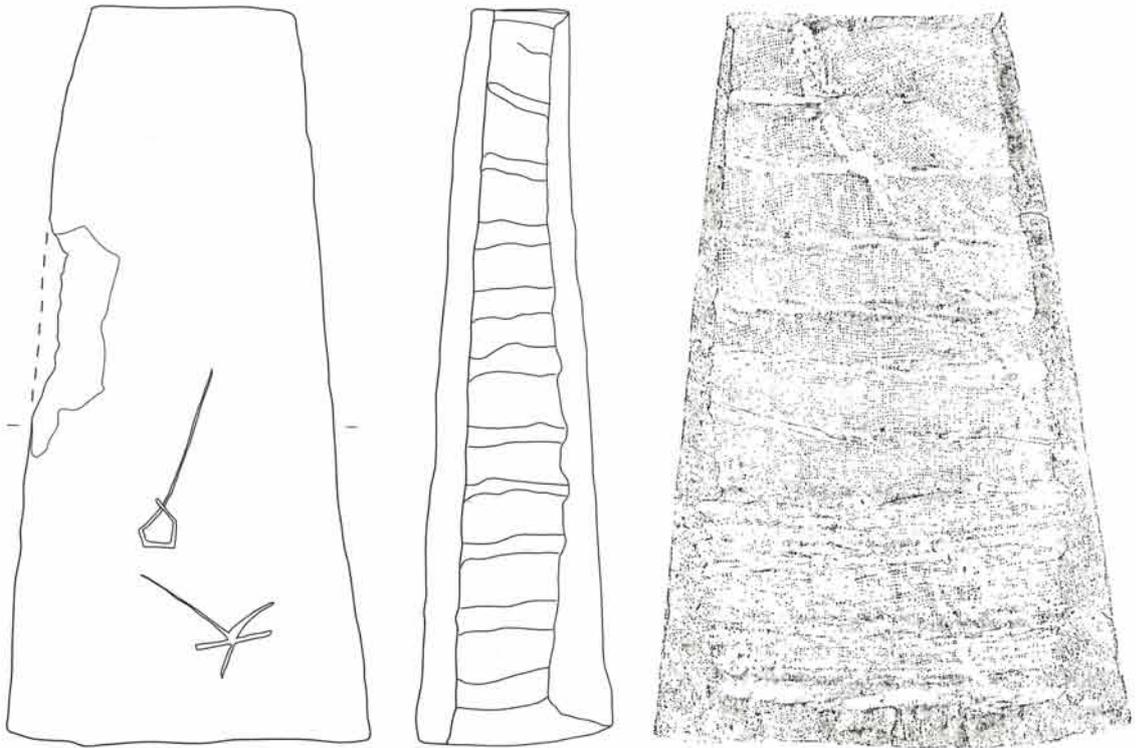


2 19-KC15 SK130

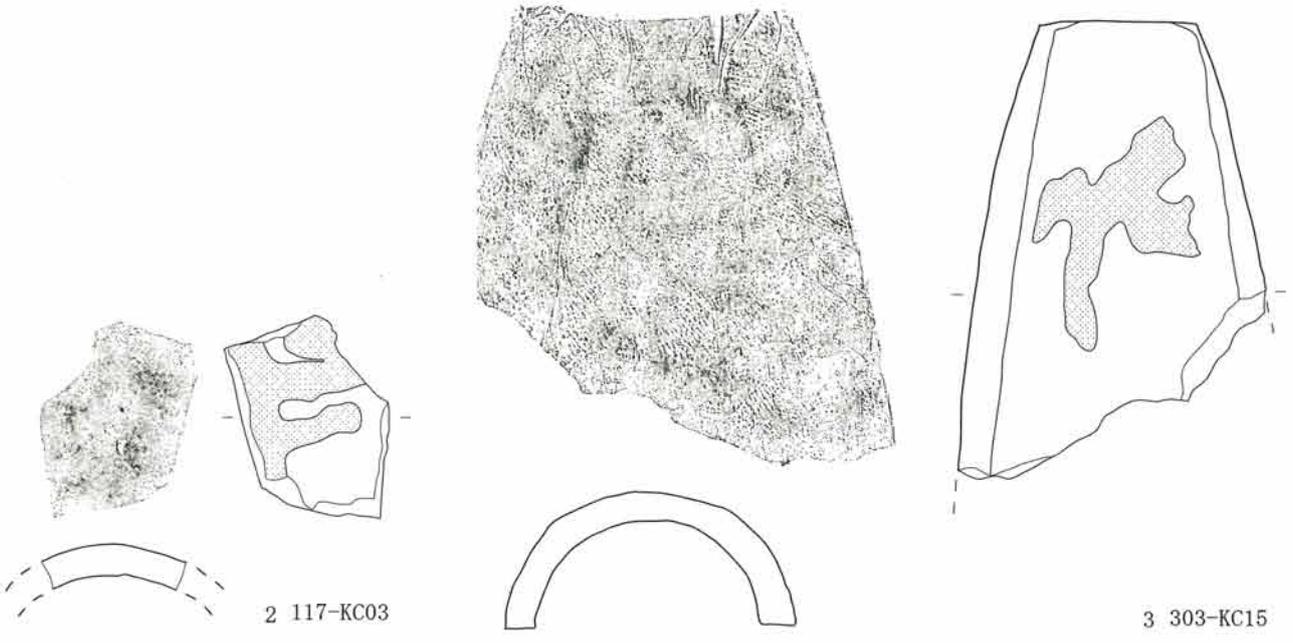


4 303-KC50





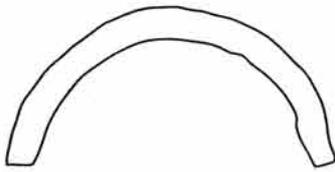
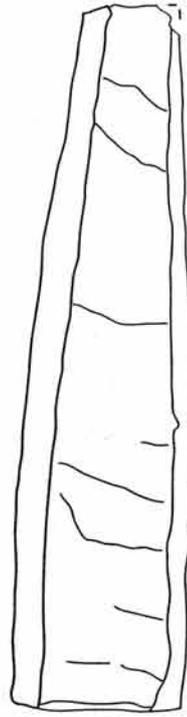
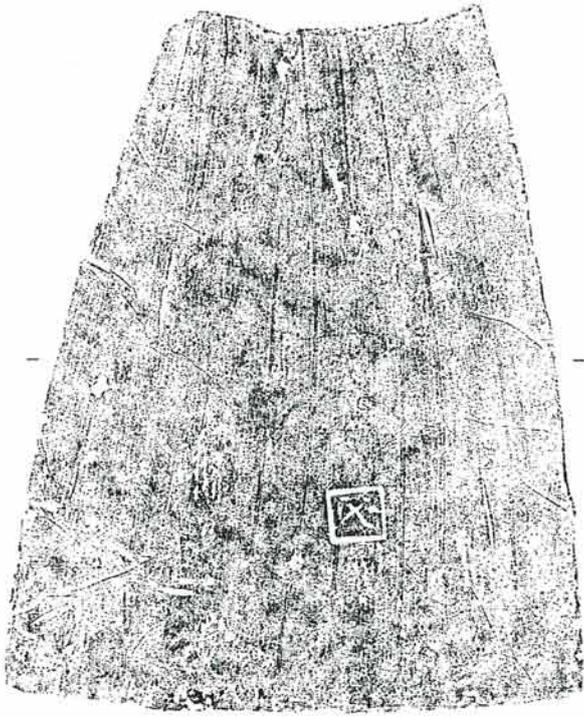
1 303-KC06 SD23



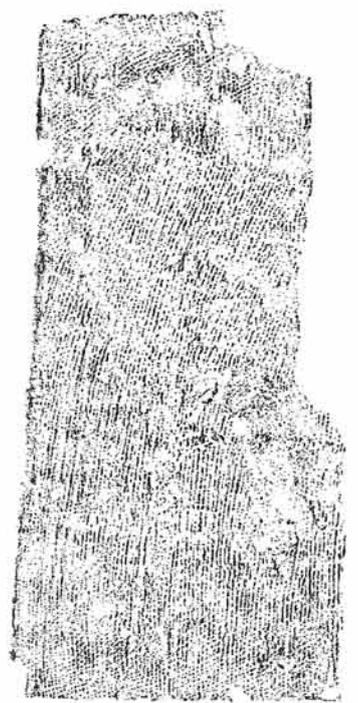
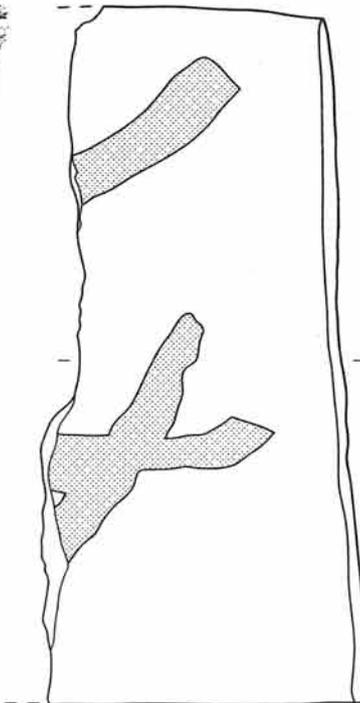
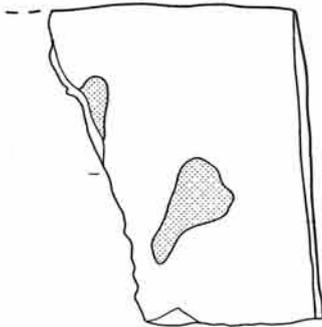
2 117-KC03

3 303-KC15

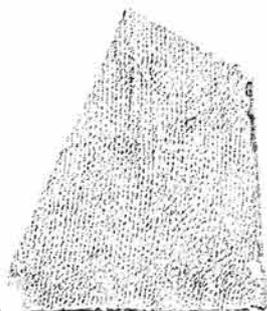
図面 39 男瓦 (3)、女瓦 (1)



1 303-KC12 SK1128



2 19-KD02 SD27

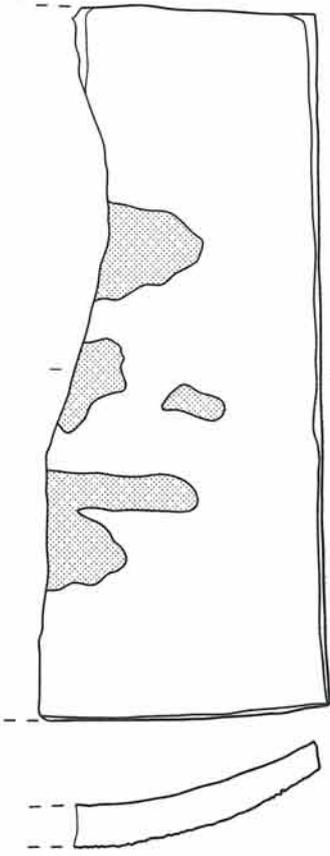


4 19-KD05 SD27

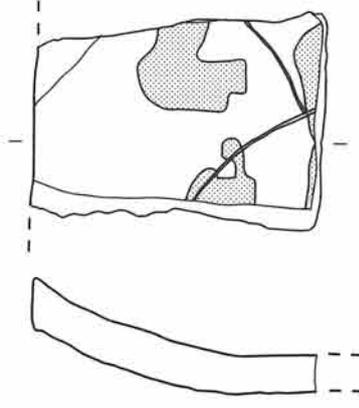
3 19-KD24 SK130



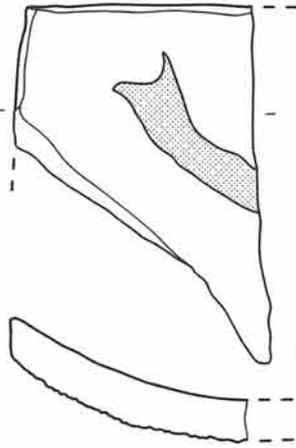
图面 40 女瓦 (2)



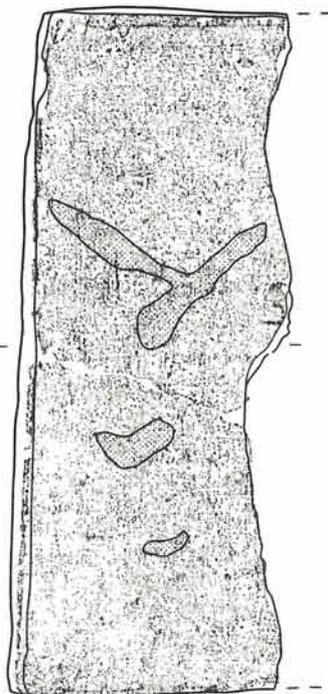
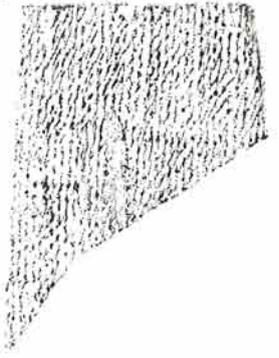
1 19-KD10 SD27



2 19-KD25



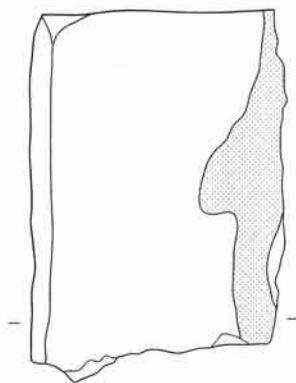
3 19-KD44



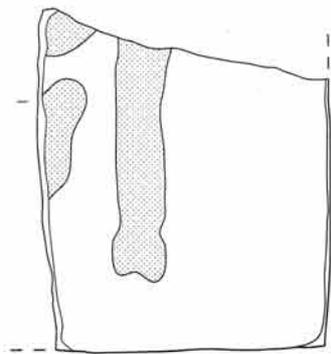
4 19-KD11 SD27



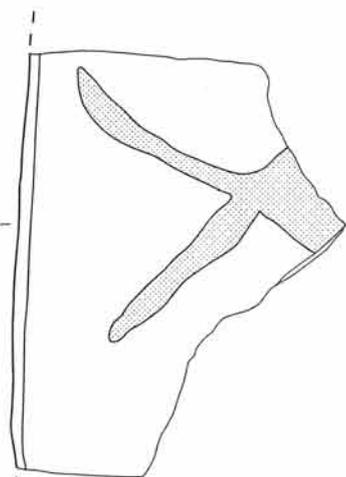
图面 41 女瓦 (3)



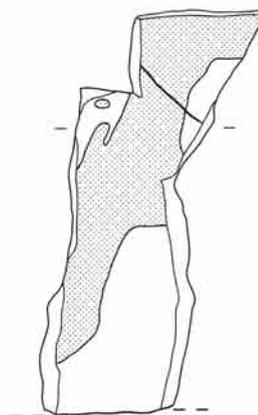
1 19-KD14 SD27



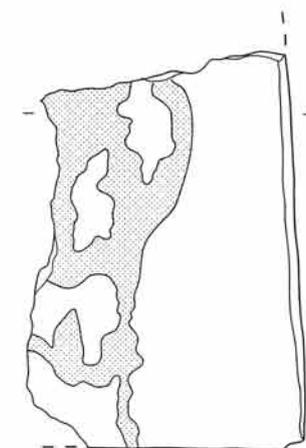
2 19-KD16 SD27



3 19-KD18 SK130



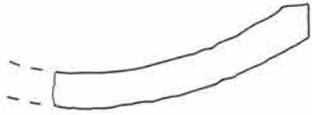
4 19-KD07 SD27



5 19-KD27 SK130



6 281-KD07 SD72



1 281-KD03 SD72



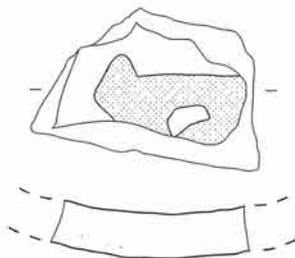
2 281-KD05 SD72



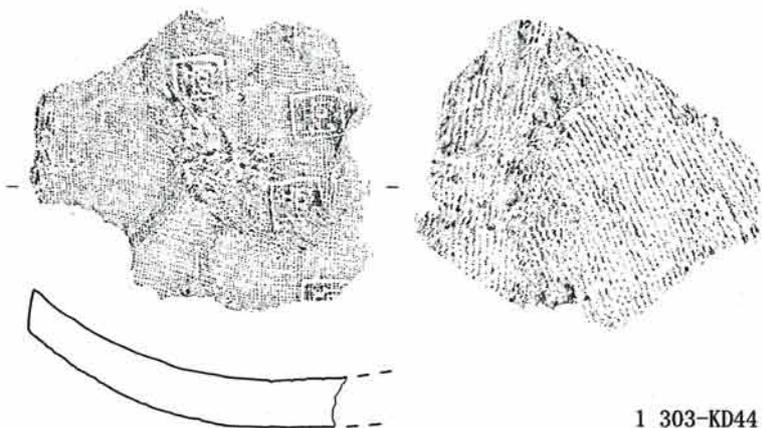
3 281-KD06 SD72



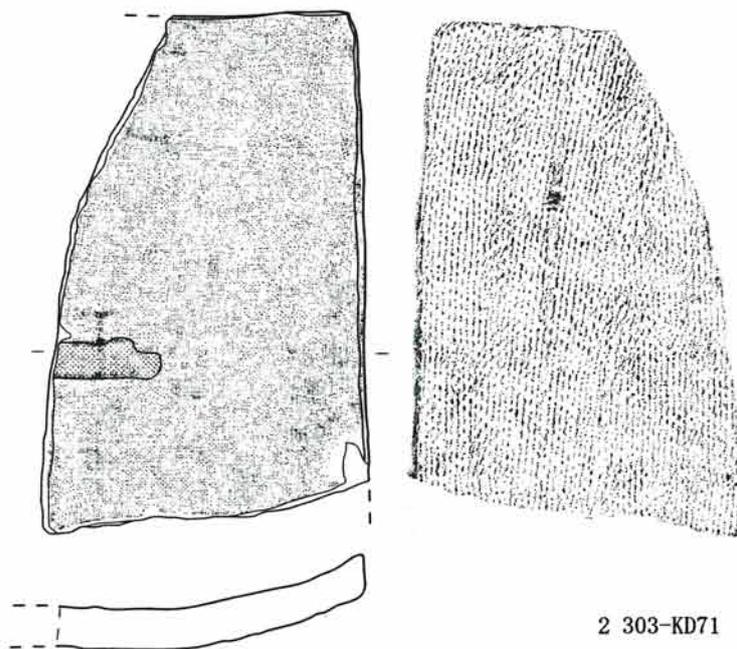
4 281-KD08 SD72



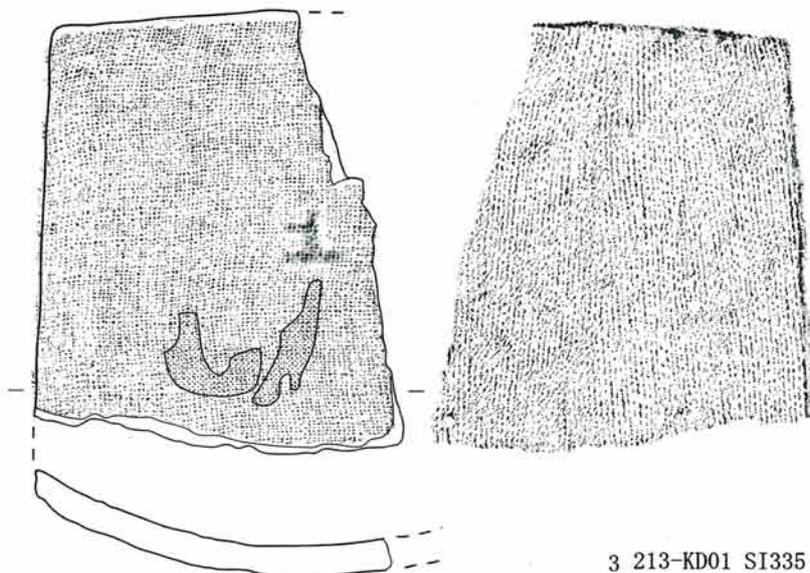
5 303-KD58



1 303-KD44

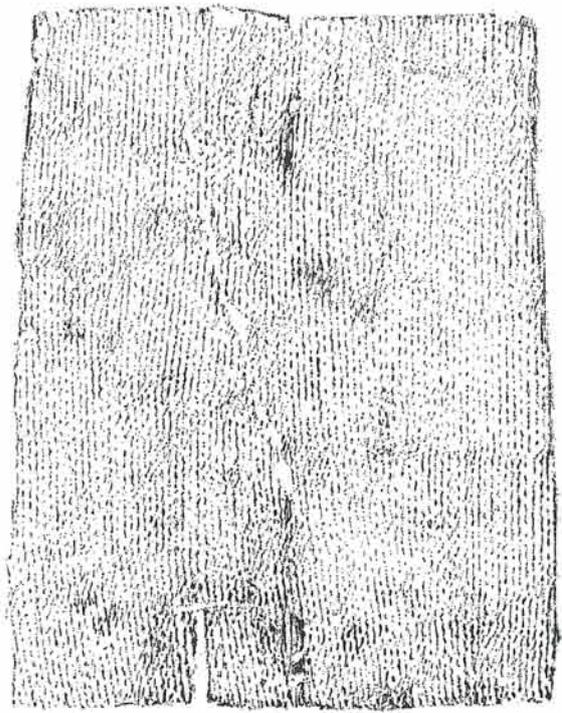


2 303-KD71



3 213-KD01 SI335

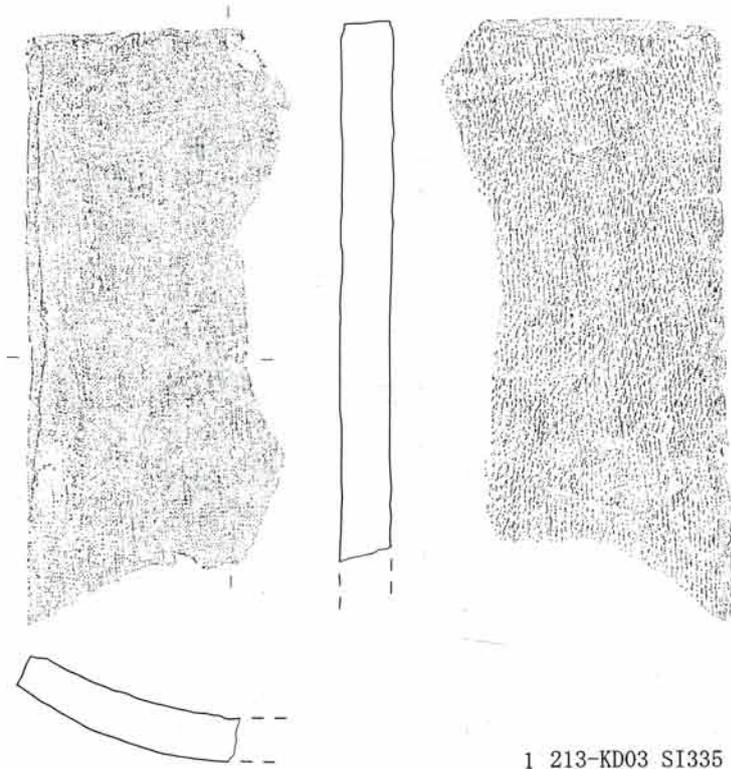
図面 44 女瓦 (6)



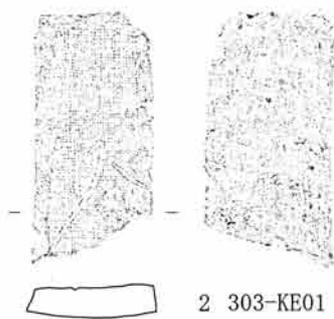
1 213-KD04 SI330



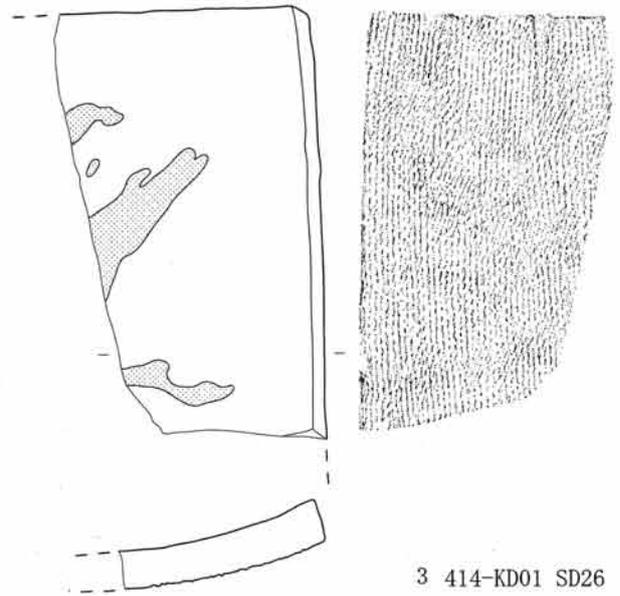
2 213-KD02 SI330



1 213-KD03 SI335



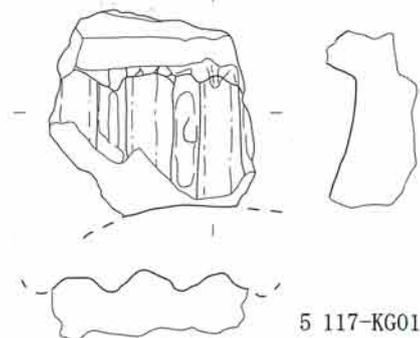
2 303-KE01



3 414-KD01 SD26



4 278-KE01 SD188



5 117-KG01



1 19-KC01 SB38



2 19-KC17 SK131



3 19-KC21 SK131



4 19-KC36



5 19-KC38



6 19-KC40



7 19-KC41



8 19-KD06 SD27



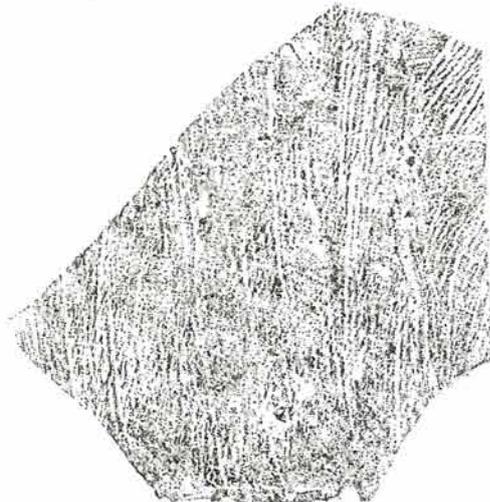
9 19-KD03 SD27



10 19-KD08 SD27



11 19-KD04 SD27



12 19-KD26 SD130



1 19-KD17 SK130



2 19-KD28 SK130



3 19-KD31 SK131



4 19-KD33 SX1



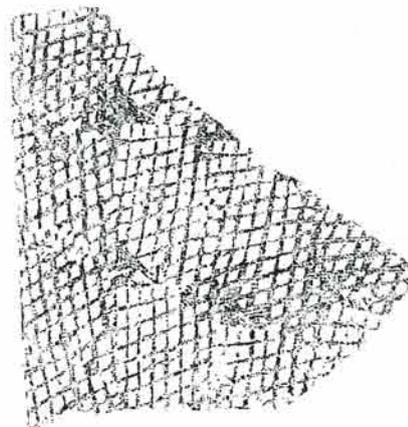
5 19-KD34 SX1



6 19-KD41



7 19-KD09 SD27



8 19-KD40



9 117-KD01 SK574



10 117-KC01



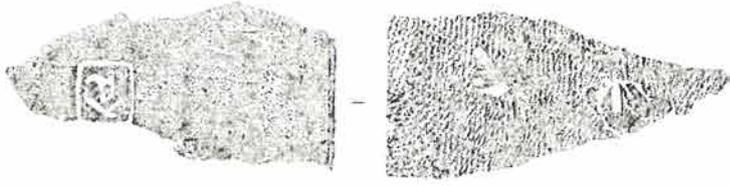
11 278-KC01



13 117-KD02



12 117-KC05



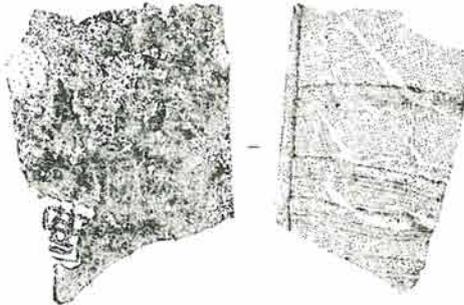
1 117-KD03



2 303-KC02 SI391



3 303-KC03 SI392



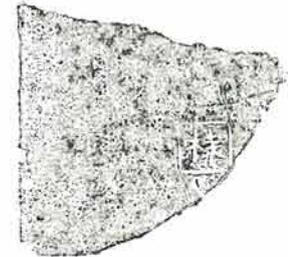
4 303-KC04 SD23



5 303-KC05 SD23



6 303-KC09 SD23



7 303-KC10 SD23



8 303-KD04 SI392



9 303-KC16



10 303-KC35



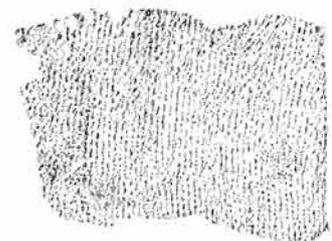
11 303-KD15 SX58

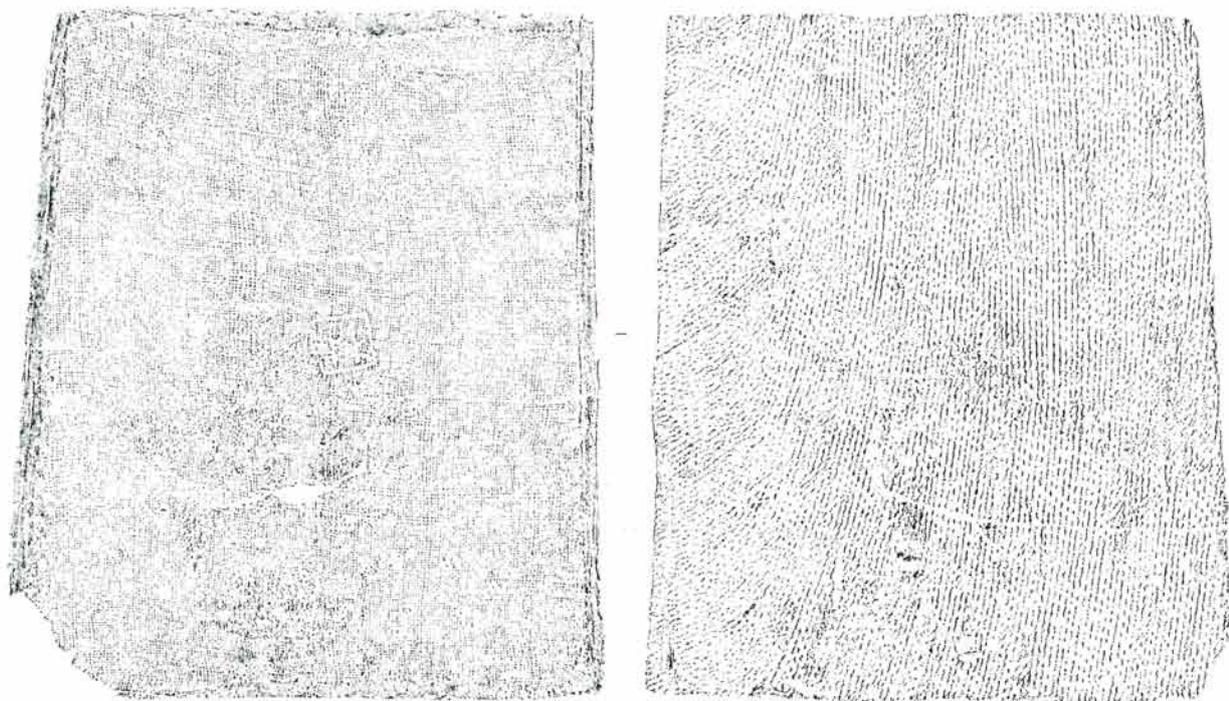


12 303-KD16



13 303-KD43

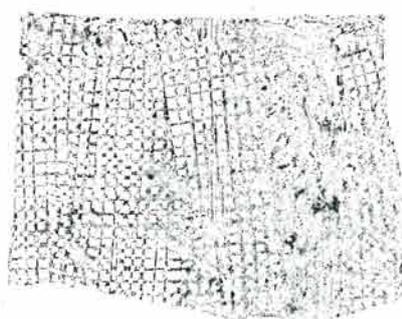




1 303-KD06 SD23



2 303-KD07 SD23



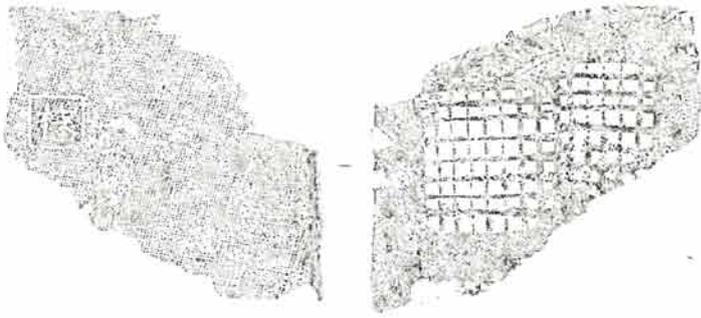
3 303-KD11 SD23



4 303-KD30



5 303-KD31



1 303-KD34



2 303-KD49 (S=1/2)



3 303-KD56



4 303-KD38



5 303-KD91



6 374-KC01



7 303-KD50



8 19-KD45



9 263-KD05



10 281-KD09



11 303-KC23



12 303-KD21



13 303-KD39



14 303-KD52



15 303-KD55



16 49-KD02 SI140



1 303-KD72



2 303-KD80



3 303-KD93 (S=1/2)



4 427-KD01 SF1



5 19-KC18 SK131



6 19-KC19 SK131



7 19-KC20 SK131



8 19-KC22 SK131



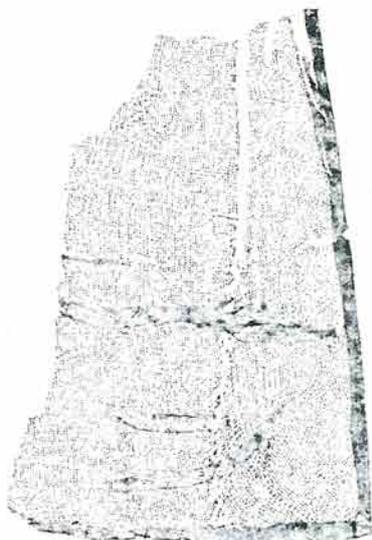
9 19-KC34



10 19-KC23 SK131



11 19-KD30 SK130



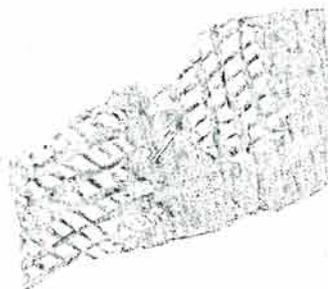
12 117-KC04



13 19-KD38



14 117-KC02



15 117-KD05



1 263-KD06



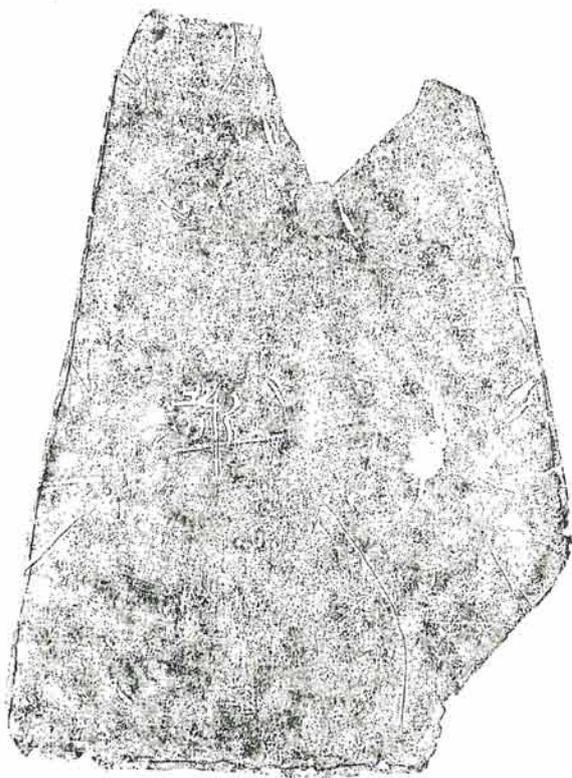
2 281-KH01



3 303-KC07 SD23



4 303-KC08 SD23



5 303-KC11 SX58



6 303-KC13



7 303-KC18



8 303-KC19



9 303-KC22



10 303-KC30



11 303-KC27



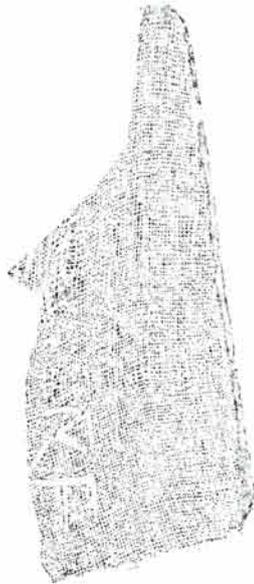
1 303-KC14



4 303-KC54



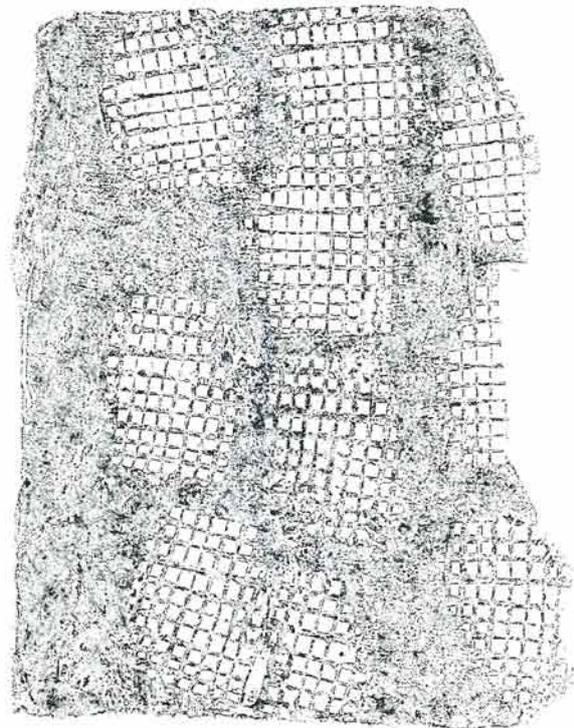
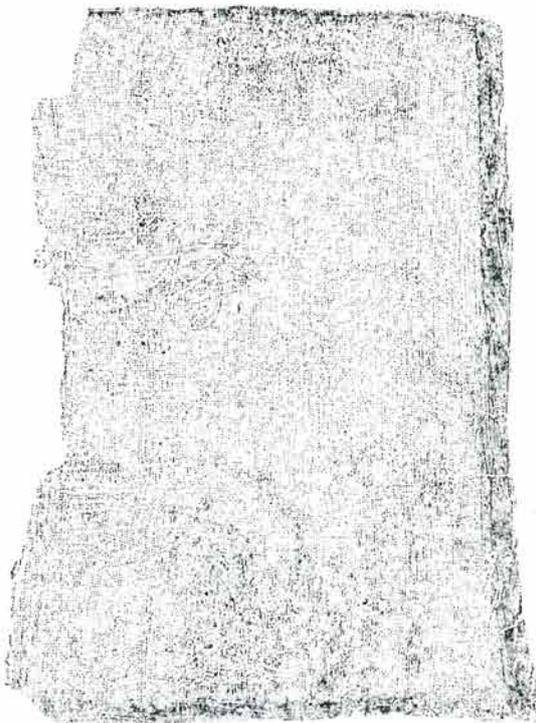
2 303-KC51



3 303-KC29



5 303-KD08 SD23



6 303-KD05 SD23



7 303-KD14 SD23



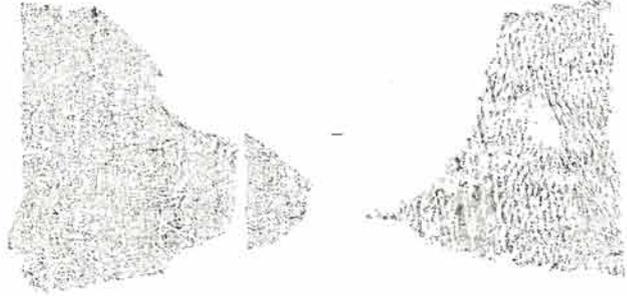
8 303-KD17



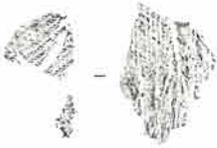
1 303-KD13 SD23



2 303-KD32



3 303-KD42



4 303-KD26



5 303-KD45



6 303-KD63



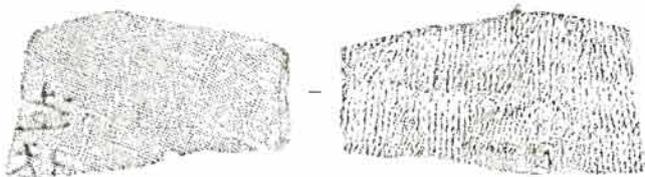
7 303-KD75



8 303-KD94 SI392(S=1/2)



9 414-KD02 SD26



10 19-KD19 SK130



11 19-KD39



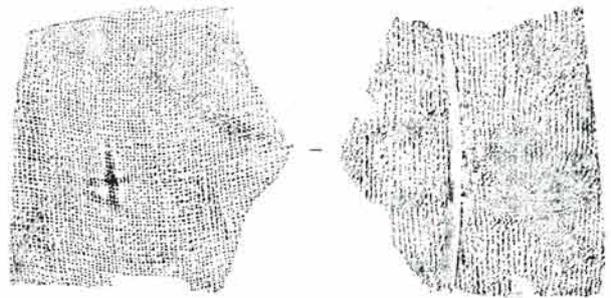
1 49-KD01 SI133



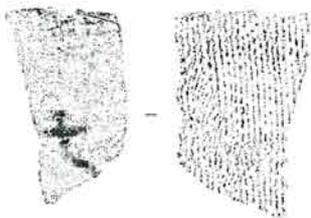
2 263-KD04



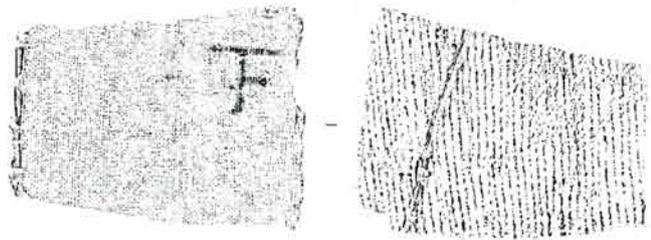
3 303-KD74



4 303-KD36



5 303-KD60



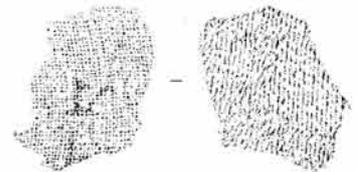
6 303-KD37



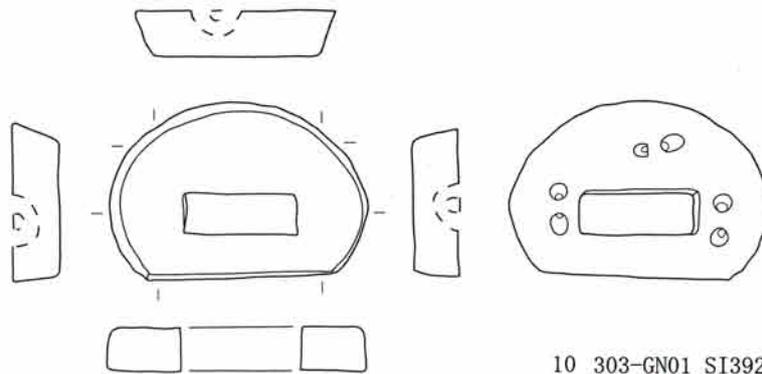
7 303-KD53



8 303-KD51



9 303-KD65



10 303-GN01 SI392

圖 版



1. 第19次調査区 東半全景(南から)



2. 第19次調査区 西半全景(東から)



3. 第414次調査区 全景(北から)



4. 第117次調査区 SB38礎石建物北妻据え方列(西から)



5. 第19次調査区 SB38礎石建物据え方2-2平面(南から)



6. 第19次調査区 SB38礎石建物据え方5-3土層断面(東から)



7. 第19次調査区 SA2掘立柱塀プラン全景(北から)



1. 第117次調査区 SA2 掘立柱塀柱穴平面(北から)



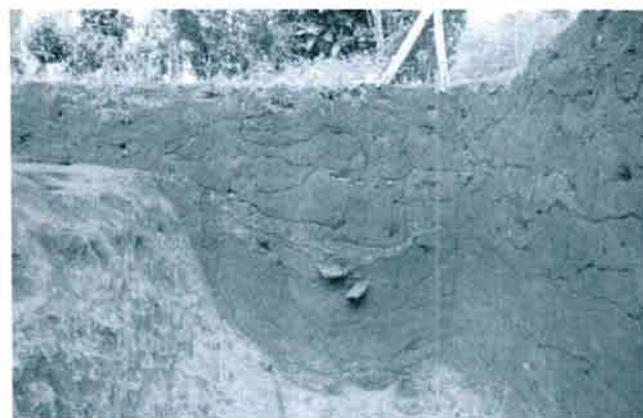
2. 第19次調査区 SA2 掘立柱塀柱穴アタリ(南から)



3. 第19次調査区 SA2 掘立柱塀・SX1 硬質面土層断面(北から)



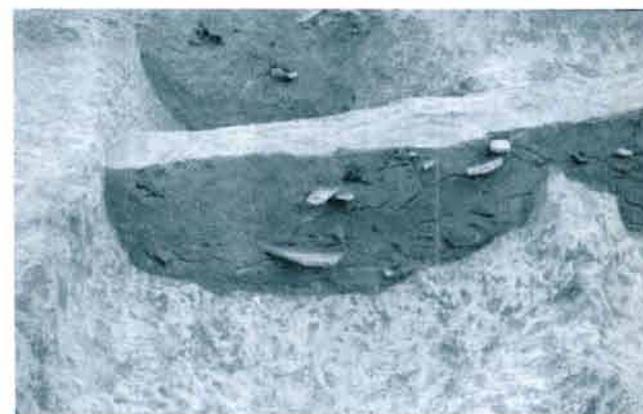
4. 第414次調査区 SD26 溝土層断面(南から)



5. 第19次調査区 SD27 溝土層断面(南から)



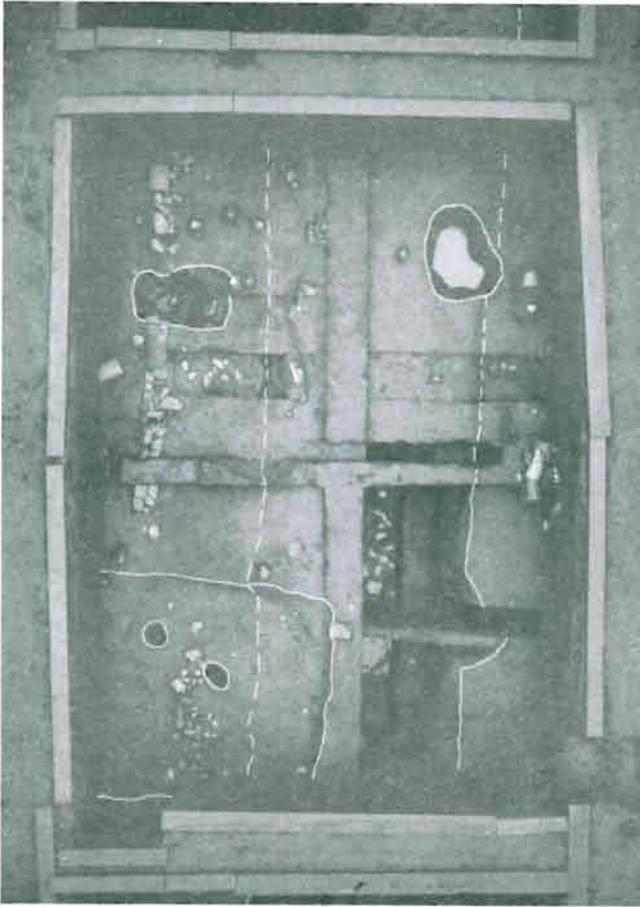
6. 第19次調査区 SK130 土坑遺物出土状況(東から)



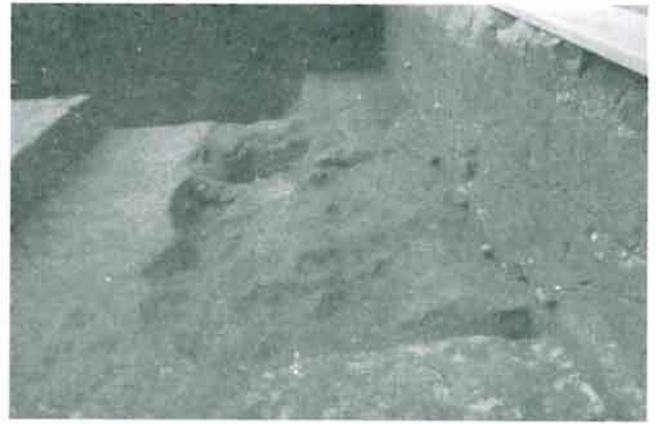
7. 第19次調査区 SK131 土坑土層断面(北から)



8. 第19次調査区 SK131 土坑遺物出土状況(東から)



1. 調査区全景



2. SI391 住居全景（東から）



3. SI392 住居遺物出土状況（北から）



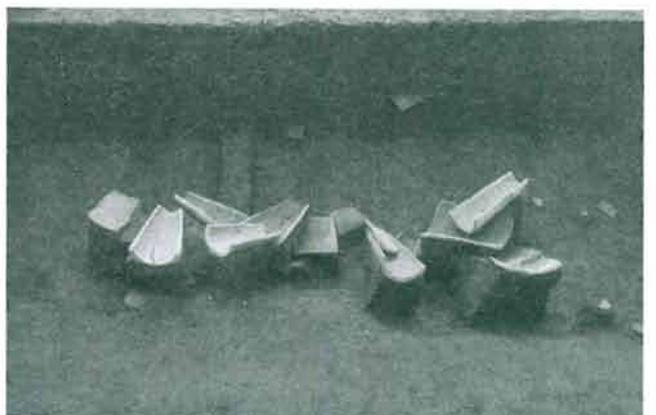
3. SD23 溝土層断面（北から）



4. SX57 瓦列プラン全景（南から）



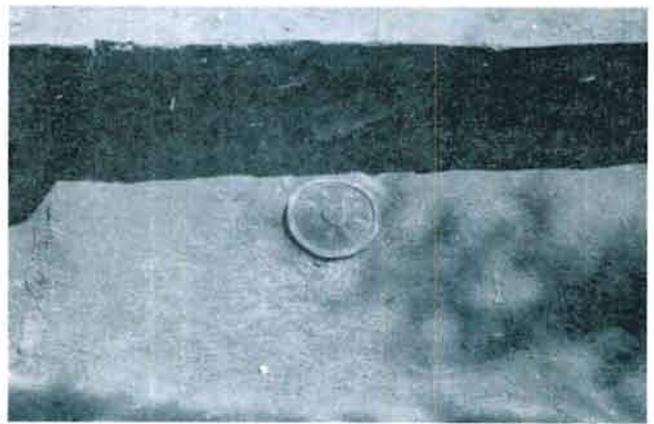
5. SX57 瓦列接写（東から）



6. SX58 瓦列遺物出土状況（東から）



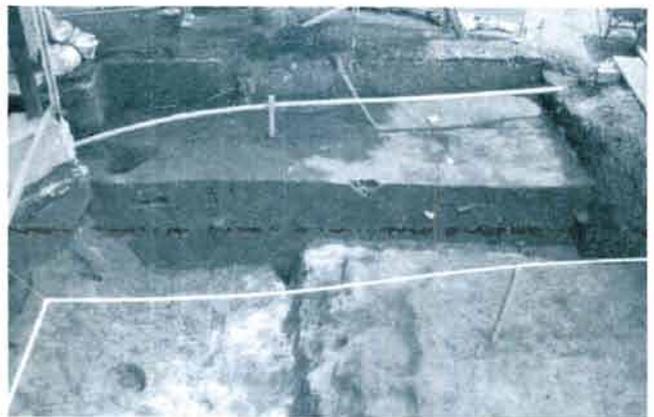
1. 第281次調査区 SD72溝土層断面（北から）



2. 第281次調査区 SD72溝遺物出土状況（東から）



3. 第281次調査区 SD23溝土層断面（東から）



4. 第281次調査区 SD23溝・SD72溝交点土層断面（北から）



5. 第512次調査区 SD42溝土層断面（西から）



6. 第346次調査区 全景（北から）



7. 第346次調査区
SD34溝・SX5通路状遺構土層断面（西から）



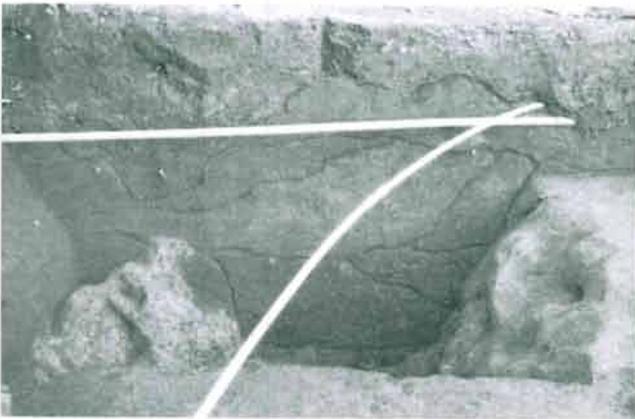
8. 第346次調査区 SD34溝土層断面（西から）



1. 第 346 次調査区 SD34 溝遺物出土状況 (西から)



2. 第 187 次調査区 SD180 溝全景 (東から)



3. 第 187 次調査区 SD180 溝土層断面 (東から)



4. 第 552 次調査区 A トレンチ全景 (南から)



5. 第 552 次調査区 B トレンチ全景 (南から)



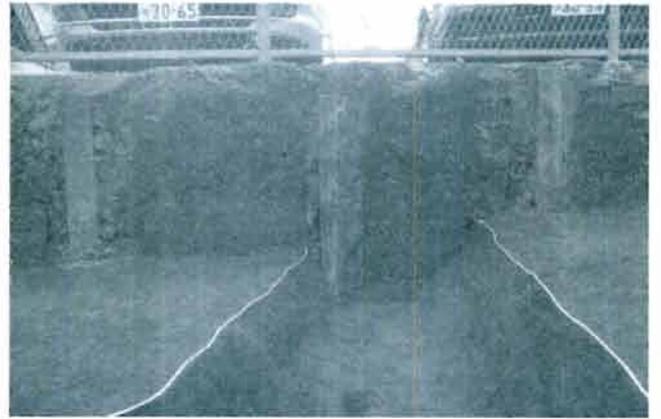
6. 第 427 次調査区 全景 (東から)



7. 第 427 次調査区 SD202 溝硬質面プラン (北から)



1. 第 427 次調査区 SD202 溝土層断面 (南から)



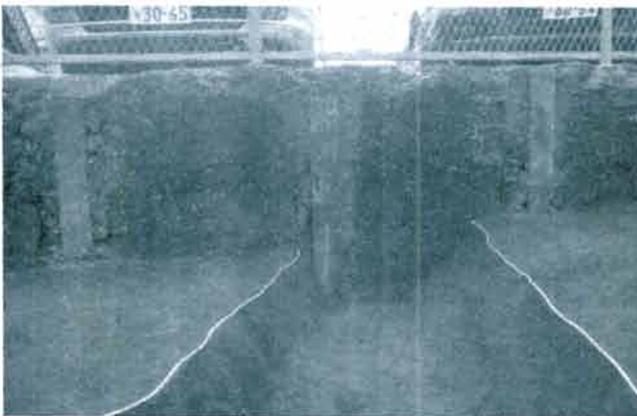
2. 第 427 次調査区 SD201 溝土層断面 (南から)



3. 第 263 次調査区 SD201 溝・SD202 溝全景 (東から)



4. 第 263 次調査区 SD202 溝土層断面 (南から)



5. 第 263 次調査区 SD201 溝土層断面 (南から)



6. 第 217 次調査区 SD188 溝土層断面 (北から)



7. 第 217 次調査区 SD188 溝・SD189 溝全景 (東から)



1. 第217次調査区 SD189 溝土層断面（北から）



2. 第278次調査区 SI375 住居構築時全景（北から）



3. 第278次調査区 SD188 溝全景（南から）



4. 第278次調査区 SD201 溝全景（北から）



5. 第182次調査区 SI313 住居全景（東から）



6. 第182次調査区 SD178 溝全景（北から）



7. 第182次調査区 SD178 溝全景（南から）



8. 第213次調査区 SI330A 住居カマド土層断面（西から）



1. 第 213 次調査区 SD187 溝硬質面プラン (南から)



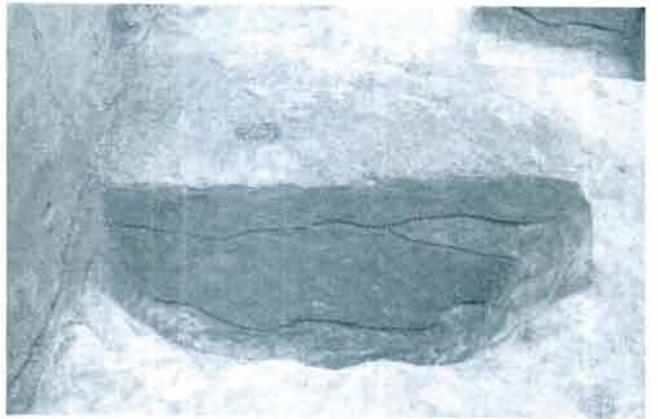
2. 第 213 次調査区 SK840 土坑土層断面 (北から)



3. 第 210 次調査区 A トレンチ SD46 溝・SK818 土坑全景 (南から)



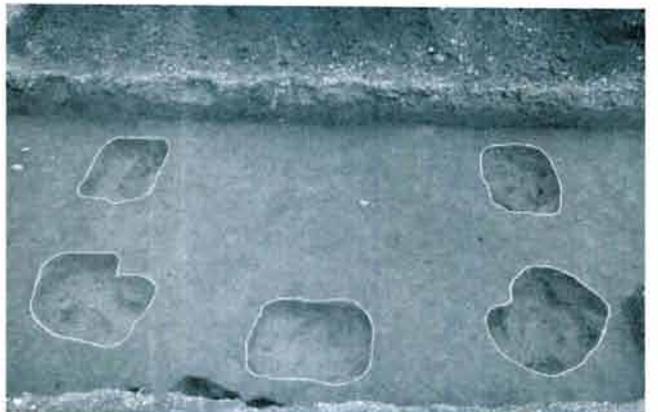
4. 第 210 次調査区 B トレンチ SD46 溝全景 (南から)



5. 第 210 次調査区 SK818 土坑土層断面 (西から)



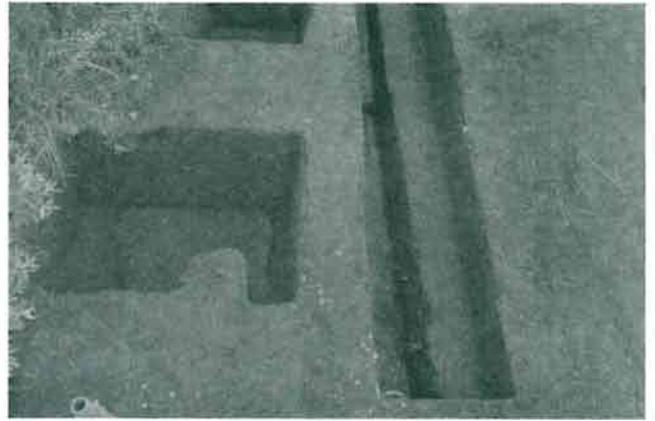
6. 第 321 次調査区 SB108 掘立柱建物プラン (南から)



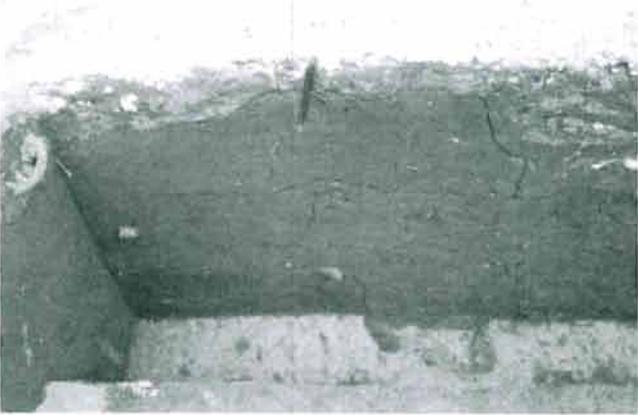
7. 第 321 次調査区 SB108 掘立柱建物全景 (北から)



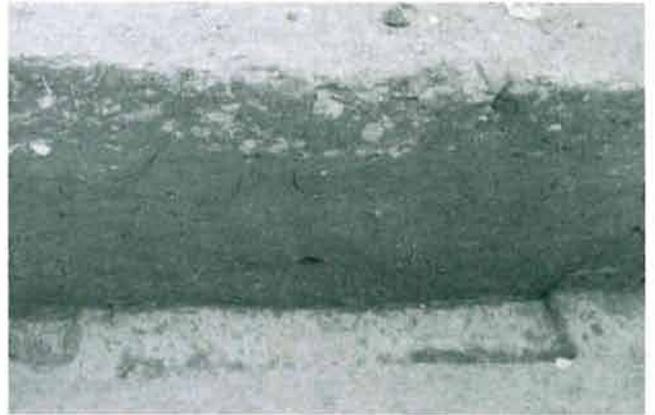
1. 第321次調査区
SB109・110 掘立柱建物、SI402J プラン（東から）



2. 第49次調査区 SI140 住居全景（北から）



3. 第49次調査区 SX8 地業遺構南北土層断面南半（西から）



4. 第49次調査区 SX8 地業遺構南北土層断面北半（西から）



5. 第49次調査区 SD51 溝全景（南から）



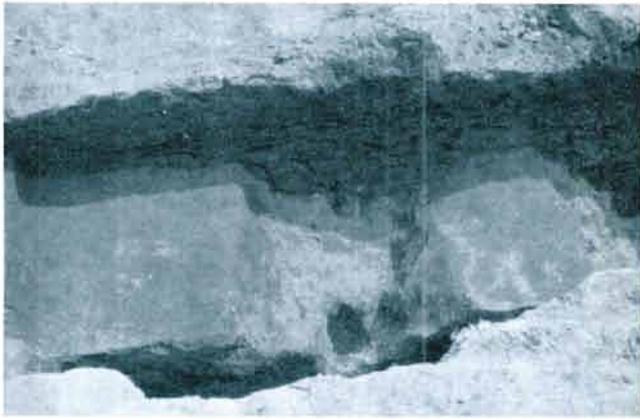
6. 第317次調査区 SF1 道路・SD12 溝交点プラン（北から）



7. 第317次調査区 SF1 道路・SD12 溝交点土層断面（東から）



8. 第317次調査区 SD12 溝土層断面（西から）



1. 第 317 次調査区 SD13 溝土層断面 (西から)



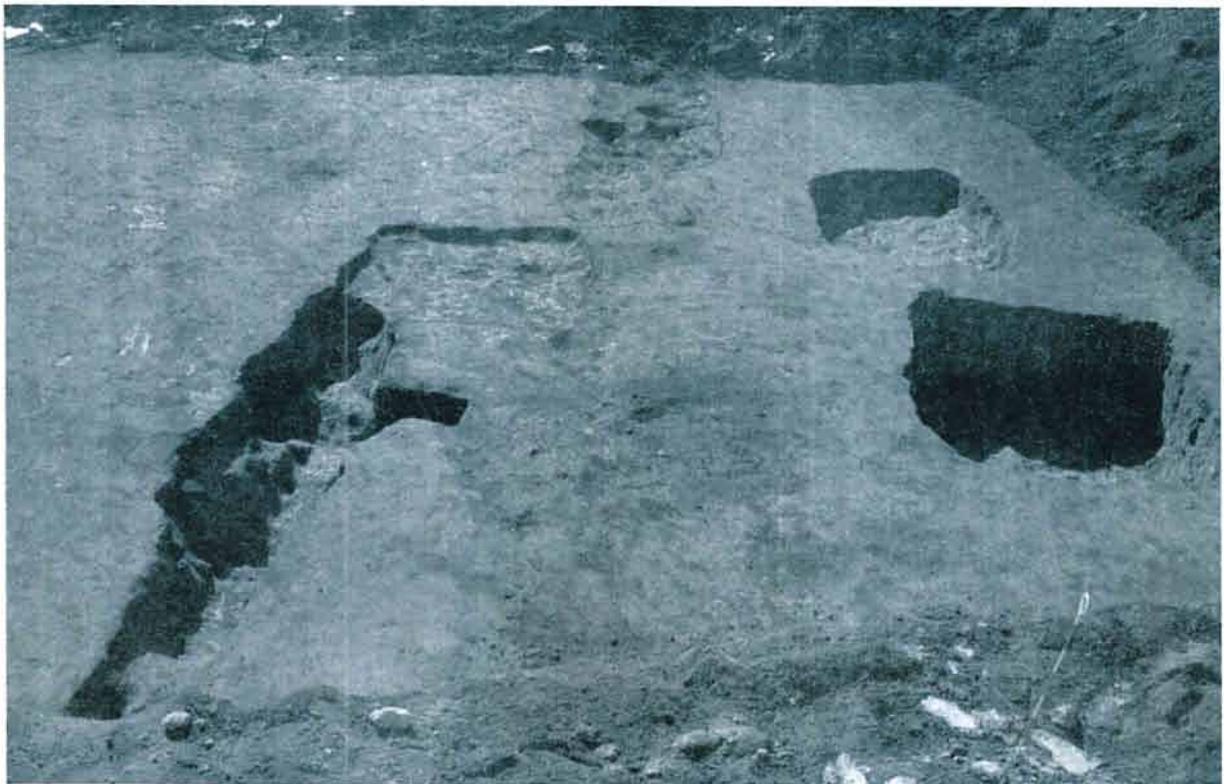
2. 第 438 次調査区 SF10 道路全景 (南から)



3. 第 438 次調査区 SF10 道路接写 (北西から)



4. 第 438 次調査区
SF10 道路内小穴遺物出土状況 (西から)



5. 第 438 次調査区
SF1 道路・SK1771～SK1773 土坑全景 (北から)



1
49-PH01



2
49-PH02



3
213-PH01



4
213-PH02



5
414-PH01



6
19-PK01



7
19-PK02



8
49-PK01



9
49-PK04



10
49-PK02



11
49-PK03



12
49-PK05



13
182-PK01



14
182-PK02



15
182-PK03



1
182-PK04



2
213-PK01



3
213-PK02



4
213-PK03

5
213-PK04

6
213-PK05



7
213-PK06

8
213-PK07

9
213-PK08



10
278-PK02



11
278-PK03



12
281-PK01



1
281-PK02



2
281-PK03



3
281-PH04



4
414-PK01



5
414-PK02



6
414-PK03



7
414-PK04



8
414-PK05



9
414-PK06



10
438-PK01



11
438-PK02



12
438-PK04



13
438-PK05



14
213-PL01



15
213-PL02



16
265-PL03



1
414-PL01



2
414-PL02



3
210-PN01



4
213-PN01



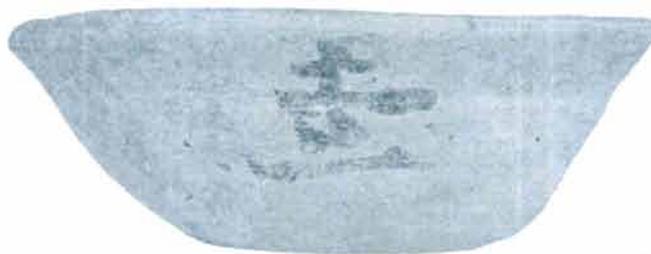
5
263-PN02



6
390-PN01



7
303-PP01



8
303-PK01



9
303-PK02



10
303-PK03

8 ~ 10 のみ S=1/1



1
19-KA04



2
117-KA01



3
213-KA01



4
281-KA04



5
281-KA01



6
281-KA02



7
281-KA03



8
281-KA05



9
281-KA06



1
303-KA02



2
303-KA06



3
303-KA13



4
303-KA15



5
414-KA01



6
303-KB05



1
19-KB01



2
19-KB02



3
213-KB01



5
281-KB01



4
303-KB02



6
303-KB03



7
303-KB06



8
303-KB09



9
303-KB13



10
303-KB17



11
303-KB18



12
281-KD05



13
117-KG01



1 榛 303-KC09



2 榛 303-KC10



3 榛 303-KD15



4 榛 303-KD34



5 中 19-KC17



6 中 303-KC35



7 中 303-KD30



8 那 19-KC38



9 那 303-KD11



10 埼 19-KD28



11 埼 303-KC05



12 埼 303-KD44



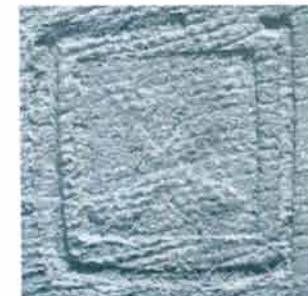
13 前 303-KD07



14 父瓦 303-KC03



15 父 303-KC12



16 父 303-KD04



17 荏 19-KD04



18 荏 19-KD40



19 荏 303-KD91



20 豊 303-KD03



1 豊 303-KC04



2 豊 374-KC01



3 男 117-KC05



4 男 303-KD43



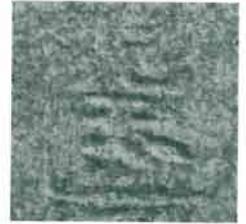
5 播瓦 117-KD02



6 播 19-KD41



7 児玉 19-KD33



8 児玉 278-KC01



9 都 19-KD09



10 企 19-KC21



11 入瓦 117-KD03



12 高 303-KD38



13 多 303-KD50



14 加瓦 303-KD50



15 嶋 19-KD17



1 父 303-KD52



2 父 49-KD02



3 父 19-KD42



4 茝 303-KD80



5 茝 303-KD39



6 大井 303-KD21



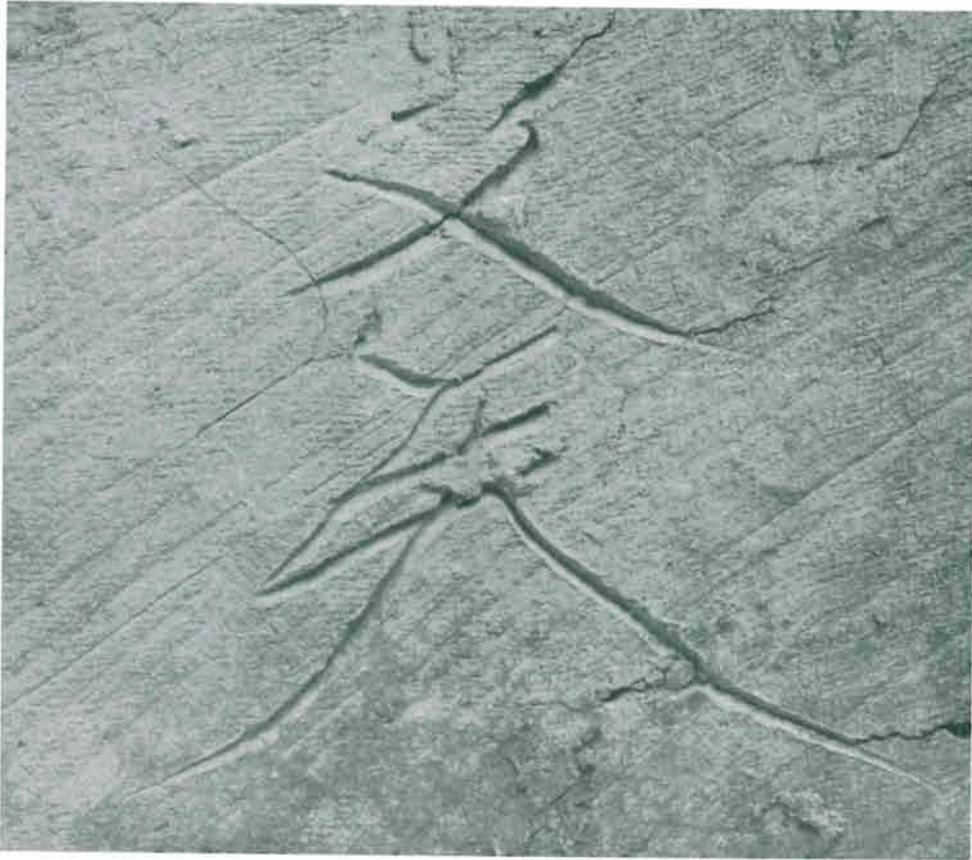
7 都 263-KD05



8 入瓦 303-KD55



9 鮎 303-KD93



1 父美 213-KD02



2 荏 19-KC19



3 都 303-KC11



4 本 19-KD30



5 榛 303-KD05



1 刀良 303-KD42



2 高 303-KD13



3 多上 117-KD05



4 多下 303-KD14



5
303-GN01

報告書抄録

ふりがな	むさしこくぶんじあとはくつちょうさがいほう									
書名	武蔵国分寺跡発掘調査概報34									
副書名	東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査									
巻次										
シリーズ名										
シリーズ番号										
編著者名	国分寺市遺跡調査団（団長 坂詰秀一） 小野本 敦									
編集機関	国分寺市遺跡調査会									
所在地	〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1丁目6-1 国分寺市教育委員会内 TEL042-325-0111									
発行年月日	2009年3月31日									
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因		
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	。、”	。、”					
むさしこくぶんじあと 武蔵国分寺跡	とうきょうと 東京都	こくぶんじし 国分寺市	13-214	10-19	35°	139°	昭和51年 8月9日	2007. 35㎡	寺域確認・ 個人宅造等 に伴う調査	
	にしもとまち 西元町				41′	28′				～
	ひがしもとまち 東元町				6″	1″	～			
					～	～				
					35°	139°				
	41′	29′								
	48″	3″								
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項			
武蔵国分寺跡	寺院跡 集落跡 道路跡	奈良・ 平安時代	礎石建物 掘立柱建物 竪穴住居 掘立柱塀 築地塀 道路 溝(道路側溝含む) 土坑		土師器・須恵器 土師質土器・灰釉陶器 緑釉陶器・瓦 埴・石製品		東僧坊 僧尼寺区画施設 東山道武蔵路 等を検出			

武蔵国分寺跡発掘調査概報 34

(東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査)

発行日	平成 21 年 3 月 31 日
編著者	国分寺市遺跡調査団 © (団長 坂詰 秀一)
発行所	国分寺市遺跡調査会 国分寺市教育委員会 〒185-8501 国分寺市戸倉 1-6-1 TEL 042-325-0111(代表)
印刷所	

令和 4 年(2022) 3 月10日 デジタル版作成